

第 9 回定例理事会

日時：2019 年 2 月 20 日（水）18：15～20：15（予定）

場所：生協会館 3 階会議室

理 事	柿澤 宏昭	農学研究院教員		理 事	高橋 真太郎	文学研究科学生修士 1 年	
理 事	吉見 宏	経済学研究院教員		理 事	豊原 涼太	工学部学生 学部 4 年	
理 事	岸本 敬一	生活協同組合職員		理 事	樋口 遥加	経済学部学生 学部 3 年	
理 事	勝山 憲明	工学系事務部職員		理 事	稲垣 征哉	理学部学生 学部 4 年	
理 事	寺澤 睦	医学系事務部職員		理 事	原田 佳子	経済学部学生 学部 2 年	
理 事	工藤 勲	水産科学研究院教員		理 事	安藤 亮博	農学部学生 学部 2 年	
理 事	羽山 広文	工学研究院教員		理 事	小笠原 明信	教育学部学生 学部 3 年	
理 事	川上 豊	理学生命科学事務部職員		理 事	西岡 尚樹	法学部学生 学部 3 年	
理 事	三上 直之	高等教育推進機構教員		監 事	坂爪 浩史	農学研究院教員	
理 事	笠原 敏史	保健科学研究院教員		監 事	山本 幾巳	経済学部学生 学部 3 年	
理 事	谷 遼大	法学研究科学生 博士 1 年		監 事	末永 和槻	経済学部学生 学部 3 年	
理 事	相田 大輔	環境科学院学生修士 2 年		監 事	深井 智耶	経済学部学生 学部 3 年	
理 事	高 泉鼎	法学研究科学生博士 2 年		監 事	久保 淳司	経済学研究科教員	

スタッフ	今井 彩乃	文学部学生 学部 2 年		スタッフ	青木 直史	情報科学研究科教員	
スタッフ	大黒屋 宗記	法学部学生 学部 2 年		スタッフ	間宮 春大	北方生物圏フィールド職員	
スタッフ	山口 桂	遺伝子病制御研究所職員					

専務補佐	小助川 誠	北大生協 職員		マネージャー	本間 寛	生協職員 購買部門	
専務補佐	鏡 秀隆	北大生協 職員		マネージャー	出野 暢一	生協職員 食堂部門	
専務補佐	嶋崎 聡	事業連合 職員		マネージャー	大矢 かおり	生協職員 書籍部門	
スタッフ	金森 達也	北大生協 理事室・職員					

次回常務会予定第 10 回 3 月 20 日(水) 18:15～20:15

次回理事会予定第 10 回 3 月 27 日(水) 18:15～20:15

北 海 道 大 学 生 活 協 同 組 合

2019 年 2 月 12 日

理事・監事 各位

北海道大学生協同組合
理事長 柿澤 宏昭

2018 年度第 9 回定例理事会開催のご案内

拝啓

厳寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標題の理事会を以下のとおり開催致します。ご多忙の事と存じますが、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 2 月 20 日(水) 18:15～20:15 (予定)
2. 場所 北大生協会館 3 階会議室
3. 予定議案
議決事項 第 1 号議案 2019 年 1 月期営業総括および決算承認の件

報告事項 1 環境課題推進委員会からの答申について

報告事項 2 各委員会活動報告

報告事項 3 事業活動報告

報告事項 4 出資金動態・共済加入状況報告

報告事項 5 人事・総務・理事会報告

その他 常務理事会の討議の状況により審議事項が増える場合があります。

※ 生協会館入口が閉まっている際は、その際は恐れ入りますが東側（裏側）の職員通用口からお入りください。

※ 職員通用口が不明もしくは入れないなど、当日のご連絡は理事会室 011-746-6218 までお願いします。

出欠の返信は、電子メールにてお願いいたします。

以上

2018 年度第 8 回定例理事会開催計画

○議題と進行

時刻	分	議題	内容	提案報告者
18:15－18:16	1	開会	専務より・議長選出	岸本
【議決事項】				
18:16－18:36	20	第 1 号議案	2019 年 1 月期営業総括及び決算承認の件	小助川
18:36－18:36	1	第 2 号議案	組織委員等任免の件	岸本
【報告事項】				
18:46－19:06	20	報告事項 1	環境課題推進委員会答申を受けて	岸本
19:06－19:30	24	報告事項 2	学生組織委員会	安藤
			院生組織委員会	相田
			教職員組織委員会	笠原
			留学生組織委員会	高
			環境課題推進委員会	高橋
19:30－19:45	15	報告事項 3	青年誌の販売に関する問い合わせに対して	大矢
19:45－20:00	15	報告事項 4	1 8 年度決算見通しと 19 年度予算編成について	岸本
20:00－20:00	1	報告事項 5	出資金動態・共済加入給付報告	鏡
20:00－20:20	20	報告事項 6	人事・総務・理事会室関係報告	岸本
			衛生委員会報告	
			総代会開催に向けて	
その他				

取扱項目	案件	起案者
議決事項 1	2018 年度 1 月営業総括承認の件	小助川

1) 全体の基調

営業日(中央店・エルムショップ除く) 単位:日

	前年	今年	差異
平 日	19	19	0
土 曜	4	4	0
休 業	8	8	0
計	31	31	0

客数

単位:人

	前年	今年	前年差異	前年比
購 買 部 門	166,128	143,567	-22,561	-13.6%
食 堂 部 門	199,077	185,271	-13,806	-6.9%
書 籍 部 門	4,268	3,921	-347	-8.1%
サ ー ビ ス 部 門	787	749	-38	-4.8%
全 部 門 合 計	370,260	333,508	-36,752	-9.9%

営業日は平日、土曜日とも前年と同じです。

客数は全部門合計で前年比▲36,752 人・▲9.9%で、全部門が前年客数を下回り終了しました。購買部門は16 店舗中 15 店舗で前年実績を下回り、全体で▲13.6%と大きく減少させ終了しました。

1 月客数は全部門前年実績を下回った要因として、昨年 70 周年企画を各部門で行い集客を目指しましたが、今年は 70 周年企画のような大きな企画がなかったことによるマイナス影響が考えられます。

2) 供給高／部門別の特徴点

供給高(エルムショップ除く)

単位:千円

	前年実績	今年予算	今年実績	前年差異	前年比	予算差異	予算差異
購 買 部 門	156,801	169,561	155,708	-1,093	-0.7%	-13,853	-8.2%
食 堂 部 門	82,369	85,403	80,442	-1,927	-2.3%	-4,961	-5.8%
書 籍 部 門	28,662	28,762	26,172	-2,490	-8.7%	-2,590	-9.0%
キ ャ リ ア 部 門	2,918	7,248	2,226	-692	-23.7%	-5,022	-69.3%
受 験 フ ラ イ ト	0	0	0	0		0	
北 部 ト ラ ベ ル	25,036	24,050	26,608	1,572	6.3%	2,558	10.6%
印 刷 情 報 サ ー ビ ス	6,683	6,690	7,365	682	10.2%	675	10.1%
全 部 門 合 計	302,469	321,714	298,521	-3,948	-1.3%	-23,193	-7.2%

全部門合計で、予算 3 億 2,171 万円に対し、実績 2 億 9,852 万円、予算差▲2,319 万円、前年差異▲394 万円で終了しました。予算達成部門は、北部トラベル、印刷情報サービス、予算未達成部門は購買部門、食堂部門、書籍部門、キャリア部門です。

購買部門は、情報機器(+470 万)分類が店舗、外売店で校費利用好調により予算達成しましたが、文具(▲340 万)、ソフト(▲291 万)、家電家具(▲175 万)分類は校費利用の低迷もあり予算未達成で終了しました。客数減少の要因では、菓子(▲114 万)、米飯(▲239 万)、飲料(▲184 万)で利用が減少しました。自動車学校は予算比▲550 万円が購買部門の予算未達成の要因です。

食堂部門は、1 月も組合員考案メニュー、試験応援フェア、ホッケのこうじ味噌、生寿司（試験展開）などの独自メニューを提供し概ね好評で終了しましたが、客数減少、コ

ンパ申込み減少などが予算未達成の要因です。利用形態別では、ミール利用（+1.2%）、生協電子マネー（▲0.2%）はほぼ昨年同様の利用実績で終了しましたが、現金利用が前年比▲8.7%減少、時間帯別客数では 16 時～20 時の夕方利用が減少しました。

催事の生寿司は北部、工学、中央、クラーク 4 店舗で各 1 日 150 食限定の試験展開をしました。4 店とも 150 食完売しましたので 5 月以降定期展開を検討しています。

書籍部門は、校費が大きく低迷したこと、クラーク、北部店、外売店ともに医系、理系の利用が低迷、図書カード利用減、TOEIC 申込み▲57 件などが予算未達成の要因です。（TOEIC はキャリア店に申込が集中し北大生協 TOTAL では昨年並の申込件数）

キャリア店は、1 月予算の上級生英語試験（▲93 万）、検定料（▲165 万）、試験運営費用を 12 月前倒し計上したこと、外部スクール申込減（▲185 万）が予算未達成の要因です。

旅行部門は、海外パッケージでは学生旅行の入金が集中したこと、内税宿泊では学生団体（サークル、ゼミ）のふっこう割が好調に利用されたことが予算達成できた要因です。

情報 SV 店は、英語翻訳、医系同門会誌、音声データ起こしなど外部印刷の受注（特需）がとれたことが予算達成の要因です。見積もりからの営業活動が供給に繋がっていると考えられます。4 ヶ月連続予算達成で終了しました。

手数料収入

単位:千円

	前年実績	今年予算	今年実績	前年差異	前年比	予算差異	予算差異
ルームガイド手数料	8,471	9,179	11,352	2,881	34.0%	2,173	23.7%
住居管理手数料	4,345	6,779	7,002	2,657	61.2%	223	3.3%
共済センター	1	18	2	1	100.0%	-16	-88.9%
ルーム+住居+共済	12,817	15,976	18,356	5,539	43.2%	2,380	14.9%

3 店合計、予算 1,597 万円に対し、実績 1,835 万円、予算差異 +238 万円、前年差異 +553 万円で終了しました。

ルームガイド店は、満室奨励金が予算比 +200 万円、在校生の契約が進み手数料が予算を上積みできたことが予算達成の要因です。

住居管理店は、留学生宿舍運営費の増、12 月処理漏れ（50 万）を計上、などが予算達成の要因です。

共済店は、12 月に引続き、他業者で住まいを決めて火災、学賠を生協で加入する留学生が増えています。大学の保証が無くなったことが増えている要因だと思われます。

取扱項目	案件	起案者
議決事項 1	2019 年 1 月期決算承認の件	嶋崎 (作成: 椋本)
要旨	全体供給は3億10万円で予算比▲2,161万円(▲6.71%)、前年比は▲399万円(▲1.31%)の減少。(3~1月累計では、予算比▲1億4,133万円) 供給剰余金は予算比▲790万円のところ、CSS 特別広告料前年比+200万円と職員育成にかかる費用970万円：分担金の戻入により、1月経常剰余は329万円の黒字。 供給高減少、費用微増による資金不足のため、銀行より8,000万円追加借入。	

■店舗別剰余達成状況

※収入 = 当表では、自販機店とサービス店舗はその他事業収入、それ以外は供給剰余金とする (単位：万円)

予算対比増	収入↑費用↓ 収入↓費用↓ 費用↓	ルームガイド+263(+47.9%)、北部トラベル+50(+95.7%) キャリア+34(+45.8%)、中央購買+33(+29.5%) 新学期特設+52(+63.2%)
予算対比減	収入↓費用↓ 収入↓費用↑ 費用↑	工学購買▲58(▲49.1%)、中央食堂▲39(▲18.4%)、農学部▲20(▲30.9%) 北部購買▲71(▲229.5%)、クラーク食堂▲50(▲74.9%)、クラーク書籍▲40(▲48.6%)、コップパン▲24(▲106.6%)、共済センター▲23(▲29.6%) 獣医購買▲25(▲924.3%)
前年対比増	収入↑費用↓ 収入↑費用↑ 収入↓費用↓ 費用↓	ルームガイド+293(+56.2%)、会館購買+56(+47.0%)、ケータリング+29(+128.4%)、クラーク食堂+10(+3.4%)、工学食堂+44(+15.3%) 北部食堂+49(+9.6%)、中央食堂+25(+17.3%) キャリア+59(+59.6%)、医学部+23(+42.6%) 新学期特設+84(+73.4%)
前年対比減	収入↑費用↓ 収入↓費用↑ 費用↑	工学食堂+44(+15.3%) 工学購買▲68(▲53.2%)、北部購買▲36(▲910.0%)、共済センター▲26(▲33.3%)、コップパン▲21(▲107.8%) 獣医購買▲21(▲853.8%)
当月実績マイナスの店舗(且つ赤字予算)	総務▲1,452、北部書籍▲166、理事会室▲126、クラーク書籍▲122、共済センター▲102、中央購買▲78、会館購買▲63、印刷情報▲60、キャリア▲40、新学期特設▲30	

■事業収入

供給剰余金	全体で6,970万円の予算比▲790万円・前年比▲113万円。 予算比増 予算比減	ポプラ+17、北部トラベル+14 キャリア▲163、工学購買▲70、工学食堂▲61、北部購買▲56、北部食堂▲52、医学部▲49、クラーク食堂▲43、北部書籍▲42、会館購買▲37、農学部▲28、書籍外売▲24
-------	--	---

手数料収入	2,566 万円(予算比+296 万円・前年比+500 万円)。ルームガイド+217(うち 200 万円は本来総務に計上予定分のCSS特別広告料)、住居管理+22、工学食堂+16(食堂トレー広告)、総務▲28
-------	--

事業総剰余金	9,537 万円で予算比▲494 万円です。(累計▲5,930 万円)
--------	-------------------------------------

■事業経費

人件費	5,965 万円、予算比▲176 万円・前年比▲80 万円。(正規▲19 万円・定時▲297 万円) 職員給与 住居管理+30 クラーク書籍+24、北部購買+20、中央食堂+7、総務+8、工学購買▲10、北部食堂▲18、会館購買▲19、中央購買▲24、北部書籍▲30 定時職員給与 中央食堂+22、共済センター+17、獣医購買+13、住居管理+13、コップパン+12、北部購買▲5、会館購買▲7、北部書籍▲7、水産食堂▲9、クラーク食堂▲11、工学食堂▲15、ケータリング▲17、中央購買▲23、北部トラベル▲27、医学部▲38、総務▲42、新学期特設▲53、ルームガイド▲55、北部食堂▲55
物件費	3,240 万円となり、予算比▲967 万円・前年比▲908 万円。 広報費 総務+54、北部食堂+24、ルームガイド+20、工学食堂+16、中央食堂+16、工学購買+11、クラーク食堂+7、農学部+5、会館購買▲21、キャリア▲32 消耗品費 ポプラ+8、ルームガイド+8、北部購買▲6、住居管理▲6、ケータリング▲6、書籍外壳▲8、中央食堂▲8、北部食堂▲11、キャリア▲17、工学食堂▲21 車両運搬費 会館購買+27、総務▲16、キャリア▲16 施設維持管理費 ポプラ+17、購買外壳▲6、会館購買▲8、総務▲10、工学食堂▲15 水道光熱費 北部食堂+25、中央食堂+11、クラーク食堂+10、印刷情報+6 賃借料 総務+69、北部トラベル▲6、ルームガイド▲30、キャリア▲69 委託料 北部トラベル▲6、住居管理▲8 調査研究費 総務+14 採用研修費 総務▲7 事業連合委託費 総務▲974 通信交通費 理事会室▲6、総務▲8、会館購買▲10

事業剰余金	332 万円で予算比+642 万円です。(累計▲3,145 万円)
-------	-----------------------------------

■事業外収支

事業外収入：予算比+1 万円 事業外費用：予算比+9 万円

経常剰余金	329 万円で予算比+642 万円・前年比+1,389 万円です 累計▲1,365 万円で 予算比▲3,069 万円・前年比 2,892 万円 です。
-------	---

※2 月単月予算は▲1,483 万円（公務員講座▲320 万円、ミール値引 1,000 万円）

■ 貸借の特徴 ■

総資産	13 億 9,830 万円、前年比+705 万円
資産の部	現預金は普通預金が前年比+7,156 万円(資金繰りが厳しく借入を行った)。供給未収金は前年+520 万円なのは、校費・研究費が+613 万円と増加したため。クレジットは前年▲620 万円。未収金には、事業連合未収金が前年+124 万円。
負債の部	借入金は前年+8,000 万円（北洋銀行より 3,000 万円、北海道銀行より 5,000 万円）、買掛金が前年▲215 万円と減少、未払金は前年+33 万円と増加。前受金は前年▲6,641 万円ですが、アルバム+128 万円、IC 前受金は 1 億 365 万円（前年▲6 万円）、ミールは合計が 1,568 万円（前年+240 万円）。ミールは単月 1,200 万円強の利用に対し、残高が 686 万円。2 月の利用分差額が供給値引となるが、予算比マイナスの予想。預り金は前年▲313 万円、留学生宿舍が前年▲1,310 万円、ルームガイド預り金は前年+222 万円、IC 預り金が 315 万円（前年+108 万円）。学研災預り金残高は 67 万円。
純資産の部	出資金は前年▲288 万円の 4 億 12 万円。

◆◆1 月 まとめ◆◆

食堂部 経常剰余に関して、全店舗予算は未達成だが前年実績は達成した。

書籍部 高単価の理工系教科書、TOEIC 申込の減少が響き、予算未達成。

購買部 客数減少により、特に最寄り品の供給が減少している。人件費負担をカバーできていない。

キャリア・トラベル トラベルは、海外パッケージ旅行の入金前倒や、内税宿泊の利用増（ふっこう割利用）により予算を達成した。キャリアは英検分を 12 月に前倒供給をしたが、就活 DM の手数料収入の増加、賃借料等の節約により剰余予算を達成した。

サービスセンター その他手数料収入では、CSS からの特別広告料（満室対策費）が 500 万円あり、うち 200 万円の特需は本来総務部へ計上する予定であった。共済手数料収入は 2 月計上予定なので、そこでの上積みと 1~2 月分の計上も行うことが必要。

2019年度 1 月期 供給 店舗別実績

単位:千円
2019/2/5

	前年実績	今年予算	今年実績	前年差異	前年比	予算差異	予算比
購買会館店1階	17,677	22,309	19,196	1,519	8.6%	-3,113	-14.0%
購買北部店	18,877	21,407	18,877	0	0.0%	-2,530	-11.8%
購買工学部店	15,156	15,234	12,219	-2,937	-19.4%	-3,015	-19.8%
購買中央店	6,308	5,321	4,604	-1,704	-27.0%	-717	-13.5%
コップパン	1,732	1,735	1,568	-164	-9.5%	-167	-9.6%
購買薬学部店	2,356	2,357	2,196	-160	-6.8%	-161	-6.8%
購買保健店	1,986	2,005	2,421	435	21.9%	416	20.7%
購買獣医店	1,525	1,538	1,488	-37	-2.4%	-50	-3.3%
購買学寮店	854	858	780	-74	-8.7%	-78	-9.1%
歯学部店	1,462	1,495	1,345	-117	-8.0%	-150	-10.0%
水産店	2,371	3,178	2,712	341	14.4%	-466	-14.7%
特設店	0	0	0	0		0	
文系売店	961	965	800	-161	-16.8%	-165	-17.1%
理学売店	869	874	757	-112	-12.9%	-117	-13.4%
購買外売店	84,443	90,055	86,610	2,167	2.6%	-3,445	-3.8%
自動販売機店	224	230	135	-89	-39.7%	-95	-41.3%
購買小計	156,801	169,561	155,708	-1,093	-0.7%	-13,853	-8.2%
北部食堂	26,945	28,392	27,042	97	0.4%	-1,350	-4.8%
工学部食堂	14,591	15,139	14,125	-466	-3.2%	-1,014	-6.7%
中央食堂	15,410	15,828	15,181	-229	-1.5%	-647	-4.1%
クラーク食堂	6,219	6,396	5,652	-567	-9.1%	-744	-11.6%
農学部食堂	4,345	4,710	4,047	-298	-6.9%	-663	-14.1%
医学部食堂	6,126	6,565	5,601	-525	-8.6%	-964	-14.7%
ポプラ店	4,874	4,676	5,286	412	8.5%	610	13.0%
水産食堂	1,644	1,846	1,380	-264	-16.1%	-466	-25.2%
ケータリング	1,787	1,851	1,638	-149	-8.3%	-213	-11.5%
エルムカフェ	428	0	490	62	14.5%	490	
食堂小計	82,369	85,403	80,442	-1,927	-2.3%	-4,961	-5.8%
書籍北部店	5,650	5,700	5,148	-502	-8.9%	-552	-9.7%
書籍クラーク	4,816	4,585	4,383	-433	-9.0%	-202	-4.4%
書籍外売店	18,196	18,477	16,641	-1,555	-8.5%	-1,836	-9.9%
書籍小計	28,662	28,762	26,172	-2,490	-8.7%	-2,590	-9.0%
キャリア店	2,918	7,248	2,226	-692	-23.7%	-5,022	-69.3%
旅行センター	0	0	0	0		0	
北部トラベル	25,036	24,050	26,608	1,572	6.3%	2,558	10.6%
旅行小計	27,954	31,298	28,834	880	3.1%	-2,464	-7.9%
印刷情報サービス	6,683	6,690	7,365	682	10.2%	675	10.1%
総合計	302,469	321,714	298,521	-3,948	-1.3%	-23,193	-7.2%

	前年実績	今年予算	今年実績	前年差異	前年比	予算差異	予算比
ルームカイト手数料	8,471	9,179	11,352	2,881	34.0%	2,173	23.7%
MS管理手数料	4,345	6,779	7,002	2,657	61.2%	223	3.3%
共済センター	1	18	2	1	100.0%	-16	-88.9%
ルーム+住居	12,817	15,976	18,356	5,539	43.2%	2,380	14.9%

2018年度 3月-

1 月期累計 供給 店舗別実績

単位:千円
2019/2/5

	前年実績	今年予算	今年実績	前年差異	前年比	予算差異	予算比
購買会館店1階	305,385	323,159	310,415	5,030	1.6%	-12,744	-3.9%
購買北部店	398,278	424,831	409,569	11,291	2.8%	-15,262	-3.6%
購買工学部店	137,918	141,457	129,225	-8,693	-6.3%	-12,232	-8.6%
購買中央店	88,374	79,661	75,401	-12,973	-14.7%	-4,260	-5.3%
コップパン	28,034	28,060	26,244	-1,790	-6.4%	-1,816	-6.5%
購買薬学部店	25,403	25,717	22,532	-2,871	-11.3%	-3,185	-12.4%
購買保健店	27,339	27,366	27,584	245	0.9%	218	0.8%
購買獣医店	16,382	16,450	15,484	-898	-5.5%	-966	-5.9%
購買学寮店	7,950	8,501	8,333	383	4.8%	-168	-2.0%
歯学部店	15,894	16,241	14,867	-1,027	-6.5%	-1,374	-8.5%
水産店	34,882	35,830	32,475	-2,407	-6.9%	-3,355	-9.4%
特設店	193,038	220,850	184,760	-8,278	-4.3%	-36,090	-16.3%
文系売店	8,790	8,863	8,977	187	2.1%	114	1.3%
理学売店	9,318	9,376	8,729	-589	-6.3%	-647	-6.9%
購買外売店	668,110	662,405	696,821	28,711	4.3%	34,416	5.2%
自動販売機店	3,364	3,450	2,727	-637	-18.9%	-723	-21.0%
購買小計	1,968,459	2,032,217	1,974,143	5,684	0.3%	-58,074	-2.9%
北部食堂	319,782	321,703	315,065	-4,717	-1.5%	-6,638	-2.1%
工学部食堂	144,177	146,988	143,290	-887	-0.6%	-3,698	-2.5%
中央食堂	198,092	201,596	193,909	-4,183	-2.1%	-7,687	-3.8%
クラーク食堂	79,691	80,134	74,602	-5,089	-6.4%	-5,532	-6.9%
農学部食堂	44,938	45,437	42,547	-2,391	-5.3%	-2,890	-6.4%
医学部食堂	75,567	76,470	67,157	-8,410	-11.1%	-9,313	-12.2%
ポプラ店	55,478	55,457	52,847	-2,631	-4.7%	-2,610	-4.7%
水産食堂	18,485	19,538	16,905	-1,580	-8.5%	-2,633	-13.5%
ケータリング	28,023	29,727	22,997	-5,026	-17.9%	-6,730	-22.6%
エルムカフェ	11,896	8,500	10,378	-1,518	-12.8%	1,878	22.1%
食堂小計	976,129	985,550	939,697	-36,432	-3.7%	-45,853	-4.7%
書籍北部店	188,110	197,242	180,038	-8,072	-4.3%	-17,204	-8.7%
書籍クラーク	95,008	96,505	90,041	-4,967	-5.2%	-6,464	-6.7%
書籍外売店	142,943	145,080	135,154	-7,789	-5.4%	-9,926	-6.8%
書籍小計	426,061	438,827	405,233	-20,828	-4.9%	-33,594	-7.7%
キャリア店	127,797	137,190	118,042	-9,755	-7.6%	-19,148	-14.0%
旅行センター	51,442	18,000	10,371	-41,071	-79.8%	-7,629	-42.4%
北部トラベル	309,400	262,970	250,044	-59,356	-19.2%	-12,926	-4.9%
旅行小計	488,639	418,160	378,457	-110,182	-22.5%	-39,703	-9.5%
印刷情報サービス	125,291	126,285	126,327	1,036	0.8%	42	0.0%
総合計	3,984,579	4,001,039	3,823,857	-160,722	-4.0%	-177,182	-4.4%

	前年実績	今年予算	今年実績	前年差異	前年比	予算差異	予算比
ルームカイト手数料	112,502	122,910	122,457	9,955	8.8%	-453	-0.4%
MS管理手数料	56,951	80,513	83,079	26,128	45.9%	2,566	3.2%
共済センター	23,718	25,369	23,498	-220	-0.9%	-1,871	-7.4%
ルーム+住居	193,171	228,792	229,034	35,863	18.6%	242	0.1%

部門		北大生協合計						購買部門					
科目		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		304,094	321,714	300,102	-21,612	-6.7%	-1.3%	158,429	169,561	157,290	-12,271	-7.2%	-0.7%
供給値引		1,966	1,946	2,255	309	15.9%	14.7%	29	22	62	40	181.2%	116.1%
供給剰余金		70,838	77,601	69,705	-7,896	-10.2%	-1.6%	24,024	25,817	22,670	-3,147	-12.2%	-5.6%
GPR		23.3%	24.1%	23.2%	-0.9%	-3.7%	-0.3%	15.2%	15.2%	14.4%	-0.8%	-5.4%	-4.9%
利用剰余金		20,657	22,702	25,661	2,959	13.0%	24.2%	91	162	167	5	2.9%	83.2%
事業総剰余金		91,495	100,303	95,366	-4,937	-4.9%	4.2%	24,115	25,979	22,837	-3,142	-12.1%	-5.3%
人件費合計		60,444	61,408	59,645	-1,763	-2.9%	-1.3%	16,237	15,961	15,228	-733	-4.6%	-6.2%
物件費合計		41,482	42,074	32,404	-9,670	-23.0%	-21.9%	7,174	6,804	6,719	-85	-1.2%	-6.3%
事業剰余金		-10,432	-3,179	3,317	6,496	-204.3%	-131.8%	704	3,214	890	-2,324	-72.3%	26.4%
事業外収益		136	124	135	11	8.9%	-0.9%	2		1	1		-42.8%
事業外費用		300	75	161	86	114.7%	-46.3%	1		2	2		308.5%
経常剰余金		-10,595	-3,130	3,291	6,421	-205.1%	-131.1%	705	3,214	889	-2,325	-72.3%	26.1%

部門		食堂部門						書籍部門					
科目		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		82,367	85,403	80,441	-4,962	-5.8%	-2.3%	28,661	28,762	26,172	-2,590	-9.0%	-8.7%
供給値引		0		0	0		-28.0%	1,937	1,924	2,193	269	14.0%	13.2%
供給剰余金		39,548	42,615	40,181	-2,434	-5.7%	1.6%	3,289	3,447	2,657	-790	-22.9%	-19.2%
GPR		48.0%	49.9%	50.0%	0.1%	0.1%	4.0%	11.5%	12.0%	10.2%	-1.8%	-15.3%	-11.6%
利用剰余金		269	498	435	-63	-12.6%	61.7%	574	390	371	-19	-5.0%	-35.4%
事業総剰余金		39,817	43,113	40,616	-2,497	-5.8%	2.0%	3,863	3,837	3,027	-810	-21.1%	-21.6%
人件費合計		20,628	21,180	19,683	-1,497	-7.1%	-4.6%	4,816	4,525	4,358	-167	-3.7%	-9.5%
物件費合計		8,661	7,855	8,630	775	9.9%	-0.4%	1,462	1,521	1,405	-116	-7.6%	-3.9%
事業剰余金		10,528	14,078	12,303	-1,775	-12.6%	16.9%	-2,415	-2,209	-2,735	-526	23.8%	13.2%
事業外収益		0		0	0		51.5%						
事業外費用		0		0	0		-15.5%						
経常剰余金		10,528	14,078	12,303	-1,775	-12.6%	16.9%	-2,415	-2,209	-2,735	-526	23.8%	13.2%

部門		サービス部門						本部・総務・業務・理事会室					
科目		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		34,637	37,988	36,199	-1,789	-4.7%	4.5%						
供給値引													
供給剰余金		3,977	5,722	4,197	-1,525	-26.6%	5.5%						
GPR		11.5%	15.1%	11.6%	-3.5%	-23.0%	1.0%						
利用剰余金		15,566	17,478	20,772	3,294	18.8%	33.4%	4,157	4,174	3,917	-257	-6.2%	-5.8%
事業総剰余金		19,543	23,200	24,969	1,769	7.6%	27.8%	4,157	4,174	3,917	-257	-6.2%	-5.8%
人件費合計		9,350	10,429	10,209	-220	-2.1%	9.2%	9,414	9,313	10,168	855	9.2%	8.0%
物件費合計		4,199	6,273	4,950	-1,323	-21.1%	17.9%	19,986	19,621	10,700	-8,921	-45.5%	-46.5%
事業剰余金		5,994	6,498	9,810	3,312	51.0%	63.7%	-25,243	-24,760	-16,952	7,808	-31.5%	-32.8%
事業外収益								135	124	134	10	8.0%	-0.4%
事業外費用								299	75	159	84	111.5%	-46.9%
経常剰余金		5,994	6,498	9,810	3,312	51.0%	63.7%	-25,407	-24,711	-16,977	7,734	-31.3%	-33.2%

部門		北大生協合計(北大ショップ除く)									
科目		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	供給高		経常剰余金	
供給高		302,470	321,714	298,521	-23,193	-7.2%	-1.3%	百万			
供給値引		1,966	1,946	2,255	309	15.9%	14.7%				
供給剰余金		70,443	77,601	69,315	-8,286	-10.7%	-1.6%				
GPR		23.3%	24.1%	23.2%	-0.9%	-3.7%	-0.3%				
利用剰余金		20,657	22,702	25,661	2,959	13.0%	24.2%				
事業総剰余金		91,100	100,303	94,976	-5,327	-5.3%	4.3%				
人件費合計		60,038	61,408	59,372	-2,036	-3.3%	-1.1%				
物件費合計		41,382	42,074	32,368	-9,706	-23.1%	-21.8%				
事業剰余金		-10,320	-3,179	3,236	6,415	-201.8%	-131.4%				
事業外収益		136	124	135	11	8.9%	-0.9%				
事業外費用		300	75	161	86	114.7%	-46.3%				
経常剰余金		-10,484	-3,130	3,210	6,340	-202.6%	-130.6%				

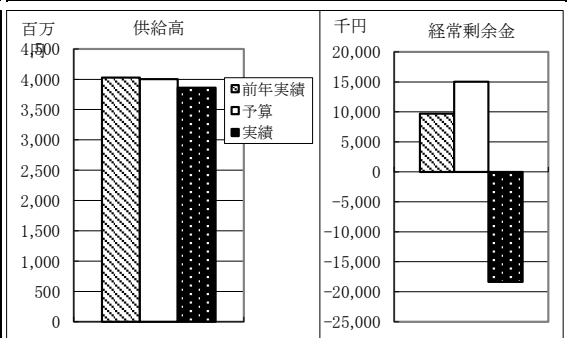
部門		博物館店						エルムの森店					
科目		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		594					-100.0%	1,030		1,581	1,581		53.5%
供給値引		139					-100.0%	256		390	390		52.4%
供給剰余金							#VALUE!	24.8%					-0.7%
GPR		23.5%					#VALUE!						
利用剰余金							-100.0%						
事業総剰余金		139					-100.0%	256		390	390		52.4%
人件費合計		142					-100.0%	264		273	273		3.6%
物件費合計		11					-100.0%	89		36	36		-59.2%
事業剰余金		-14					-100.0%	-97		80	80		-182.5%
事業外収益													
事業外費用		0					-100.0%						
経常剰余金		-14					-100.0%	-97		80	80		-182.5%

科目	部門	北大生協合計						購買部門					
		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		4,028,286	4,001,039	3,859,705	-141,334	-3.5%	-4.2%	2,012,167	2,032,217	2,009,992	-22,225	-1.1%	-0.1%
供給値引		25,791	26,375	26,256	-119	-0.5%	1.8%	355	344	473	129	37.5%	33.2%
供給剰余金		985,555	999,709	933,973	-65,736	-6.6%	-5.2%	333,117	339,282	318,833	-20,449	-6.0%	-4.3%
GPR		24.5%	25.0%	24.2%	-0.8%	-3.2%	-1.1%	16.6%	16.7%	15.9%	-0.8%	-5.0%	-4.2%
利用剰余金		290,259	321,208	327,643	6,435	2.0%	12.9%	14,542	15,240	12,228	-3,012	-19.8%	-15.9%
事業総剰余金		1,275,814	1,320,917	1,261,616	-59,301	-4.5%	-1.1%	347,658	354,522	331,061	-23,461	-6.6%	-4.8%
人件費合計		764,259	776,891	770,985	-5,906	-0.8%	0.9%	194,083	200,101	202,015	1,914	1.0%	4.1%
物件費合計		499,629	528,851	506,902	-21,949	-4.2%	1.5%	90,490	89,796	88,721	-1,075	-1.2%	-2.0%
事業剰余金		11,926	15,175	-16,271	-31,446	-207.2%	-236.4%	63,085	64,625	40,325	-24,300	-37.6%	-36.1%
事業外収益		4,294	3,048	3,474	426	14.0%	-19.1%	1,032	550	702	152	27.6%	-32.0%
事業外費用		953	1,189	855	-334	-28.1%	-10.3%	4	600	129	-471	-78.5%	2897.8%
経常剰余金		15,268	17,034	-13,652	-30,686	-180.1%	-189.4%	64,113	64,575	40,898	-23,677	-36.7%	-36.2%

科目	部門	食堂部門						書籍部門					
		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		976,128	985,550	939,697	-45,853	-4.7%	-3.7%	426,061	438,827	405,233	-33,594	-7.7%	-4.9%
供給値引		5		14	14		152.5%	25,431	26,031	25,770	-261	-1.0%	1.3%
供給剰余金		486,761	490,667	469,171	-21,496	-4.4%	-3.6%	54,526	57,015	50,505	-6,510	-11.4%	-7.4%
GPR		49.9%	49.8%	49.9%	0.1%	0.3%	0.1%	12.8%	13.0%	12.5%	-0.5%	-4.1%	-2.7%
利用剰余金		4,644	4,009	4,190	181	4.5%	-9.8%	15,864	15,769	15,294	-475	-3.0%	-3.6%
事業総剰余金		491,405	494,676	473,361	-21,315	-4.3%	-3.7%	70,391	72,784	65,799	-6,985	-9.6%	-6.5%
人件費合計		250,033	264,380	255,864	-8,516	-3.2%	2.3%	61,653	59,778	57,066	-2,712	-4.5%	-7.4%
物件費合計		100,430	101,727	98,749	-2,978	-2.9%	-1.7%	17,936	17,566	16,838	-728	-4.1%	-6.1%
事業剰余金		140,942	128,569	118,749	-9,820	-7.6%	-15.7%	-9,198	-4,560	-8,105	-3,545	77.7%	-11.9%
事業外収益		365	2	221	219	10966.8%	-39.3%			5	5		
事業外費用		7		5	5		-27.7%	6					-100.0%
経常剰余金		141,300	128,571	118,965	-9,606	-7.5%	-15.8%	-9,205	-4,560	-8,100	-3,540	77.6%	-12.0%

科目	部門	サービス部門						本部・総務・業務・理事会室					
		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		613,931	544,445	504,784	-39,661	-7.3%	-17.8%						
供給値引													
供給剰余金		111,152	112,745	95,465	-17,280	-15.3%	-14.1%						
GPR		18.1%	20.7%	18.9%	-1.8%	-8.7%	4.5%						
利用剰余金		186,235	215,633	222,409	6,776	3.1%	19.4%	68,974	70,557	73,521	2,964	4.2%	6.6%
事業総剰余金		297,386	328,378	317,874	-10,504	-3.2%	6.9%	68,974	70,557	73,521	2,964	4.2%	6.6%
人件費合計		130,307	125,999	128,503	2,504	2.0%	-1.4%	128,182	126,633	127,538	905	0.7%	-0.5%
物件費合計		48,616	73,751	74,037	286	0.4%	52.3%	242,157	246,011	228,557	-17,454	-7.1%	-5.6%
事業剰余金		118,463	128,628	115,334	-13,294	-10.3%	-2.6%	-301,365	-302,087	-282,573	19,514	-6.5%	-6.2%
事業外収益		251					-100.0%	2,647	2,496	2,545	49	2.0%	-3.8%
事業外費用		92		0	0		-100.0%	843	589	721	132	22.4%	-14.5%
経常剰余金		118,622	128,628	115,334	-13,294	-10.3%	-2.8%	-299,562	-300,180	-280,749	19,431	-6.5%	-6.3%

科目	部門	北大生協合計(北大ショップ除く)					
		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		3,984,579	4,001,039	3,823,857	-177,182	-4.4%	-4.0%
供給値引		25,791	26,375	26,256	-119	-0.5%	1.8%
供給剰余金		974,871	999,709	925,551	-74,158	-7.4%	-5.1%
GPR		24.5%	25.0%	24.2%	-0.8%	-3.2%	-1.1%
利用剰余金		289,905	318,598	327,225	8,627	2.7%	12.9%
事業総剰余金		1,264,776	1,318,307	1,252,776	-65,531	-5.0%	-0.9%
人件費合計		759,785	776,891	768,030	-8,861	-1.1%	1.1%
物件費合計		498,614	528,851	505,835	-23,016	-4.4%	1.4%
事業剰余金		6,377	12,565	-21,090	-33,655	-267.8%	-430.7%
事業外収益		4,294	3,048	3,473	425	14.0%	-19.1%
事業外費用		952	589	730	141	24.0%	-23.3%
経常剰余金		9,719	15,024	-18,346	-33,370	-222.1%	-288.8%



科目	部門	博物館店						エルムの森店					
		前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比	前年実績	予算	実績	差異	予算比	前年比
供給高		12,894					-100.0%	30,813		35,848	35,848		16.3%
供給値引													
供給剰余金		3,135		-490	-490		-115.6%	7,550		8,913	8,913		18.1%
GPR		24.3%		#VALUE!	#VALUE!		#VALUE!			24.9%	#VALUE!	#DIV/0!	
利用剰余金		107	106	109	3	2.4%	1.8%	247	2,504	309	-2,195	-87.7%	25.1%
事業総剰余金		3,241	106	-381	-487	-459.8%	-111.8%	7,797	2,504	9,222	6,718	268.3%	18.3%
人件費合計		1,658		140	140		-91.5%	2,815		2,814	2,814		
物件費合計		224		123	123		-45.2%	791		944	944		19.3%
事業剰余金		1,359	106	-645	-751	-708.1%	-147.4%	4,190	2,504	5,464	2,960	118.2%	30.4%
事業外収益		0					-100.0%	0		0	0		-81.5%
事業外費用		0	300	123	-177	-58.9%	58614.3%	0	300	1	-299	-99.6%	697.4%
経常剰余金		1,359	-194	-768	-574	295.8%	-156.5%	4,190	2,204	5,463	3,259	147.8%	30.4%

* * * 比 較 損 益 計 算 書 * * *

1101 北海道大学生生活協同組合

作成日 2019/02/04

自 2019年 1月 1日 至 2019年 1月 31日

自 2018年 3月 1日 至 2019年 1月 31日

科 目	月 計							科 目	累 計						
	前年実績 (千円)	本年予算 (千円)	本年実績 (円)	対前年増減 (千円)	増減率 (%)	対予算増減 (千円)	増減率 (%)		前年実績 (千円)	本年予算 (千円)	本年実績 (円)	対前年増減 (千円)	増減率 (%)	対予算増減 (千円)	増減率 (%)
供給高	304094	321714	300102003	-3992	-13	-21612	-67	供給高	4028286	4001039	3859705285	-168581	-41	-141334	-35
供給値引	1966	1946	2255107	289	147	309	158	供給値引	25791	26375	26256159	465	18	-119	-04
純供給高	302128	319768	297846896	-4281	-14	-21921	-68	純供給高	4002495	3974664	3833449126	-169046	-42	-141215	-35
当月期首商品棚卸高	230224		200923801	-29300	-127			当月期首商品棚卸高	208066		204997864	-3068	-14		
仕入高	223824		229128846	5305	23			仕入高	3031631		2896388558	-135242	-44		
当月期末商品棚卸高	222757		201910684	-20847	-93			当月期末商品棚卸高	222757		201910684	-20847	-93		
供給剰余金	70838	77601	69704933	-1133	-15	-7896	-101	供給剰余金	985555	999709	933973388	-51582	-52	-65736	-65
利用剰余金	0	0	0	0	0	0	0	利用剰余金	69	0	36000	-33	-479	36	
共済受託手数料収入	0	0	0	0	0	0	0	共済受託手数料収入	17081	17280	17287996	207	12	8	00
教育文化事業収入	0	0	0	0	0	0	0	教育文化事業収入	0	0	0	0	0	0	
供給事業手数料収入	623	431	342396	-280	-450	-89	-205	供給事業手数料収入	26606	26654	23760059	-2846	-106	-2894	-108
不動産賃貸収入	7183	9716	9468654	2286	318	-247	-25	不動産賃貸収入	83867	106444	108011496	24145	287	1567	14
その他手数料収入	12851	12555	15849695	2998	233	3295	262	その他手数料収入	162636	170830	178546989	15911	97	7717	45
その他事業収入計	20657	22702	25660745	5004	242	2959	130	その他事業収入計	290190	321208	327606540	37417	128	6399	19
事業総剰余金	91495	100303	95365678	3871	42	-4937	-49	事業総剰余金	1275814	1320917	1261615928	-14198	-11	-59301	-44
役員報酬	973	852	865000	-108	-110	13	15	役員報酬	10444	9961	10085000	-359	-34	124	12
職員給与	14217	14223	14028155	-189	-13	-195	-13	職員給与	165865	160886	163488951	-2376	-14	2603	16
定時職員給与	35818	36619	33648540	-2169	-60	-2970	-81	定時職員給与	444701	458947	450061197	5361	12	-8886	-19
退職給付費用	2000	2050	2050000	50	25	0	00	退職給付費用	22000	22550	22550000	550	25	0	00
法定福利費	4689	4627	5888959	1200	255	1262	272	法定福利費	67865	68741	72897671	5032	74	4157	60
厚生費	164	183	310508	147	893	128	696	厚生費	6507	6809	5405164	-1102	-169	-1404	-206
役員退職給与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	役員退職給与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	
賞与引当金繰入	2583	2854	2854000	271	104	0	00	賞与引当金繰入	46877	48997	46497000	-380	-08	-2500	-51
派遣人件費	0	0	0	0	0	0	0	派遣人件費	0	0	0	0	0	0	
人件費合計	60444	61408	59645162	-799	-13	-1763	-28	人件費合計	764259	776891	770984983	6726	08	-5906	-07
教育文化費	269	591	491550	223	827	-99	-168	教育文化費	3891	5631	4121969	231	59	-1509	-267
広報費	4289	2900	4043111	-246	-57	1143	394	広報費	60089	62449	65388116	5299	88	2939	47
消耗品費	3675	3079	2289308	-1386	-377	-790	-256	消耗品費	40402	41809	36678965	-3723	-92	-5130	-122
物流費	100	100	100000	0	00	0	00	物流費	9741	10100	8103536	-1638	-168	-1996	-197
車両運搬費	2376	2120	2367723	-8	-03	248	116	車両運搬費	31467	33518	32916159	1449	46	-602	-17
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	ポイント引当金繰入	0	0	0	0	0	0	
施設維持管理費	2492	2291	1963124	-529	-212	-328	-143	施設維持管理費	30211	31230	28735659	-1475	-48	-2494	-79
減価償却費	4464	4370	4370000	-94	-21	0	00	減価償却費	49122	48070	48070000	-1052	-21	0	00
賃借料	679	1895	1586770	908	1338	-308	-162	賃借料	12973	19294	15719907	2747	211	-3574	-185
水道光熱費	5308	4651	5351211	43	08	700	150	水道光熱費	56319	55606	55923228	-395	-07	317	05
保険料	0	0	0	0	0	0	0	保険料	1499	1469	1544495	46	30	75	51
委託料	5192	7179	7007976	1816	349	-171	-23	委託料	67527	82348	85985365	18459	273	3637	44
研修採用費	254	208	27926	-226	-890	-180	-865	研修採用費	2208	2402	2570982	363	164	169	70
調査研究費	333	272	457252	125	374	185	681	調査研究費	1214	1348	1132368	-82	-67	-216	-159
会議費	292	237	227270	-65	-222	-10	-41	会議費	3789	4072	3018644	-770	-203	-1053	-258
諸会費	2931	2931	2870500	-60	-20	-61	-20	諸会費	13569	13346	13293120	-275	-20	-53	-03
渉外費	0	0	12408	12		12		渉外費	142	40	58159	-84	-589	18	453
租税公課	19	20	26909	8	448	7	345	租税公課	9189	9184	8893797	-295	-32	-290	-31
通信交通費	602	1110	826395	224	372	-284	-255	通信交通費	15585	17449	14864855	-720	-46	-2584	-148
雑費	0	0	0	0	0	0	0	雑費	132	13	144695	13	96	1321030	
事業連合委託費	8210	8120	-1615500	-9826	-1196	-9736	-1198	事業連合委託費	90561	89473	79737500	-10824	-119	-9736	-108
物件費合計	41482	42074	32403933	-9079	-218	-9670	-229	物件費合計	499629	528851	506901519	7272	14	-21949	-41
事業経費合計	101927	103482	92049095	-9878	-96	-11433	-110	事業経費合計	1263888	1305742	1277886502	13998	11	-27855	-21
事業剰余金	-10432	-3179	3316583	13748	1317	6496	2043	事業剰余金	11926	15175	-16270574	-28197	-2364	-31446	-2072
事業外収益	136	124	135032	-1	-09	11	88	事業外収益	4294	3048	3473500	-821	-191	426	139
事業外費用	300	75	161062	-139	-462	86	1147	事業外費用	953	1189	854652	-98	-102	-334	-281
経常剰余金	-10595	-3130	3290553	13886	1310	6421	2051	経常剰余金	15268	17034	-13651726	-28920	-1894	-30686	-1801
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	特別利益	0	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	特別損失	0	0	1	0	-833	0	
税引前当期剰余金	-10595	-3130	3290553	13886	1310	6421	2051	税引前当期剰余金	15268	17034	-13651727	-28920	-1894	-30686	-1801
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	法人税等	0	0	0	0	0	0	
過年度法人税等	0	0	0	0	0	0	0	過年度法人税等	0	0	0	0	0	0	
法人税等調整額	0	0	0	0	0	0	0	法人税等調整額	0	0	0	0	0	0	
当期剰余金	-10595	-3130	3290553	13886	1310	6421	2051	当期剰余金	15268	17034	-13651727	-28920	-1894	-30686	-1801
過年度税効果調整額	0	0	0	0	0	0	0	過年度税効果調整額	0	0	0	0	0	0	
当期首繰越剰余金	0	0	0	0	0	0	0	当期首繰越剰余金	1913		593800	-1319	-689		
目的積立金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	目的積立金取崩額	0	0	0	0	0	0	
当期末処分剰余金	-10595	-3130	3290553	13886	1310	6421	2051	当期末処分剰余金	17181	17034	-13057927	-30239	-1760	-30092	-1766

2019年 1月31日 現在

科 目	資産の部						科 目	負債 及び 純資産の部					
	当月 (円)	前月 (円)	対前月増減 (千円)	前年同月 (千円)	対前年増減 (千円)	増減率 (%)		当月 (円)	前月 (円)	対前月増減 (千円)	前年同月 (千円)	対前年増減 (千円)	増減率 (%)
流動資産	632350694	551672469	80678	583902	48449	8. 29	流動負債	712567660	640584588	71983	698174	14393	2. 06
現金	23642145	16786827	6855	27167	-3525	-12. 97	支払手形	0	0	0	0	0	0
当座預金	1902629	20169904	-18267	2967	-1064	-35. 87	買掛金	264427578	230840943	33587	266580	-2153	-0. 80
普通預金	217293434	141201585	76092	145731	71562	49. 10	短期借入金	150000000	700000000	80000	70000	80000	114. 28
通知預金	0	0	0	0	0	0	1年以内長期借入金	0	0	0	0	0	0
定期預金	1000000	1000000	0	1000	0	0. 00	短期リース債務	0	0	0	0	0	0
金銭信託	0	0	0	0	0	0	未払金	9974872	18383713	-8409	6387	3587	56. 16
受取手形	0	0	0	0	0	0	未払法人税等	83400	83400	0	114	-30	-26. 71
供給未収金	137403395	118719833	18684	132202	5202	3. 93	未払消費税等	4797880	5340902	-543	3873	925	23. 88
クレジット等未収金	11788898	13582568	-1794	17993	-6204	-34. 48	未払割戻金	0	0	0	0	0	0
有価証券	0	0	0	0	0	0	未払費用	46547897	47689818	-1142	45736	812	1. 77
商品及び原材料	201910684	200923801	987	222757	-20847	-9. 35	前受金	135727151	170857308	-35130	202142	-66414	-32. 85
貯蔵品	0	0	0	24	-24	-100. 00	預り金	73939565	74381148	-442	76807	-2868	-3. 73
前渡金	0	0	0	0	0	0	賞与引当金	2854000	0	2854	2583	271	10. 49
立替金	5533890	5464138	70	4720	813	17. 23	ポイント引当金	0	0	0	0	0	0
未収消費税等	0	0	0	0	0	0	仮受消費税	24215317	23007356	1208	23953	263	1. 09
前払費用	6600420	6855522	-255	3985	2616	65. 63	設備支払手形	0	0	0	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	0	0	0	繰延税金負債（短期）	0	0	0	0	0	0
未収金	8046306	10581513	-2535	7641	405	5. 30	仮受金	0	0	0	0	0	0
繰延税金資産（短期）	0	0	0	0	0	0	諸口振替	0	0	0	0	0	0
仮払金	141298	100000	41	226	-84	-37. 36	固定負債	288669728	287133728	1536	264891	23779	8. 97
仮払消費税	19083595	18282778	801	19583	-500	-2. 55	長期借入金	0	0	0	0	0	0
貸倒引当金（短期）	-1996000	-1996000	0	-2095	99	4. 72	長期リース債務	0	0	0	0	0	0
固定資産	765948088	770318088	-4370	807347	-41399	-5. 12	退職給付引当金	270669728	269133728	1536	251891	18779	7. 45
有形固定資産	637785357	642155357	-4370	676970	-39185	-5. 78	役員退職給与引当金	0	0	0	0	0	0
建物及び附属設備	758636525	758636525	0	758637	0	0. 00	預り保証金	2000000	2000000	0	2000	0	0. 00
建物及設備償却累計額	-194797335	-194797335	0	-164531	-30266	-18. 39	長期未払金	16000000	16000000	0	11000	5000	45. 45
構築物	0	0	0	0	0	0	繰延税金負債（長期）	0	0	0	0	0	0
構築物減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	負債合計	1001237388	927718316	73519	963065	38172	3. 96
機械装置	0	0	0	0	0	0	組合員資本	397061394	394272241	2789	428183	-31122	-7. 26
機械装置減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	出資金	400119321	400620721	-501	403003	-2883	-0. 71
車両運搬具	0	0	0	0	0	0	剰余金	-3057927	-6348480	3291	25181	-28239	-112. 14
車両運搬具償却累計額	0	0	0	0	0	0	法定準備金	7000000	7000000	0	6000	1000	16. 66
器具備品	0	0	0	0	0	0	任意積立金	3000000	3000000	0	2000	1000	50. 00
器具備品減価償却累計額	-322658427	-322658427	0	-300855	-21803	-7. 24	当期末処分剰余金	-13057927	-16348480	3291	17181	-30239	-176. 00
リース資産（有形）	0	0	0	0	0	0	（うち当期剰余金）	-13651727	-16942280	3291	15268	-28920	-189. 41
リース資産償却累計額	0	0	0	0	0	0	評価・換算差額等	0	0	0	0	0	0
土地	59482982	59482982	0	59483	0	0. 00	他有価証券評価差額金	0	0	0	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	0	0	0	繰越ヘッジ損益	0	0	0	0	0	0
仮当期減価償却額	-48070000	-43700000	-4370	-49122	1052	2. 14	純資産合計	397061394	394272241	2789	428183	-31122	-7. 26
無形固定資産	8273704	8273704	0	11979	-3705	-30. 93	現預金比率（%）	34. 2	27. 9	6. 3	25. 3	8. 9	
借地権	0	0	0	0	0	0	当座比率（%）	55. 1	48. 6	6. 5	46. 8	8. 3	
ソフトウェア	8273704	8273704	0	11979	-3705	-30. 93	流動比率（%）	88. 7	86. 1	2. 6	83. 6	5. 1	
リース資産（無形）	0	0	0	0	0	0	固定比率（%）	192. 9	195. 3	-2. 4	188. 5	4. 4	
電話加入権	0	0	0	0	0	0	長期固定適合比率（%）	111. 6	113. 0	-1. 4	116. 4	-4. 8	
ソフトウェア仮勘定	0	0	0	0	0	0	自己資本比率（%）	28. 3	29. 8	-1. 5	30. 7	-2. 4	
その他無形固定資産	0	0	0	0	0	0							
その他固定資産	119889027	119889027	0	118398	1491	1. 25							
関係団体出資金	82251000	82251000	0	82251	0	0. 00							
子会社等株式	11900000	11900000	0	11900	0	0. 00							
長期保有有価証券	0	0	0	0	0	0							
長期貸付金	0	0	0	316	-316	-100. 00							
長期前払費用	0	0	0	0	0	0							
差入保証金	22200000	22200000	0	22200	0	0. 00							
長期差入有価証券	0	0	0	0	0	0							
長期預金	0	0	0	0	0	0							
長期金銭信託	0	0	0	0	0	0							
繰延税金資産（長期）	0	0	0	0	0	0							
その他固定資産	3562027	3562027	0	1756	1806	102. 80							
貸倒引当金（長期）	-24000	-24000	0	-25	1	4. 00							
繰延資産	0	0	0	0	0	0							
創業費等	0	0	0	0	0	0							
資産合計	1398298782	1321990557	76308	1391249	7050	0. 50	負債・純資産合計	1398298782	1321990557	76308	1391249	7050	0. 50

比 較 損 益 計 算 書

作成日 2019.2.5

北大生協 : 北大ショップを除く合計

自 19年 1月 1日 至 19年 1月 31日

自 18年 3月 1日 至 19年 1月 31日

科 目	月 計							科 目	累 計						
	前年実績 (千円)	本年予算 (千円)	本年実績 (千円)	対前年増減 (千円)	増減率 (%)	対予算増減 (千円)	増減率 (%)		前年実績 (千円)	本年予算 (千円)	本年実績 (千円)	対前年増減 (千円)	増減率 (%)	対予算増減 (千円)	増減率 (%)
供給高	302,470	321,714	298,520,799	-3,949	-1.3	-23,193	-7.2	供給高	3,984,579	4,001,039	3,823,857,056	-160,722	-4.0	-177,182	-4.4
供給値引	1,966	1,946	2,255,107	289	14.7	309	15.9	供給値引	25,791	26,375	26,256,159	465	1.8	-119	-0.5
純供給高	300,504	319,768	296,265,692	-4,238	-1.4	-23,502	-7.3	純供給高	3,958,788	3,974,664	3,797,600,897	-161,187	-4.1	-177,063	-4.5
当月期首商品棚卸高	223,476		196,542,773	-26,933	-12.1	196,543		当月期首商品棚卸高	208,066		204,997,864	-3,068	-1.5	204,998	
仕入高	222,776		227,679,844	4,904	2.2	227,680		仕入高	2,992,041		2,864,324,199	-127,717	-4.3	2,864,324	
当月期末商品棚卸高	216,190		197,271,942	-18,918	-8.8	197,272		当月期末商品棚卸高	216,190		197,271,942	-18,918	-8.8	197,272	
供給剰余金	70,443	77,601	69,315,017	-1,128	-1.6	-8,286	-10.7	供給剰余金	974,871	999,709	925,550,776	-49,320	-5.1	-74,158	-7.4
利用剰余金								利用剰余金	69		36,000	-33	-47.9	36	
共済受託手数料収入								共済受託手数料収入	17,081	17,280	17,287,996	207	1.2	8	0.0
教育文化事業収入								教育文化事業収入							
供給事業手数料収入	623	431	342,396	-280	-45.0	-89	-20.6	供給事業手数料収入	26,252	24,044	23,342,528	-2,910	-11.1	-701	-2.9
不動産賃貸収入	7,183	9,716	9,468,654	2,286	31.8	-247	-2.5	不動産賃貸収入	83,867	106,444	108,011,496	24,145	28.8	1,567	1.5
その他手数料収入	12,851	12,555	15,849,695	2,998	23.3	3,295	26.2	その他手数料収入	162,636	170,830	178,546,989	15,911	9.8	7,717	4.5
その他事業収入計	20,657	22,702	25,660,745	5,004	24.2	2,959	13.0	その他事業収入計	289,836	318,598	327,189,009	37,353	12.9	8,591	2.7
事業総剰余金	91,100	100,303	94,975,762	3,876	4.3	-5,327	-5.3	事業総剰余金	1,264,776	1,318,307	1,252,775,785	-12,000	-0.9	-65,531	-5.0
役員報酬	973	852	865,000	-108	-11.1	13	1.5	役員報酬	10,444	9,961	10,085,000	-359	-3.4	124	1.2
職員給与	14,217	14,223	14,028,155	-189	-1.3	-195	-1.4	職員給与	165,865	160,886	163,488,951	-2,376	-1.4	2,603	1.6
定時職員給与	35,411	36,619	33,378,188	-2,033	-5.7	-3,241	-8.9	定時職員給与	440,227	458,947	447,110,510	6,883	1.6	-11,836	-2.6
退職給付費用	2,000	2,050	2,050,000	50	2.5			退職給付費用	22,000	22,550	22,550,000	550	2.5		
法定福利費	4,689	4,627	5,888,959	1,200	25.6	1,262	27.3	法定福利費	67,865	68,741	72,897,671	5,032	7.4	4,157	6.0
厚生費	164	183	307,366	143	87.5	124	68.0	厚生費	6,507	6,809	5,401,182	-1,106	-17.0	-1,408	-20.7
役員退職給与引当金繰入								役員退職給与引当金繰入							
賞与引当金繰入	2,583	2,854	2,854,000	271	10.5			賞与引当金繰入	46,877	48,997	46,497,000	-380	-0.8	-2,500	-5.1
派遣人件費								派遣人件費							
人件費合計	60,038	61,408	59,371,668	-666	-1.1	-2,036	-3.3	人件費合計	759,785	776,891	768,030,314	8,245	1.1	-8,861	-1.1
教育文化費	269	591	491,550	223	82.8	-99	-16.8	教育文化費	3,891	5,631	4,121,969	231	5.9	-1,509	-26.8
広報費	4,289	2,900	4,043,111	-246	-5.7	1,143	39.4	広報費	60,089	62,449	65,388,116	5,299	8.8	2,939	4.7
消耗品費	3,616	3,079	2,281,070	-1,335	-36.9	-798	-25.9	消耗品費	39,893	41,809	36,199,015	-3,694	-9.3	-5,610	-13.4
物流費	100	100	100,000					物流費	9,741	10,100	8,103,536	-1,638	-16.8	-1,996	-19.8
車輛運搬費	2,369	2,120	2,366,621	-2	-0.1	247	11.6	車輛運搬費	31,433	33,518	32,887,109	1,454	4.6	-631	-1.9
貸倒引当金繰入								貸倒引当金繰入							
ポイント引当金繰入								ポイント引当金繰入							
施設維持管理費	2,487	2,291	1,956,824	-530	-21.3	-334	-14.6	施設維持管理費	30,118	31,230	28,522,865	-1,595	-5.3	-2,707	-8.7
減価償却費	4,464	4,370	4,370,000	-94	-2.1			減価償却費	49,122	48,070	48,070,000	-1,052	-2.1		
賃借料	679	1,895	1,586,770	908	133.8	-308	-16.3	賃借料	12,973	19,294	15,719,907	2,747	21.2	-3,574	-18.5
水道光熱費	5,308	4,651	5,351,211	43	0.8	700	15.1	水道光熱費	56,319	55,606	55,923,228	-395	-0.7	317	0.6
保険料								保険料	1,489	1,469	1,535,225	46	3.1	66	4.5
委託料	5,178	7,179	6,993,398	1,816	35.1	-186	-2.6	委託料	67,314	82,348	85,757,815	18,444	27.4	3,410	4.1
研修採用費	254	208	27,926	-226	-89.0	-180	-86.6	研修採用費	2,208	2,402	2,570,982	363	16.4	169	7.0
調査研究費	333	272	457,252	125	37.5	185	68.1	調査研究費	1,214	1,348	1,132,368	-82	-6.7	-216	-16.0
会議費	289	237	227,270	-62	-21.5	-10	-4.1	会議費	3,779	4,072	3,008,412	-770	-20.4	-1,064	-26.1
諸会費	2,931	2,931	2,870,500	-60	-2.0	-61	-2.1	諸会費	13,568	13,346	13,292,880	-275	-2.0	-53	-0.4
渉外費			12,408	12		12		渉外費	142	40	58,159	-84	-59.0	18	45.4
租税公課	19	20	26,909	8	44.9	7	34.5	租税公課	9,188	9,184	8,893,797	-295	-3.2	-290	-3.2
通信交通費	590	1,110	820,308	231	39.1	-290	-26.1	通信交通費	15,439	17,449	14,767,598	-672	-4.4	-2,681	-15.4
雑費								雑費	132	13	144,695	13	9.6	132	1013.0
事業連合委託費	8,210	8,120	-1,615,500	-9,826	-119.7	-9,736	-119.9	事業連合委託費	90,561	89,473	79,737,500	-10,824	-12.0	-9,736	-10.9
物件費合計	41,382	42,074	32,367,628	-9,015	-21.8	-9,706	-23.1	物件費合計	498,614	528,851	505,835,176	7,221	1.4	-23,016	-4.4
事業経費合計	101,420	103,482	91,739,296	-9,680	-9.5	-11,743	-11.3	事業経費合計	1,258,400	1,305,742	1,273,865,490	15,466	1.2	-31,877	-2.4
事業剰余金	-10,320	-3,179	3,236,466	13,557	-131.4	6,415	-201.8	事業剰余金	6,377	12,565	-21,089,705	-27,466	-430.7	-33,655	-267.8
事業外収益	136	124	135,032	-1	-0.9	11	8.9	事業外収益	4,294	3,048	3,473,495	-821	-19.1	425	14.0
事業外費用	300	75	161,062	-139	-46.3	86	114.7	事業外費用	952	589	730,116	-222	-23.3	141	24.0
経常剰余金	-10,484	-3,130	3,210,436	13,694	-130.6	6,340	-202.6	経常剰余金	9,719	15,024	-18,346,326	-28,065	-288.8	-33,370	-222.1
特別利益								特別利益							
特別損失								特別損失	0		1	0	-83.3	0	
税引前当期剰余金	-10,484	-3,130	3,210,436	13,694	-130.6	6,340	-202.6	税引前当期剰余金	9,719	15,024	-18,346,327	-28,065	-288.8	-33,370	-222.1
法人税等								法人税等							
過年度法人税等								過年度法人税等							
法人税等調整額								法人税等調整額							
当期剰余金	-10,484	-3,130	3,210,436	13,694	-130.6	6,340	-202.6	当期剰余金	9,719	15,024	-18,346,327	-28,065	-288.8	-33,370	-222.1
過年度税効果調整額								過年度税効果調整額							
当期首繰越剰余金								当期首繰越剰余金	1,913		593,800	-1,319	-69.0	594	
目的積立金取崩額								目的積立金取崩額							
当期末処分剰余金	-10,484	-3,130	3,210,436	13,694	-130.6	6,340	-202.6	当期末処分剰余金	11,631	15,024	-17,752,527	-29,384	-252.6	-32,777	-218.2

対象年月:2019年1月 会員:1101 北大 生協

科目名	補助科目名	19年1月	18年12月	前月差額(12-11月)	18年1月	前年差額(12月)
現金	現金	23,642,145	16,786,827	6,855,318	27,167,205	-3,525,060
当座預金		1,902,629	20,169,904	-18,267,275	2,966,949	-1,064,320
	ゆうちょ銀行小樽事務	760,285	848,528	-88,243	1,305,024	-544,739
	ゆうちょ 旅行	895	895	0	1,099	-204
	ゆうちょ記念アルバム	797,708	1,753,588	-955,880	764,872	32,836
	ゆうちょ 全国ギフト	236,013	729,731	-493,718	102,004	134,009
	ゆうちょ新学期特設店	342	342	0	597	-255
	ゆうちょ 学研災払込	22,480	16,785,340	-16,762,860	0	22,480
	ゆうちょ エルムの森	84,906	51,480	33,426	120,941	-36,035
普通預金		217,293,434	141,201,585	76,091,849	145,731,099	71,562,335
	北洋銀行 北七条支店	179,412,447	131,414,716	47,997,731	139,394,796	40,017,651
	北海道銀行札幌駅北口	33,366,714	4,984,466	28,382,248	4,592,083	28,774,631
	北海道銀行 函館支店	1,606,225	1,365,383	240,842	1,625,806	-19,581
	労働金庫 札幌北支店	2,908,048	3,437,020	-528,972	118,414	2,789,634
供給未収金		137,403,395	118,719,833	18,683,562	132,201,528	5,201,867
	I 大学等 利用	15,847,785	12,436,482	3,411,303	13,670,256	2,177,529
	II 教育・研究	111,036,235	94,844,539	16,191,696	107,081,919	3,954,316
	III 一般 売掛	5,071,865	4,752,436	319,429	5,652,285	-580,420
	団体 休	5,507,245	6,871,897	-1,364,652	5,988,816	-481,571
	共同受注センタ未収金	0	0	0	0	0
	振込供給 処理用	-125,285	-185,521	60,236	9,112	-134,397
	KLAS供給未収金	65,550	0	65,550	-200,860	266,410
クレジット等未収金		11,788,898	13,582,568	-1,793,670	17,992,968	-6,204,070
	Tuo JCB	154,335	164,813	-10,478	149,259	5,076
	TuoVISA	378,730	408,775	-30,045	421,722	-42,992
	クレジット	11,255,833	13,008,980	-1,753,147	17,421,987	-6,166,154
前払費用	オートチャージ当月分	1,327,977	2,757,538	-1,429,561	1,104,727	223,250
未収金		8,046,306	10,581,513	-2,535,207	7,641,284	405,022
	北海道事業連合	3,407,337	4,147,254	-739,917	2,164,185	1,243,152
	ECサイト ソニペ	0	0	0	0	0
	その他	4,176,696	5,566,436	-1,389,740	934,531	3,242,165

科目名	補助科目名	19年1月	18年12月	前月差額(12-11月)	18年1月	前年差額(12月)
借入金	北洋銀行	100,000,000	70,000,000	30,000,000	70,000,000	30,000,000
	北海道銀行	50,000,000	0	50,000,000	0	50,000,000
買掛金		264,427,578	230,840,943	33,586,635	266,580,112	-2,152,534
未払金		3,748,219	12,506,136	-8,757,917	3,420,245	327,974
事業連合未払金		6,226,653	5,877,577	349,076	2,967,253	3,259,400
前受金		135,727,151	170,857,308	-35,130,157	202,141,594	-66,414,443
	記念アルバム代	15,433,200	14,149,080	1,284,120	14,153,340	1,279,860
	卒業記念印鑑代	745,600	145,200	600,400	617,000	128,600
	諸口教材購入前受金	0	0	0	0	0
	公務員講座前受金	0	0	0	0	0
	ICプリペイド前受額	103,653,389	128,280,426	-24,627,037	103,714,900	-61,511
	ミールカード新規	0	0	0	0	0
	ミールカード振替3月	8,815,168	8,815,168	0	8,596,290	218,878
	ミールカード利用振替	6,865,448	19,302,054	-12,436,606	4,687,933	2,177,515
預り金		72,207,563	68,465,260	3,742,303	75,339,209	-3,131,646
	MS管理預り金	1,112,507	2,277,737	-1,165,230	1,774,551	-662,044
	敷金	13,030,000	13,149,000	-119,000	13,514,000	-484,000
	エルムテラ管理預り金	595,679	608,840	-13,161	239,586	356,093
	エルムテラス 敷金	2,719,292	2,719,292	0	2,353,000	366,292
	エルムテラス 清掃料	1,137,240	1,137,240	0	1,053,000	84,240
	エルムテラ 町内会費	24,000	24,000	0	20,400	3,600
	一般MS管理 預り金	883,701	412,205	471,496	1,315,906	-432,205
	ルームガイド預り金	20,650,447	15,934,803	4,715,644	18,434,817	2,215,630
	留学生寄宿料預り金	4,659,161	5,374,363	-715,202	17,755,241	-13,096,080
	北大外国人宿舍預り金	1,938,197	1,330,197	608,000	204,637	1,733,560
	学研災等掛金預り金	665,820	1,344,670	-678,850	0	665,820
	KLAS受注プリペ	585,000	0	585,000	0	585,000
	ICプリペイド預り金	3,153,401	3,595,446	-442,045	2,075,627	1,077,774
	学生生活110番	142,256	91,796	50,460	166,830	-24,574
	QGケア保険料	0	0	0	0	0
預り共済掛金等		693,040	297,300	395,740	474,230	218,810
出資金		400,119,321	400,620,721	-501,400	403,002,621	-2,883,300

2,396,393

2019年1月 損益主要項目比較表

19/1月 (単月)	供 給 高							供給剰余			その他事業収入			人件費			物件費			経常剰余			当期剰余
	前年実績	本年予算	本年実績	前年差異	伸張率	予算差異	達成率	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績
	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(%)	(万円)	(%)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)
北大生協	30,409	32,171	30,010	▲ 399	▲ 1.3	▲ 2,161	▲ 6.7	6,970	▲ 113	▲ 790	2,567	500	296	5,965	▲ 80	▲ 176	3,240	▲ 908	▲ 967	329	1,389	642	329
北海学園生協	5,270	4,990	5,744	474	8.9	754	15.1	1,218	177	235	92	23	29	718	▲ 10	▲ 81	912	282	283	▲ 310	▲ 70	69	▲ 310
酪農学園生協	4,798	4,810	4,722	▲ 76	▲ 1.5	▲ 88	▲ 1.8	1,060	22	▲ 38	280	▲ 39	▲ 24	853	291	▲ 35	783	94	136	▲ 293	▲ 400	▲ 306	▲ 293
札学院生協	2,505	2,553	3,046	540	21.5	493	19.3	628	105	50	222	▲ 3	81	494	39	▲ 20	344	41	67	16	34	84	16
北星学園生協	5,333	5,774	6,702	1,370	25.6	929	16.0	778	91	48	59	▲ 104	▲ 92	553	9	▲ 24	593	203	226	▲ 304	▲ 225	▲ 243	▲ 304
北教大生協	4,504	4,184	4,191	▲ 314	▲ 6.9	7	0.1	933	▲ 112	▲ 164	203	129	100	647	▲ 18	5	941	337	389	▲ 444	▲ 299	▲ 456	▲ 444
札幌大生協	1,150	1,265	1,337	187	16.2	73	5.7	317	3	▲ 45	307	▲ 12	▲ 13	299	495	▲ 3	298	161	53	28	▲ 663	▲ 105	28
樽商大生協	1,733	2,155	1,904	171	9.8	▲ 251	▲ 11.6	329	24	▲ 53	71	24	25	210	▲ 36	▲ 35	236	73	64	▲ 44	11	▲ 55	▲ 44
室工大生協	5,965	6,637	6,126	161	2.6	▲ 511	▲ 7.7	1,345	44	▲ 101	255	65	21	1,005	144	▲ 259	791	▲ 78	81	▲ 194	42	100	▲ 194
帯畜大生協	1,907	1,898	1,871	▲ 36	▲ 1.9	▲ 27	▲ 1.4	430	3	▲ 53	183	115	101	374	▲ 2	▲ 25	250	▲ 36	17	▲ 10	156	56	▲ 10
北見工大生協	2,558	2,177	2,563	5	0.1	387	17.7	776	127	138	114	54	99	482	▲ 45	▲ 57	750	34	331	▲ 339	182	▲ 34	▲ 339
釧路公立大生協	902	871	703	▲ 199	▲ 22.0	▲ 168	▲ 19.3	179	▲ 12	▲ 13	325	▲ 12	▲ 19	126	▲ 2	▲ 2	124	46	39	255	▲ 67	▲ 69	255
はこだて未来大生協	1,003	1,068	1,158	154	15.3	90	8.4	295	9	22	19	▲ 26	▲ 7	159	▲ 2	▲ 11	168	38	58	▲ 12	▲ 51	▲ 30	▲ 12
会 員 合 計	68,037	70,553	70,077	2,038	3.0	▲ 473	▲ 0.7	15,258	368	▲ 764	4,697	714	597	11,885	783	▲ 723	9,430	287	777	▲ 1,322	39	▲ 347	▲ 1,322
北海道事業連	0		0	0	0.0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

19/1月累計	供 給 高							供給剰余			その他事業収入			人件費			物件費			経常剰余			当期剰余	繰越剰余
	前年実績	本年予算	本年実績	前年差異	伸張率	予算差異	達成率	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	前年差異	予算差異	本年実績	
	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(%)	(万円)	(%)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	(万円)	
北大生協	402,829	400,104	385,971	▲ 16,858	▲ 4.1	▲ 14,133	▲ 3.5	93,397	▲ 5,158	▲ 6,574	32,765	3,738	644	77,098	673	▲ 591	50,690	727	▲ 2,195	▲ 1,365	▲ 2,892	▲ 3,069	▲ 1,365	59
北海学園生協	89,899	92,999	90,205	306	0.3	▲ 2,794	▲ 3.0	16,812	140	▲ 196	2,973	▲ 103	▲ 39	9,583	39	▲ 551	8,940	146	20	1,619	167	602	1,619	368
酪農学園生協	71,079	71,899	71,429	351	0.4	▲ 470	▲ 0.6	14,403	▲ 141	▲ 662	3,674	317	281	11,842	730	▲ 93	8,091	239	390	▲ 1,841	▲ 788	▲ 832	▲ 1,841	185
札学院生協	40,019	39,297	41,579	1,559	3.8	2,282	5.8	9,165	428	562	2,105	▲ 304	95	6,692	485	62	3,612	134	188	1,153	▲ 332	531	1,153	▲ 4,547
北星学園生協	64,001	63,473	63,975	▲ 27	0.0	501	0.7	10,784	▲ 549	322	1,893	▲ 39	10	7,806	▲ 504	▲ 45	4,884	325	263	593	▲ 247	35	593	233
北教大生協	54,560	54,492	53,392	▲ 1,168	▲ 2.1	▲ 1,100	▲ 2.0	12,575	▲ 320	▲ 829	3,713	329	99	7,775	398	▲ 130	7,882	507	332	971	▲ 887	▲ 662	971	348
札幌大生協	19,566	20,690	19,698	132	0.6	▲ 992	▲ 4.7	4,685	42	▲ 415	2,174	284	272	3,803	▲ 125	38	2,705	▲ 342	▲ 164	459	1,380	▲ 35	459	▲ 6,488
樽商大生協	27,426	28,190	26,513	▲ 913	▲ 3.3	▲ 1,677	▲ 5.9	4,787	▲ 13	▲ 334	855	68	96	3,010	▲ 173	▲ 243	2,662	33	84	1	243	▲ 47	1	45
室工大生協	95,215	93,488	91,387	▲ 3,827	▲ 4.0	▲ 2,101	▲ 2.2	18,453	▲ 329	▲ 193	4,749	1,003	1,104	13,367	285	16	9,758	▲ 262	277	94	653	623	94	33
帯畜大生協	28,859	30,224	29,231	372	1.2	▲ 993	▲ 3.2	6,385	87	▲ 133	1,324	▲ 38	▲ 26	5,138	224	▲ 4	3,045	61	106	▲ 359	▲ 261	▲ 196	▲ 359	138
北見工大生協	38,607	39,639	38,650	43	0.1	▲ 988	▲ 2.4	9,464	33	▲ 199	2,309	▲ 66	98	6,585	326	▲ 287	4,704	103	95	612	▲ 348	219	612	177
釧路公立大生協	15,325	15,093	15,572	248	1.6	479	3.1	2,748	14	83	827	13	11	1,692	56	▲ 3	1,511	57	47	379	▲ 87	53	379	66
はこだて未来大生協	13,685	13,601	13,522	▲ 163	▲ 1.1	▲ 79	▲ 0.5	3,412	173	166	784	121	122	2,000	135	74	1,913	261	196	288	▲ 99	24	288	75
会 員 合 計	961,070	963,189	941,124	▲ 19,945	▲ 2.1	▲ 22,065	▲ 2.3	207,070	▲ 5,593	▲ 8,402	60,145	5,323	2,767	156,391	2,549	▲ 1,757	110,397	1,989	▲ 361	2,604	▲ 3,498	▲ 2,754	2,604	▲ 9,308
北海道事業連	0		0	0	0.0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

供給は会員格差が出ています。12月祭の取組も会員独自の取組が効果を出しています。人件費は定時職員給与が予算ほど伸びなかったことがあります。室工大は前月組むはずだった予算が1月にずれただため累計では予算とあってきています。法定福利費は予算の精度が問われます。物件費は共同運営費の再按分があり、北大で大きく減額になった一方で、各会員に負担をお願いしました。それ以外でも決算処理との関係で、消耗品や施設管理費で計上をしているものが多くあります。個別には酪農の水光熱費が数倍になっていることやいくつかの会員で諸会費の予算計上漏れがあります。(2月に組んであればよいですが)

連合の損益はまだ締め前ですが、収入の遅れ分が入ってきています。CSSの経営指導料を大幅増額してもらいました。

累計では北海・北見の人件費差異が大きいところです。当期剰余では北大が▲1365万円で、予算差異▲3069万円です。酪農も落としすぎ、帯広も厳しいところです。小樽も赤字まであと一歩になりました。出資金整理益やその他の収入をきちんと計上して、繰越剰余の範囲で収まる様、決算対策を進めましょう。

取扱項目	案件	起案者
議決事項 2	組織委員等任免の件	岸本

1. 学生組織委員会

(1) 1月31日をもって以下の者より学生組織委員の任を解く。

理学部 3年 伊藤 凌^{いとう りょう}
工学部 3年 佐藤 昂汰^{さとう こうた}
工学部 3年 水谷 圭佑^{みずたに けいすけ}

2. 院生組織委員会

(1) 3月1日をもって以下の者を院生委員会委員長に任命する

・高橋 真太郎 修士課程現1年

(2) 2月28日をもって以下の者の任を解く

・相田 大輔 大学院修士課程修了のため
・川村 勇人 大学院修士課程修了のため
・白戸 しおり 大学院修士課程修了のため
・中谷 操希 大学院修士課程修了のため
・木村 豪 大学院修士課程修了のため

3. 留学生組織委員会

(1) 2月28日をもって以下の任を解く

・リ ジェフン (韓国)

理由：院進学、勉学研究に専念するため

組織委員手当は3月支給をもって停止する

(2) 委員会活動不参加につき組織委員手当停止

・アミル ウバイダ ビン モハマド ズキ (マレーシア)

理由：2月中委員会、メール等での活動に参加できなかったため

組織委員手当は3月分支給せず

・ジャン エネス ムハメット

理由：海外長期研究のため (5月末帰札予定) 帰札後委員会活動に復帰する意思有り

組織委員手当は3月支給をもって4月以降一時支給を停止

取扱項目	案件	起案者
報告事項 1	レジ袋有料化に関する答申	

2019 年 2 月 20 日(水)

北海道大学生生活協同組合
代表理事 理事長 柿澤宏昭様

生協のレジ袋有料化に関する答申

北海道大学生生活協同組合環境課題推進委員会
委員長 高橋真太郎

環境課題推進委員会は、2018 年度第 6 回(11 月)理事会において、「レジ袋の有料化について」包括的な諮問が行われたことを受け、プラスチックごみとレジ袋の利用削減に関する多角的な検討を行った。その中で、「レジ袋削減」に関する北大生協のこれまでの辞退申告による取り組みや先進的な取り組みを行っている大学、学生団体の取り組みについて学び、レジ袋有料化を中心に審議が行われてきた。

審議にあたっては、業務側から工学部購買店堀川店長に加わっていただき業務サイドの実情把握をした。また、北大サステイナブルマネジメント本部に係る教員の方の協力もあり、組合員への利用者アンケート調査、ならびに教職員総代会議で声を集め、意識状況の把握に努めた。さらには、レジ袋辞退率の状況に関して、千葉大学生協ならびに室蘭工業大学生協から参考資料の提供を受けた。その後、1 月理事会で審議経過を報告、2 月常務理事会で常務理事より意見をいただいた。

その結果、これまで行ってきたレジ袋の辞退申告方式から 2020 年の法制化を待たずに有料化に切り替え、また会計時のオペレーションを申し出があったときのみレジ袋を渡すオペレーションに切り替えることがレジ袋の削減に有効であるという結論に至り、理事会に答申することとする。

環境課題推進委員会の審議は下記の通り行われた。

2018 年度第 5 回環境課題推進委員会

日時：2018 年 12 月 20 日(木)18:15-20:10

場所：北大生協会館店 3 階会議室

出席者：高橋、春名、石垣、福山、葛山、伊藤、竹渕

オブザーバー：植松(学生)、池上(北大 SCM 本部)

事務局：軸丸、大内

議事内容

- ・プラスチックごみ問題をめぐって-社会的動向から
- ・先進的取り組み事例紹介-先進的取り組みから何を学ぶか
- ・北大生協の現状について

第 6 回環境課題推進委員会

日時：2019 年 1 月 17 日(木)18:15-19:55

場所：北大生協会館店 3 階商談室

出席者：高橋、春名、石垣、福山、葛山、伊藤、水谷、竹渕、原田、羽山

オブザーバー：植松(学生)、池上(北大 SCM 本部)、堀川(生協職員)

事務局：軸丸、大内

議事内容

- ・答申に盛り込むべき内容について

第 7 回環境課題推進委員会

日時：2019 年 2 月 18 日(月)18:00-19:40

場所：北大生協会館店 3 階会議室

出席者：高橋、春名、福山、伊藤、水谷、竹渕、原田

事務局：軸丸、大内

議事内容

- ・答申案の確認

以上

本答申の要点

- ・レジ袋の有料化を 2019 年 6 月から実施する。
- ・会計時のオペレーションを申し出があったときのみレジ袋を渡すよう徹底する。
- ・レジ袋辞退率を 2020 年までに 90%にする。(2022 年までに 99%にする)
- ・対象となる店舗は全ての店舗とする。(コップパンは除く)
- ・レジ袋の料金を一律 5 円とする。(大・中・小を区別しない)
- ・実施 2 ヶ月前(2019 年 4 月)からレジ袋有料化とレジ袋辞退を呼びかける PR する。

1. レジ袋有料化の背景・問題意識

昨今プラスチックごみの増加による環境汚染は深刻な問題となっており、環境省は 2018 年 10 月、中央環境審議会の専門委員会において、レジ袋有料化の義務付けを含んだ使い捨てプラスチックの削減戦略を示し、小売業を対象に 2020 年度の義務化を目指すとして報告された。その後、同年 11 月には中央環境審議会専門委員会が環境省の提示を了承し、使い捨てプラスチックの排出量を 2030 年までに 25%削減する目標を定めた。2015 年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)では、「12. つくる責任つかう責任」において廃棄物の削減を、「14. 海の豊かさを守ろう」「15. 陸の豊かさを守ろう」において環境汚染対策を呼びかけている。

北大生協では、2006 年にレジ袋の使用枚数が 915,000 枚を記録し、2007 年 10 月から非有料化方式による辞退呼びかけに踏み切った。その結果、2010 年度には辞退率が 90%近くに達し、使用枚数は 184,515 枚と最小値を記録した。しかし、2015 年度には 739,500 枚(仕入原価 1,702,603 円)、2016 年度には 843,400 枚(仕入原価 1,918,674 円)、2017 年度には 911,000 枚(仕入原価 2,053,994 円)と増加の一途を辿っている。この背景には、辞退率の低い購買店において、レジ袋に入れて商品を渡すことを前提としたオペレーションを行っていることが要因として挙げられる。北大生協では「北大生協ビジョンとアクションプラン」のアクションプラン 3,5 においてサステイナブルキャンパスの構築や環境保全に取り組むことを掲げており、レジ袋の使用枚数増加は経営や企業の社会的責任の面で早急な対策が求められる問題である。

2. レジ袋削減に向けたビジョンとアクション

2-1. レジ袋辞退率の目標数値と実現目標年(ビジョン)

前述の背景を踏まえ、本答申ではレジ袋の有料化を行うことを提言する。その上で、レジ袋辞退率の最終目標を「限りなく 100%に近づける」とし、短期目標として「2020 年までに 90%にする」ことを掲げる。また、千葉大学では有料化開始から 2 年でレジ袋辞退率

99.5%を実現しており、北大生協としても限りなく 100%に近づけることを目標として掲げるべきであると考え。北大生協では以前に非有料化方式を採用して 3 年で辞退率 90%を実現しており、有料化を採用して 1 年で 90%を達成することに無理はないと考える。(事実室蘭工業大学では 2018 年 11 月にレジ袋有料化を実施して 2 ヶ月でレジ袋辞退率 90%を達成している。)

2-2. レジ袋削減のための方策(アクション)

レジ袋削減に向けて、北大生協ではレジ袋有料化を実施するとともに、「会計時に申し出があったときのみレジ袋を渡すオペレーションを行う」ことを提案する。オペレーションに関しては、レジ袋有料化を行う以上、申し出があったときのみ渡すことは定着すると考えられる。また、以前のようにレジ袋辞退率が下がることを防ぐために、サステイナブルキャンパスマネジメント本部を窓口として「レジ袋削減達成値報告」を義務化し、大学当局に点検を依頼する。レジ袋削減について大学当局と連携し、他社も含めた北大全体で推進することが望ましいであろう。

また、レジ袋辞退を促す PR を行うことも重要である。ポスターや食堂 POP、HP、レシートなどが手段として考えられる。

2-3. レジ袋有料化の開始時期と価格設定案

本答申では、現場へのヒアリングも踏まえ、レジ袋有料化の開始時期として「2019 年 6 月から」を提案する。理由としては、「新年度に入ってから 2 ヶ月 PR 期間を確保できること」「レジ袋が有料化されたからといって利用客数が減るとは考えにくいこと」が挙げられる。したがって、2019 年 4 月から PR 活動を行うことも提案する。

また、レジ袋を有料化した際の価格設定としては、「一律 5 円」を提案する。「5 円」という額に関しては、レジ袋の原価や他の事例を踏まえて検討を重ねた結果である。一律にする意義としては、いかなる用途であってもプラスチックごみ問題につながるということを意識させる必要があることが挙げられる。

3. 得られた収益について

レジ袋有料化で得られた収益に関しては業務側で判断することだが、当委員会では大学の環境保全への寄付やごみ箱など共用スペースの整備に使用することを提案する。

付属資料

- ・ レジ袋利用者向けアンケート集計結果一覧
- ・ 食品分類一人買上点数の算出
- ・ 北大生協店舗別レジ袋仕入れ実績表
千葉大学生協店舗別レジ袋利用状況

レジ袋 利用者向けアンケート（試行版含む）集計結果

	集計 239名				
	学生 小計 202名	教職員 小計 36名	その他 小計 1名	計	構成比
購買店の利用状況					
■ 週何回利用					
0-1	52	17		69	28.9%
2-3	66	11		77	32.2%
4-5	57	6		63	26.4%
6-8	25	2	1	28	11.7%
それ以上	2	0		2	0.8%
■ 利用店舗					
生協会館店	32	11	1	44	18.2%
中央店	33	7		40	16.5%
工学部店	47	5		52	21.5%
北部店	43	9		52	21.5%
学部店	46	8		54	22.3%
■ 利用時間帯(複数回答)					
～ 11時	65	6		71	21.2%
11時～13時	58	19		77	23.1%
13時～15時	62	12	1	75	22.5%
15時～17時	51	8		59	17.7%
17時～	47	6		53	15.9%
■ 購入商品(複数回答)					
パン弁当おにぎり	119	19	1	139	28.7%
乳製品・デザート	56	6		62	12.8%
ジュース等飲料	125	21		146	30.1%
お菓子等食品	91	10		101	20.8%
文房具雑貨	24	13		37	7.6%
レジ袋の利用状況					
■ レジ袋の利用について					
辞退している	117	16	1	134	56.3%
辞退していない	83	17		100	42.0%
その他(量による・購入商品により)	2	2		4	1.7%
■ 辞退していない理由(複数回答)					
商品の受け取りや持ち運びに便利	70	15		85	80.2%
先に商品と一緒に渡される	10	3		13	12.3%
申し出るのが面倒	2	1		3	2.8%
その他	5	0		5	4.7%
■ レジ袋の処理					
レジ袋を再利用する	128	24	1	153	66.2%
ごみとして捨てる	69	8		77	33.3%
その他	1			1	0.4%

※購入比率

58.2%

25.9%

61.1%

42.3%

15.5%

	集計 239名				
	学生 小計 202名	教職員 小計 36名	その他 小計 1名	計	構成比
レジ袋の有料化					
■ レジ袋の利用					
辞退する	191	26		217	91.6%
辞退しない	11	7		18	7.6%
その他	0	2		2	0.8%
■ マイバックの用意					
用意する	104	22	1	127	53.8%
用意はしない	97	12		109	46.2%
■ 有料化実施の時期について					
直ちに開始	61	10	1	72	31.6%
周知期間(2～3ヶ月)	106	16		122	53.5%
法制化を待って2020年開始	20	7		27	11.8%
その他				17	7.5%
その他					
■ プラスチックごみ問題関心					
関心がある	147	19	1	167	69.9%
関心がない	16	4		20	8.4%
どちらでもない	40	12		52	21.8%
生協で取り組んで欲しい環境問題					

【コメント】

(1) 店舗の利用状況について

- ① 週の利用回数については、全階層を合わせた数値で平均値で3回、2018年10月に実施した学生生活実態調査の結果では、有額者回答で月平均12.6回となっており、現実実態と合致しているものと考えられる。
- ② 利用店舗や利用時間帯については、業務ルートで生協で働いている学生アルバイトの方に回答していただいたこともあり、学部店の利用度合いが高かったり、昼時間帯(11時～13時)の利用率が低かったり、回答にばらつきがあるものと考えられる。
- ③ 購買店での食品(CVS商品)分類の利用度は、4店舗合計点数構成比で83.4%となっており、アンケート回答は購入比率から利用実態を反映しているものと思われる。

(2) レジ袋の利用状況について

- ・「辞退している」と回答した方が56.3%となっており、先の委員会で報告した「レジ袋の仕入状況と利用客数」とを比較した数値とほぼ合致している。「辞退していない理由」では、商品の受け取り持ち運びの便利さとレジ袋に入れて渡す店舗側のオペレーションに起因しているものと考えられる。また、レジ袋を「ごみとして捨てる」と回答した方の割合が33.3%となっており、買上商品を消費した後に、それを一緒に捨てるという行動が想定される。レジ袋を有料化した際、今後買上商品の包装材がダイレクトに捨てられることになり食べ残し等のごみと混ざって捨てられる可能性もあり、ごみ分別が大きな課題と考えられる。

(3) レジ袋の有料化について

- ① 「レジ袋」を有料化したら「辞退する」と回答した方が90%を超えており、経済的手法によるレジ袋削減手段が極めて有効であることがわかる。ただ、マイバックを用意すると答えた方が53.8%と半分程度となっており、今後、店舗によっては昼ピーク時の買上商品の精算時に混雑の発生など店舗オペレーションに大きな課題が発生するものと考えられる。
- ② 有料化の開始時期については、2020年度の法制化を待たずに実施すべきと回答した方が全体の8割を超えている。ただし、設問が有料化の是非を問う設問になっていないため記述欄に有料化に反対と回答された方も十数名おり、周知や広報PRについては丁寧かつ論理的に行うべきと考える。

(4) プラスチック問題に関する関心度

- ・「関心がある」と回答した方が、69.9%とほぼ7割の方が関心があると回答しており、レジ袋の利用削減にむけた取り組みにおいて、SDGsと関連づけて行うことによって大きな共感を呼ぶ可能性を秘めていると言える。レジ袋の削減を皮切りに使い捨てプラスチックの削減にむけた取り組みも展開していきたい。

(5) 生協が今後取り組むべき課題

- ・フードロスとごみ問題に関する記述件数が多い。

利用者アンケート回答 アンケートに書き込まれた記述結果 一覧

質問事項【レジ袋の処理について】

□ その他

- ・ 研究室のごみ袋として
- ・ 研究室のごみ箱で臭うと嫌なのでレジ袋に包んで捨てる
- ・ 単品で買うことが少なく必要なため)
- ・ お弁当を捨てる際に必要
- ・ 紙袋でよいので、コップパンなどマイバックににおいがつきそうなものは別の袋を用意してほしいです。 …… 5 件

質問事項【有料化実施の時期について】

□ その他

- ・ 実施すべきではない (同文 4 件あり)
- ・ 開始すべきではない。選択肢が有料化に傾いている。適当ではない
- ・ 回避できるならそれにこしたことはない
- ・ 有料化しないほしい
- ・ 開始しないほしい
- ・ そもそもしない
- ・ 有料化する必要があるのかわからない
- ・ なぜ有料化前提になっているのかわからない。
- ・ いつでも
- ・ お好きな様に。
- ・ 有料化という方法ではなく、利用しない人にポイントを付与しては
- ・ 有償化すべきではない。マイクロプラスチックの問題は、発展途上国における海洋への不法投棄が問題となっているだけであり、北海道大学が適切に処分しているのであれば、有償化すべきではない。レジ袋を有償化して、儲けたいなら、別であるが。
- ・ 商品に袋代をいれて無料に見えるようにする
- ・ ゴミ袋として家庭で役に立っている学生もいるはずなので、商品が多い場合や持ち歩く場合は付けて欲しい。 …… 17 件

質問事項【生協で取り組んで欲しい環境問題】

- ・ 異常気象 (気候温暖化) について
- ・ ゴミ拾い (組合員を巻き込んで)
- ・ 廃棄の削減
- ・ 食料または食品廃棄ロス削減 (同様文 4 件)
- ・ 恵方巻きが話題を呼んだが、食糧廃棄についても関心を持つべきだ
- ・ おにぎりやパンなどの食品が大量に廃棄されている現状の改善。サービスを提供する側もされる側も理解する必要がある。
- ・ 廃棄処理について。大学生協でアルバイトしているが、大量の弁当やおにぎりを廃棄するのに抵抗を感じる。最近店員の廃棄持ち帰りが問題となった。アルバイトの身分としては、確かに違反行為ではあるが、棄てることへの躊躇い、勿体なさもあったと思う。大学生協側としても売る努力をすべきである。閉店時間に近付くと割引をし、間近では原価ギリギリまで落として売る、等はどうか。プラごみと同じ位、廃棄問題も考慮すべきであると考え。考慮して頂けると幸いです。
- ・ 4 月などの時期に食品の廃棄量が多いので何か取り組みをした方がいいと思う
- ・ 鰻不売(買)運動
- ・ 生ゴミの堆肥化, 購入履歴と学生情報の紐付けによるレシートの削減 (レシートは希望者へのみ渡す等)
- ・ レシートの電子化

- ・ レジ袋もそうだが、はし等、身近な環境問題取り上げてほしい！
 - ・ 間伐材の箸を使用すること
 - ・ 割りばしの使用を控える！
 - ・ 生分解性プラの利用など進められたらもっと良いと思います。
 - ・ 有料化していいと思います
 - ・ レジ袋を 200 円にすべき
 - ・ 持ち運ぶのがはずかしい レジ袋を作る (原文のまま)
 - ・ レジ袋を、有料化するよりも、まずはレジ袋が必要な人だけ申し出る制度にすれば減るのではないかと思う。有料化するかは、それでも減らない場合に検討すべきだと思う。
 - ・ レジ袋の使用削減によって職を失う方がいることをもちろん理解しているのでしょうか。また、レジ袋の使用削減が本質的な石油使用の削減に繋がるとは思えません。
 - ・ プラスチックの消費量を削減するために、紙製のストローを導入してほしい
 - ・ ビニール袋使用の削減とポイ捨ての減少の因果関係をしっかり示すべきだと思います。悪いのは雑に使用する人間であって、ビニール袋ではありません。最近ではアメリカでビニール製ストローが使用禁止になったことが話題になりましたが、あの一件でビニールストローを作っていた会社が潰れてしまったそうです。大学内の企業であるため、論理的な根拠がないと学生が納得しないと思います。
 - ・ ゴミ分別を行うこと。現状は缶瓶ペットとそれ以外でしか分けられていないため、プラスチック用のゴミ箱を設置すべし。
 - ・ 廃品回収とか…？
 - ・ 資源ごみの回収
 - ・ 「自分がゴミを出している」という意識が学生の中にほとんど感じられず、毎日多量のゴミが出ている。ゴミ箱を見て悲しくなる。レジ袋有料化は 1 番最速でできる策だとは思いますが、いっそのことすぐにはなくてもいいので撤廃してほしい。有料化→撤廃。しかしエコバックの販売はしないほしい。なぜならエコバックを忘れる→買い直す→結局ゴミとして最終的に捨てられるという流れが見えるから。(レジ袋にせよ何にせよ、「何回使うか」が大事なのだと思います)
 - ・ カートリッジ、乾電池、牛乳パックの分別場所がもっとわかりやすく目立つようにしてほしい。増やしてほしい。
- …… 26 件

以上

1 月期教職員総代会議で出された声

- ・ 学部店では弁当やお菓子など両手で持てるケースは多いのではないかな？
- ・ 屋外から生協店舗に買い物にきて、屋外に持ち帰る店舗ではレジ袋が必要でないか (たとえば 生協会館や北部店など)
- ・ コップパン、包装材を紙製に変更できないか
- ・ 会館店では観光客も多いからなのかなんでもレジ袋に入れてくれる。農学部店はテープで済ますことがほとんど。レジ袋の節約のためにも、レジでの声掛け (袋入れますか？など) を全店舗で徹底すべき。
- ・ おにぎり購入の際にテープを貼る場所に気をつけて欲しい。
- ・ 弁当箱やペットボトルもたくさん利用されているのに、レジ袋の削減だけ一生懸命やるのは、環境問題を考えているという気分的なものだけなのでは。もっと包括的に考えていくべき。
- ・ レジの現場が困るのであれば、柔軟に考えては。
- ・ いろいろ迷わず、即レジ袋をなくしてしまったほうが良い。
- ・ 生協だけ有料にしたら、組合員はセコマに流れてしまう。
- ・ レジ袋の枚数をカウントするなら、レジにカウント用のキーを作っては。
- ・ 学生時代(弘前大学)には、弁当のトレーを回収場所に持っていくと 10 円キャッシュバックがあった。かなり回収されていたようなので、このような方法を取り入れては？

食品分類1人買上点数の算出

- ・ 集計期間 2018年3月～12月までの累計
- ・ 対象店舗 会館店1階、北部購買、工学部購買、中央購買

1日の利用でレジ袋の使用頻度の多い食品商品（CVS）の1人買上点数は4大店舗合計で2.2点でした。
（文具、雑貨は校費利用も多いため除きました。）
全商品対象とした1人買上点数は2.1点です。（UH資料）

全体、食品のみ対象としても1人買上点数は3点弱と、点数だけの判断ではレジ袋を使用しなくても持ち帰りできる範囲と伺えます。

3～12月累計	会館店1階	北部購買	工学部購買	中央購買	4店合計
利用客数（人）	171,096	348,227	338,991	212,742	1,071,056
購入点数（点）	413,598	748,335	698,567	444,255	2,304,755
供給高（千円）	117,012	390,717	117,012	70,804	695,545
1人買上点数（全商品対象）	2.4	2.1	2.1	2.1	2.1

CVS商品	会館店1階				北部購買				工学部購買				中央購買				4店合計			
	点数	点数構成比	供給（千円）	供給構成比	点数	点数構成比	供給（千円）	供給構成比	点数	点数構成比	供給（千円）	供給構成比	点数	点数構成比	供給（千円）	供給構成比	点数	点数構成比	供給（千円）	供給構成比
食品・菓子	82,992		10,644		152,025		15,377		146,545		17,022		110,242		12,613		491,804		55,656	
パン・米飯	83,455		12,092		169,207		24,789		186,350		30,023		70,607		9,993		509,619		76,897	
チルド（乳製品）	19,922		2,049		45,762		4,946		33,900		3,705		29,700		3,112		129,284		13,812	
フローズン（アイス）	6,421		734		24,519		2,904		22,603		2,759		10,853		1,217		64,396		7,614	
飲料	113,098		11,868		211,554		22,038		244,357		26,362		157,516		16,918		726,525		77,186	
合 計	305,888	73.96%	37,387	31.95%	603,067	80.59%	70,054	17.93%	633,755	90.72%	79,871	68.26%	378,918	85.29%	43,853	61.94%	1,921,628	83.38%	231,165	33.24%

CVS商品点数構成比で 掛けた利用客数	会館店1階	北部購買	工学部購買	中央購買	4店合計
	126,543	280,636	307,533	181,448	893,046

CVS商品点数÷CVS商品 構成比で算出した客数で 割った場合の1人買上点	会館店1階	北部購買	工学部購買	中央購買	4店合計
	2.4	2.1	2.1	2.1	2.2

北大生協店舗別レジ袋仕入れ実績(2017年度)

	部門管理区分	レジ用袋	弁当用ポリ袋	合計 仕入枚数	全体構成比	年間利用客数	レジ袋辞退率	備考
北部店	購買部門	188,000	16,000	204,000	22.4%	409,655	50.2%	文系・理系ショップ弁当 用ポリバック40,000枚
中央店 (文系・理系ショップ含む)	購買部門	118,000	54,100	172,100	18.9%	377,611	54.4%	
コップパン (中央店1階パンショップ)	購買部門	96,000		96,000	10.5%	104,397	8.0%	
工学部	購買部門	102,000	33,200	135,200	14.8%	428,975	68.5%	
会館1F	購買部門	92,000	14,500	106,500	11.7%	215,942	50.7%	
獣医店	購買部門	24,000	8,000	32,000	3.5%	58,894	45.7%	
歯学部	購買部門	24,000	4,500	28,500	3.1%	73,946	61.5%	
保健学科	購買部門	6,000	1,000	7,000	0.8%	90,227	92.2%	
薬学部	購買部門	4,000	1,300	5,300	0.6%	105,498	95.0%	
購買店舗 小計		654,000	132,600	786,600	86.3%	1,865,145	57.8%	
医学部	食堂・購買混合	10,000	1,300	11,300	1.2%			
農学部	食堂・購買混合	24,000	4,000	28,000	3.1%			
ぽぷら	食堂・購買混合	10,000	4,400	14,400	1.6%			
食堂・購買混合店舗 小計		44,000	9,700	53,700				
購買店舗含む店舗 計		698,000	142,300	840,300				
北部食堂1F・中央食堂・工学部食堂計		20000	2,000	22,000	2.4%			
書籍部門店舗 計		12000		12,000	1.3%			北部店・クラーク店発生
実店舗 計		730,000	144300	874,300	96.0%			
北大外売店共通A		14,000		14,000	1.5%			
札幌キャンパス 計		744,000	144300	888,300	97.5%			仕入原価 ; 2,053,994円
北大水産支部	購買・書籍混合	22,000	700	22,700	2.5%	51,053	55.5%	
総合計		766,000	145000	911,000	100.0%			

【コメント 辞退率が90%だとしたら、仕入費用額はいくら減額するか】

・購買店舗の利用客 2017年度実績客数1865,165人のうち90%の利用者が辞退したとしたら、単純計算でレジ袋の仕入枚数は、年間186,000枚まで減少する。よって、減少枚数は、786,600枚→186,000枚となり▲600,600枚減少する。レジ袋の仕入単価を、2.25円(@2.25)として計算すると仕入額の減少額は、@2.25*600,600=932,850 ▲932,850円……①仕入額が減り仕入れ費用が減額し、その分が収益額となる。その他、店舗で仕入枚数が書籍部店舗と外売店でゼロまたは混合店舗・水産店で10%ほど仕入れが発生したとしたら、124,400枚→9800枚となり仕入枚数は、▲114,600枚、@2.25*114,600=257,850 ▲257,850円 ……②仕入額が減り、①と②合計 1,190,700円の費用が減少し、その分削減による収益額となる見込み。

2017年度 れじぶー基金収支報告

2018/4/6
千葉大学生協同組合

		2017/4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期合計	10月	11月	12月	2018/1月	2月	3月	後期合計	合 計
ライフセンター	総客数	66,519	68,828	74,397	72,462	24,951	18,395	325,552	65,507	57,575	53,414	51,778	26,600	20,148	275,022	600,574
	レジ袋	727	398	410	407	281	159	2,382	370	242	230	294	179	246	1,561	3,943
	利用率	1.1%	0.6%	0.6%	0.6%	1.1%	0.9%	0.7%	0.6%	0.4%	0.4%	0.6%	0.7%	1.2%	0.6%	0.7%
	エコバッグ	0	203	48	33	1	0	285	0	0	0	0	0	0	0	285
	タンブラー							0				69	148	58	275	275
工学部店舗	総客数	18,326	22,166	25,279	25,307	8,602	8,591	108,271	22,154	20,756	18,592	19,359	11,052	6,822	98,735	207,006
	レジ袋	35	35	45	65	35	25	240	42	29	16	31	22	25	165	405
	利用率	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%
								0								
総合校舎店	総客数	14,043	19,691	24,204	24,508	2,339	0	84,785	19,970	18,922	17,205	16,186	3,219	0	75,502	160,287
	レジ袋	28	41	26	33	4	0	132	36	17	24	15	0	0	92	224
	利用率	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
								0								
松戸店舗	総客数	7,040	8,277	8,613	8,041	2,771	2,385	37,127	7,372	6,572	6,718	6,421	4,273	2,525	33,881	71,008
	レジ袋	8	9	20	9	1	3	50	8	19	9	4	5	8	53	103
	利用率	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%
	エコバッグ	26	5	7	2	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	40
	タンブラー							0				15	24	4	43	43
亥鼻店舗	総客数	5,211	6,120	7,293	5,351	2,405	2,464	28,844	6,691	5,617	4,857	4,223	2,885	2,751	27,024	55,868
	レジ袋	11	12	9	11	7	6	56	15	7	11	7	5	13	58	114
	利用率	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.5%	0.2%	0.2%
	エコバッグ	9	3	2	7	9	1	31	0	0	0	0	0	0	0	31
	タンブラー							0				1	11	3	15	15
合計 点数	総客数	111,139	125,082	139,786	135,669	41,068	31,835	584,579	121,694	109,442	100,786	97,967	48,029	32,246	510,164	1,094,743
	レジ袋	809	495	510	525	328	193	2,860	471	314	290	351	211	292	1,929	4,789
	利用率	0.7%	0.4%	0.4%	0.4%	0.8%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.9%	0.4%	0.4%
	エコバッグ	35	211	57	42	10	1	356	0	0	0	0	0	0	0	356
	タンブラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	183	65	333	333
れじぶー募金額																0
	レジ袋	4,045	2,475	2,550	2,625	1,640	965	14,300	2,355	1,570	1,450	1,755	1,055	1,460	9,645	23,945
	エコバッグ	7,000	42,200	11,400	8,400	2,000	200	71,200	0	0	0	0	0	0	0	71,200
	タンブラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,000	36,600	13,000	66,600	66,600
合 計		11,045	44,675	13,950	11,025	3,640	1,165	85,500	2,355	1,570	1,450	18,755	37,655	14,460	76,245	161,745

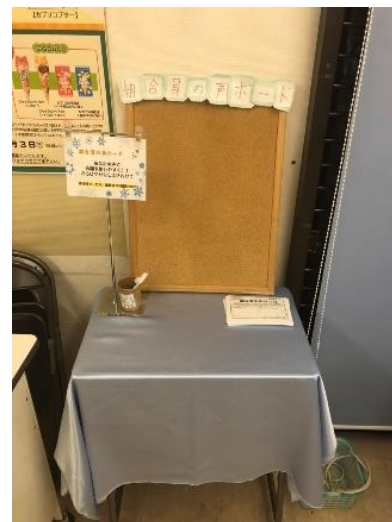
取扱項目	案件	起案者
報告事項 2	学生組織委員会活動報告	安藤

1. 行った活動・学生委員会内での動き

(1) 冬店舗活動 (1月7日～2月1日) [責任者：今井彩乃]

生協店舗に意見を発信する媒体として組声カードがありますが、普段あまり活用されていない課題を解決するために、より気軽に意見を発信してもらえるように冬店舗活動として組声企画を行いました。現在組声が無い店舗と北部購買・食堂において、GI が組声の一部に返答し組合員の要望にできるだけ答える、という企画です。GI と職員が返答することで、それぞれ答えやすい方に回答し、加えて店舗の装飾も行い組声カードの積極的な利用を促しました。

前回の報告の時は結果が不明でしたが、企画を通して計 110 件ほどの組声が集まりました。



(2) 強化月間総括会議 (2月2日) [責任者：安藤亮博]

10 月頭～2 月までの通常期活動のうち、店舗活動以外（総代活動 S-pro、共済月間活動、機関誌 Letter、HP 活動、社会的活動）& OC 活動の各活動を一日かけて学生委員全員で振り返りました。店舗活動は 2/1 まで企画を行っていたため総括会議で正しい評価は出来ないと判断し後日改めて総括します。活動によって様々な結果が出たり意見も出ました。出てきた意見や考えたことを活動ごと、組織全体としても学校が始まる 4 月以降、2019 年度以降にもつなげていけるようにしていきたいです。



2. これから行う活動

(1) 受験生歓迎活動 (2月23日～25日、3月11日) [責任者：黒須大樹]

前期試験を受けに来る受験生、後期試験を受けに来る受験生を対象に受験生歓迎活動を行います。内容としては、北大生が直接話をする「北大生と話そう」、北大構内を案内する「道案内」、受験生応援冊子「いな蔵」の配布、LINE@を利用したの ONLINE 相談を行います。今年は昨年に引き続き 25 日、前期試験後もホテル相談を設けてみたので、成果がどうなるか気になります。また、こちらも昨年と同様正門と JR ブースでいな蔵パックの配布をアドバイザーにお願いしているため、配布数も気になります。来た受験生がみんな不安や疑問を解消して北大に希望を持ってもらいたいです。

3. セミナー派遣等

(2)第1回全道学生委員会（旧：学生委員長会議）（2月10日、ガレリアホール 3F）

2019年最初の委員長会議は、昨年の委員長会議よりも参加のしやすさや構成メンバーの考慮、加えてより広い意見交流がなされる場にするため名称が変わりました。内容としては、12月委員長会議以降の各会員の活動報告に加えて、やってくる新入学生委員の勧誘や、総代会について考える場、意見交流の場があり、他大学の活動はもちろん、一緒に新入学生委員の獲得や総代会について考えることが出来ました。学生委員会からは安藤亮博（農学部2年）、原田佳子（経済学部2年）が参加しました。

(3)第1回共済推進委員会（2月10日、ガレリアホール 3F）

こちらも2019年最初の共済推進委員会となり、内容としては今年度の共済推進委員会を全道で考えたのち、各大学で共済について何が出来るか、大まかな予定を考えました。学生委員会の中で2019年度の共済活動の予定が決まっていないため暫定ではありますが、他大学の意見も反映されている今回のスケジュールを参考にして、2019年度共済活動を行っていきたいです。学生委員会からは2019年度共済推進の奥山莉子（総合理系1年）が参加しました。

(3)組合員活動研修セミナー2019（2月12日～2月14日、水上ホテル聚楽）

組合員活動研修セミナーでは、普段当たり前のように組合員のよりよい生活を目指して学生委員会として活動していることにおいて、一度その価値や意味を改めて確認することで、可能性を広げることを目的に行われます。その他にも、全国の学生委員が集まる場として全国の学生委員会を知る機会になったり、活動をしていく上でのモチベーションアップも期待されます。学生委員会からは奥山莉子（総合理系1年）、原田佳子（経済学部2年）がちょうど参加しており、また北大の活動である「総代のつどい」が事例発表となります。

(4)北海道上級生セミナー2019（2月17日、北海道青年会館 札幌ハウス セミナーセンター）

新入学生委員が入ってくる4月になる前に、上級生となる現学生委員が上級生としてどのように活動するか、どのように次の1年生に接するかを考えたり、またどのような学生委員会で活動していきたいかなどを考える場として上級生セミナーが開かれます。自分を振り返ったりこれからどう活動していきたいかなどを話す、考える時間があります。学生委員会からは小黒浩平（総合理系1年）、高橋廉（総合理系1年）、安藤亮博（農学部2年）、今井彩乃（文学部2年）、原田佳子（経済学部2年）が参加予定です。

取扱項目	案件	起案者
報告事項 2	院生組織委員会活動報告	相田

① ほんでないかい 2018 作成中

院生向け書評誌「ほんでないかい 2018」が完成しました。今年の特別インタビューはイグノーベル賞を受賞した中垣教授にお願いしました。学内各所、生協食堂等で配布しておりますので、ぜひご覧ください。



② いんでないかい 2019 作成開始

例年、新入院生向けに発行している「いんでないかい 2019」を今年も発行します。先輩院生からのアドバイスや院生生活、北海道観光まで幅広く掲載します。2 月中に完成、3 月に資料請求いただいた方に送付する予定です。



※写真は 2018 年度版です。

取扱項目	案件	起案者
報告事項 2	組織委員会関係 教職員委員会	笠原
要旨	2019 年度総代選出スタート・教職員委員増員を図る	

（１）きぼうの虹 380 号を 2 月 1 日に発行しました

「きぼうの虹」380 号を 2/1（金）に発行しました。北大生協ホームページへの Web 版も同日アップしました。今号では、サステイナブルキャンパスマネジメント本部の池上真紀先生に「サステイナブルキャンパスというプロジェクト」というテーマで、OPINION を執筆いただきました。また現在の北大キャンパスがどのように計画され、つくられていったかを「北大キャンパス計画の系譜」として、見開きページで工学研究院の小篠隆生先生に執筆いただきました。とても読み応えのある記事になりましたので、是非ご一読ください。

（２）2019 年度総代選出の準備をスタートしました

2019 年度総代選出に向け、各選挙区での準備をスタートしています。委員会では選挙区の確認を行い、昨年と変更なしで決定しました。

現総代の方には、来年度も総代を継続いただけるよう、総代会議等をお願いしていきます。また都合により退任される方には、必ず後任の方をご推薦・ご紹介いただき、定数の空席を作らないようにしていきたいと思ひます。

（３）2019 年度に教職員委員の増員を目指します

教職員委員会のメンバーは現在 4 名（+ 監事の方が 1 名）で、うち 2 名は定年を迎えておられ、1～2 年の内には退任となってしまう状況です。新しいメンバーの加入が必至です。

2019 年度は、少なくとも 1 名・できれば 2 名の新規加入を目指す事になりました。まず、現総代の方をお誘いする予定ですが、厳しい状況です。

身近な方で参加いただけそうな方がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

取扱項目	案件	起案者
報告事項 2	留学生委員会報告	室田
要旨	2019 年度版パンフレット編集作業大詰めです	

<定例組織委員会 1/21,28、2/4>

2019 年度留学生パンフレット編集作業進行中

毎回出席者の顔ぶれが異なり全員が揃うのが難しいほど委員たちが忙しい時期ですが、出席者からはアイデア発言や修正の指摘が飛び交い、翻訳や修正箇所には出席できなかった委員からメールで報告が届いたり電話で調整をするなど活発な編集作業が進んでいます。

昨年の北海道胆振東部地震体験から新たに日常の防災対策に活かしてもらえるページも工夫しています。

1 月 8 日（火）に入稿し、まもなく最終校正ですが、生協の営業に関わるページや学生総合共済、新しい保険など委員会では難しい色々な内容変更があって翻訳やページの順番を変えたりレイアウト変更や写真の差し替えなど毎回編集会議の時間は遅くなります。また、一度修正した部分も校正の都度チェックして再度変更が必要になったり、工夫してみんなで日本語の意味を勉強して理解するように頑張っています。

突然の災害時に少しでも各国の留学生の力になれることを考えて、パニックのその時すぐ開いてチェックできるように裏表紙の内側に「もしもの時に対する防災の備え」のページを編集しました。道庁が発信している防災の内容を 17 か国語に多言語翻訳して発信している団体のサイトを紹介させていただけることになりました。

例年より 3 週間ほど早い 3 月 1 日に納品される予定です。ご期待ください。



以上

取扱項目	案件	起案者
報告事項 2	環境課題推進委員会 報告	高橋

1) 2018 年度第 6 回環境課題推進委員会開催報告

日時 ; 2019 年 1 月 17 日 (木) 18:15 ~ 20:00

場所 ; 生協会館 3 階商談室

出席者 ; 高橋、福山、葛山、伊藤、春名、竹淵、原田、石垣 (以上学生)、羽山 (教員)

〈オブザーバー〉池上 (教員 北大 SCM 本部) 堀川 (生協職員 工学部店長)

〈事務局〉軸丸、大内

議題 ; 1. この間の取組み報告

2. 生協のレジ袋有料化について

~ 深刻化するプラごみ問題と私たちができること

3. 生協環境マネジメント関連報告 他

議事内容 ; 議事録案 別紙参照

2) SCM 本部から 東京大学学生環境団体 (東大サステイナブルキャンパスプロジェクト略称 TSCP 学生委員会) との意見交換会参加

日時 ; 2 月 28 日 (木) or 3 月 1 日 (金) 予定

時間・場所等 詳細は SCM 本部より近日中に案内予定

内容 ; これまでの取り組みや SDG s について、北大公認の学生環境団体 SCSD と意見交換を予定しており、そこにメンバーとして加わる予定。

3) 深刻化するプラごみ問題の解決にむけ焦点となっているレジ袋の有料化について ~ 理事会からの委嘱を受けて

別紙 参照

4) 環境マネジメント報告

(1) 当面する施設保全工事について

(2) 2018 年度冬季節電 (→数値目標のない無理のない節電要請) の取り組みについて

~ 2018 年 12 月期電気消費量及びガス消費量実績

上記 2 項 別紙 <環境マネジメント報告> 参照

以上

2018 年度 6 回環境課題推進委員会議事録（案）

日時：2019 年 1 月 17 日（木）18:15～20:05

場所：北大生協会館店 3 階 商談室

出席者：高橋、福山、葛山、伊藤、春名、竹渕、原田、石垣（以上学生）、羽山（教員）

オブザーバー：池上（教員 北大 SCM 本部）、

生協職員：工学部店店長 堀川 事務局：軸丸、大内

出席者合計 13 名

欠席者：植松、越智（学生オブザーバー）

進行と議題： 下記参照

議題：

1. この間のタスク取り組み報告について

1) 各タスクフォースの取り組み

(1) フードロス調査タスク

- ・ 全国大学生協連学生事務局・中山さんから SDGs の取り組みに関連して、環境課題推進委員会のフードロス調査タスクの取り組み照会があり、CAS-Net JAPAN 2018 年次大会で発表したスライドデータを提供した旨、事務局より報告があった。

(2) 北大に類似した他大学福利厚生施設比較タスク

- ・ 「Campus Life57 号」に東大本郷キャンパスにある中央食堂改装記事が掲載されていることが事務局から紹介された。

2) その他 分野報告

〈事務局より報告〉

- ・ 札幌市エコトーク映画会（2 月 10 日・日曜日）の案内
- ・ 全国大学生協連合会で実施している学生生活実態調査が終了し、その中に SDGs に関する項目があることが紹介された。

2. 生協のレジ袋有料化について

～ 深刻化するプラごみ問題と私たちができること

1) 本委員会での討論状況

(1) 討論テーマの提示 〈高橋委員長から〉

- ・ 本年 2 月に開催される理事会に向けて何らかのかたちで答申をしたいということが表明された。その答申案に盛り込むコンテンツ（項目だけでも）を本会議に提示、委員からそれに対してご意見をいただいてドラフトを起草、2 月に開催する委員会に提案したいということが表明された。

(2) 事務局と店舗サイドからの説明

〈事務局より〉

- ・ 前回委員会の討論の振り返りと 2017 年度店舗別種別毎のレジ袋の仕入実績、室蘭工業大学生協が昨年 11 月からスタートさせたレジ袋有料化の状況や試行版で実施した院生・学生委員・教職員総代会議のアンケート結果について報告がされた。

〈工学部店堀川店長から〉

- ・ レジ精算に関する店舗対応について説明があった。
… 基本的には商品にシールを貼っている。購入商品が多い場合は声かけ（「レジ袋お使いですか？」）を行っている。工学部は店舗と研究室が同じ建物のためレジ袋に入れない方が多い。
- (3) 委員会で出された主な意見・質問
 - ・ 店舗立地条件によってレジ袋利用に差が出ている、どうやって削減していくかが課題である。
レジ袋辞退率高い・・・医学部、歯学部、工学部（歯はラウンジスペースで飲食が多い）
レジ袋辞退率低い・・・中央店、会館店、北部店、獣医店
 - ・ レジ袋削減の阻害要因となっている店舗の対応について、辞退カードの作成や声かけなど改善を望む。特に会館店や中央店の改善を望む。
 - ・ 院生委員に執ったアンケート（12人）では、複数人が「絶対に有料化しないほうが良い」という回答があったが、その理由がわからない。
 - ・ コップパン（中央店1階）は何らかの包装資材が必要ではないか
 - ・ レジ袋の有料化は一律としたほうがよい
 - ・ 1円でも有料とすることが重要
 - ・ 現時点ではレジ袋を全面廃止するわけではなく、有料でも必要かどうか利用者に選んでくれという話ではないか。
 - ・ セイコーマートと歩調を合わせることは可能か？
 - ・ セイコーマートは、学外店との関係のあり実施が難しいはず。まずは北大生協が先行実施することが大事である。
 - ・ セイコーマートの役員の中に北大OBもいることから、環境問題に関心や理解があるのではないか。
 - ・ レジ袋を有料化したからといって、生協の利用が減ることはないと思う。

2) 委員会で合意または保留となった事項

- (1) 削減目標数値と達成目標年
 - ・ 第1段階ではレジ袋辞退率90%（目標数値は1年目経過後に定めてみてはという意見あり）、最終的に千葉大学が到達している99.5%にもっていけるかどうか。
- (2) 対象となる袋と店舗
 - ・ 全てのレジ袋（お弁当用ポリ袋や店舗ではコップパン店も含む）
- (3) 設定する価格
 - ・ 料金は一律5円（大・中・小、またレジ袋・ポリ袋など区別しない）
⇒ 有料化後のレジ袋の使用状況のモニタリングについては、レジ袋読み取り（JANコード）が可能になり、辞退率が簡単に調べられる。
- (4) 実施開始時期と広報について
 - ・ 事務局から開始時期を生協総代会終了後の6月から実施してはどうかとの意見もあったが、新入生に浸透出来る新年度4月から実施開始が望ましいという意見が大勢を占めた。
 - ・ 堀川店長からも「店舗対応は難しくない」という発言があった。
 - ・ 実施1ヶ月以上前からポスターなどでPRするべき。なお、ポスターは外国人観光客向けも準備したほうがよい（中国語・韓国語など含めて）。
 - ・ 原資があれば今後ポスターデザインコンテストも考えられるが、現状は内部作成となる。
- (5) マイ（エコ）バックの普及または作成について
 - ・ 広報媒体として作るのなら別だが、そもそも必要ないのでは？
 - ・ 新入生加入時に渡すのはどうか（有料化後、収益を原資として使えないか）。
 - ・ レジ袋を作成した場合は、強力にPRしたほうがよい。
- (6) レジ袋辞退を促進する方法として 辞退者への特典付与は？
 - ・ 三重大学では、学内電子マネーにポイント付与（原資は大学）

- (7) 大学への役割提案に関連して 北大の取り組み状況と今後について
- ・ 北大ではごみ分別とごみ総量を減らすことを掲げているが、プラスチックごみのワーキングはない。この取り組みで削減成果を出すと同時に、レジ袋以外も視野において、大学や生協のプラごみ問題の位置づけを関連づけていくことが必要か。なお、ごみの排出削減実績値は、北大の環境報告書に毎年掲載しており、成果ができれば大学全体で当たり前になっていく。
 - ・ 4月以降に環境負荷低減やレジ袋、プラスチックごみ削減をアピールしていくうえで、サステイナナブル本部を窓口として、「レジ袋削減達成値報告を義務化」することは可能か。
- (8) 収益削減によって得られた収益の配分・活用方法
- ・ 有料化で得た収益の一部は、生協店舗の環境対策（ごみ箱規格統一など）に充てる
 - ・ 上記と関連して、大学と生協の共用部分のごみ箱設置方法について
～ 本州の大学では大学と生協は同じ分別基準で分別化が取り組まれており、北大も全学的な資金がない状況とはいえ、今後は大学と生協の共用スペースについては、ごみ分別基準を統一していくべきだ。
 - ・ 観光客から徴収したレジ袋の収益については、大学に寄付してはどうか。
- ※ レジ袋削減のための推進体制については検討課題

3. 生協環境マネジメント関連報告

- ・ 事務局より会議資料 17～18 ページを参照、確認していただくことで了承していただいた。これについて羽山先生から、下記の件についてご助言いただいた。
- ① 中央食堂強制排水ポンプ不良と更新について
- ～ 3年で故障してしまうポンプは業務上使用してはいけないものである。排水受入容量が不足しているとしたら、流さないことを考える。油は流してはだめ。・・・早急な対応が必要である
- ② 医学部食堂ホール天井水漏れ防止工事について
- ～ 天井雨漏りの原因究明にあたっては、上下水道管なのか、屋上配管なのか、食堂の水蒸気結露なのか原因を切り分け、原因をはっきりさせる必要がある。

※ 次回（第7回）委員会開催スケジュール確認

2019年2月18日（月）を予定。 会場は未定

以上

環境マネジメント分野報告

1. 当面する施設保全工事について

- 1) 中央食堂強制排水ポンプ交換工事
 - ・ 日時 2月17日(日) 8:30~終日工事
 - ・ 施工業者 協和煖房工業株式会社
 - ・ 食堂閉店
 - 2) 中央食堂煙突改修工事について
 - ・ ガス配管工事 ~ 2月13日~15日 通常営業
 - ・ 現使用煙突切り離し工事 ~ 3月2日(土)~3日(日)
 - ・ 施工業者 アイグステック株式会社
給湯ボイラーが使用できないため食堂・購買店共に閉店
 - 3) 北部食堂食器洗浄室空調工事
 - ・ 洗浄室のエアコン更新工事(2017年度労働安全衛生改善要求事項)
 - ・ 日時 2月28日(木)~3月1日(金)
 - ・ 施工業者 株式会社空調工房
- ※ 北海道胆振東部地震によって異常発生した北部食堂厨房内防火シャッター修繕工事
- ・ 3月1日(金) 実施予定 8:00~10:00(営業時間の変更あり)

2. 2018年度冬季節電の取り組みについて ~ 数値目標のない無理のない節電要請を受けて

《2018年12月期電気消費量及びガス消費量実績》

- 1) 電気使用量実績状況
 - ~ クラーク店に検針ミスにより記録上は約6,000kwhオーバー
 - < 表 北大(札幌キャンパス)請求分2018年度12月期電気使用量実績 参照 >
 - ・ 12月期は、昨年同月使用実績差異量で5,819kwh、昨年同月対比で6.3%オーバーとなったが、これはクラーク店で約6,000kwhの過大請求があったことによる。この分を除外すると実質昨年実績並みとなった。ただ、北部店で電気使用量が2,260kwh 10.2%と大きく伸長しており、要マークしなければならない。また、北大が定めている“アクションプラン2016”で定める年率1.5%削減目標値をもとに算出された目標値81,910kwhからは、大きく乖離した実績となっている。
- 2) ガス使用量実績状況
 - ~ 全体的に使用量が昨年比較で減少
 - < 表 北大借用施設店舗 2018年度12月期ガス使用量実績 参照 >
 - ・ 北大生協のほぼ50%を占める北部店で▲1,071m³ ▲7.6%、他各店軒並み昨年比較で減少しており、昨年同月使用実績差異量で▲2,047m³ 対比で7.1%となった。12月期は、平日営業1日減が大きく影響したか?

北大(札幌キャンパス)請求分2018年度12月期冬季電気使用量実績

電気使用量単位: kwh

2018年度12月期								
	2017年 12月期実績 値	2018年 12月期実績値	前年 同月差異量	前年 同月増減率	2015年度 12月期実績値	アクションプラン 2016 目標値*1	アクションプラン 2016 目標値差異量	アクションプラン 2016 目標値増減率
北部S								
北部B								
北部D・S・B・T	22,163	24,423	2,260	10.2%	20,489	19,567	4,856	24.8%
北部S.T	22,163	24,423	2,260	10.2%	20,489	19,567	4,856	24.8%
ポプラ	5,648	5,507	-141	-2.5%	5,676	5,421	86	1.6%
獣医S	1,770	2,204	434	24.5%	2,132	2,036	168	8.2%
学生寮S	407	385	-22	-5.4%	440	420	-35	-8.4%
北方S.T	7,825	8,096	271	3.5%	8,248	7,877	219	2.8%
中央D・S	17,906	18,576	670	3.7%	16,930	16,168	2,408	14.9%
薬学S	2,169	1,983	-186	-8.6%	2,133	2,037	-54	-2.7%
保健S	1,889	1,966	77	4.1%	1,901	1,815	151	8.3%
歯学部S	1,609	1,943	334	20.8%				
中央S.T	23,573	24,468	895	3.8%	20,964	20,021	4,447	22.2%
工D・S	12,197	11,278	-919	-7.5%	13,541	12,932	-1,654	-12.8%
医学部D	7,455	7,024	-431	-5.8%	7,341	7,011	13	0.2%
工学S.T	19,652	18,302	-1,350	-6.9%	20,882	19,942	-1,640	-8.2%
農学D	3,957	3,108	-849	-21.5%	3,738	3,570	-462	-12.9%
エルムカフェ	1,040	1,222	182	17.5%	1,094	1,045	177	17.0%
クラークD他	10,299	16,458	6,159	59.8%	10,288	9,825	6,633	67.5%
情報SV ルームガイド								
南方S.T	15,296	20,788	5,492	35.9%	11,382	10,870	9,918	91.2%
その他自販機	3,711	1,962	-1,749	-47.1%	3,805	3,634	-1,672	-46.0%
総合計	92,220	98,039	5,819	6.3%	85,770	81,910	16,129	19.7%

*1 北海道大学の「アクションプラン2016」では、2015年度エネルギー消費実績値を年度毎に1.5%削減することになっており、2018年度は累計すると2015年度対比4.5%削減となる。それをベースに目標値とした。

- ① 12月期営業日数 : 平日営業日 19日(昨年差異-1day) 土曜営業日 4日(昨年差異+1day)
 ② 節電警報発令日数 : 日
 ③ 12月期気候条件(気温) : 日平均気温(-1.0℃<前年-2.0℃> 日平均最高気温1.4℃<前年0.8℃> 日平均最低気温-4.0℃<前年-5.0℃>)

- 前年対比10%減 or ▲1,000kwh以下削減店舗: 農学部店(▲21.5%) 自販機(▲1,749kwh ▲47.1%)
 □ 前年対比10%増 or +1,000kwh以上増加店舗: 北部店(+2,260kwh +10.2%) 獣医学部店(+24.5%) 歯学部店(+20.8%)
 エルムカフェ(+17.5%) クラークD他(+6,159kwh +59.8%)

2018年度12月期								
	2017年 12月期実績 値	2018年 12月期実績値	前年 同月差異量	前年 同月増減率	2015年度 12月期実績値	アクションプラン 2016 目標値*1	アクションプラン 2016 目標値差 異量	アクションプラン 2016 目標値増 減率
生協会館店	19,221	18,144	-1,077	-5.6%	16,426	15,687	2,457	15.7%

北大借用施設店舗

2018年度 12月期冬季ガス使用量実績

(単位: m³)

店舗	北大供給				北海道ガス供給			
	前年(2017年) 実績	2018年 実績	前年 同月差異量	前年 同月増減率	前年(2017年) 実績	2018年 実績	前年 同月差異量	前年 同月増減率
北部店	6,789	6,481	-308	-4.5%	7,244	6,481	-763	-10.5%
医学部店	1,551	1,412	-139	-9.0%				
工学部店					2,677	2,392	-285	-10.6%
中央店	1,162	1,205	43	3.7%	3,609	3,449	-160	-4.4%
クラーク店	2,803	2,687	-116	-4.1%	1,632	1,537	-95	-5.8%
農学部店					524	539	15	2.9%
ポプラ店					931	692	-239	-25.7%
合計	11,671	11,785	114	1.0%	15,905	15,090	-815	-5.1%

(大学ガス請求単価: 70.6911円)

<北ガス請求単価: 88.5942円>

(単位: m³)

店舗	北大+北ガス供給計			
	前年(2017年) 実績	2018年 実績	前年 同月差異量	前年 同月増減率
北部店	14,033	12,962	-1,071	-7.6%
医学部店	1,551	1,412	-139	-9.0%
工学部店	2,677	2,392	-285	-10.6%
中央店	4,771	4,654	-117	-2.5%
クラーク店	4,435	4,224	-211	-4.8%
農学部店	524	539	15	2.9%
ポプラ店	931	692	-239	-25.7%
合計	28,922	26,875	-2,047	-7.1%
生協会館店	3,486	3,251	-235	-6.7%

取扱項目	案件	起案者
報告事項3	事業活動報告	小助川

1. 文系等スモールショップの営業時間変更について
2. 中央購買の営業時間変更について
3. 工事に伴う中央食堂とクラーク食堂の臨時営業について
4. 春の電子マネーチャージキャンペーン
5. Adobe Creative Cloud の販売について
6. 4 月からのモコップ登録キャンペーン実施について
7. 食堂企画について

《2019 年度 文系棟スモールショップ 営業時間変更について》

1. 起案理由

2019 年 4 月 1 日（月）～閑散期（2・3・8・9 月）を除く期間、文系棟スモールショップの営業時間を以下の通り変更させていただきます。

この間の利用増加を背景に試験的な延長営業を行い、更なる利用増加、組合員サービスの向上が認められると判断いたしました。（別紙参照）。

現在、文系棟スモールショップは年間約+600 千円の経常黒字ですが、営業時間の延長により、更に年間+200 千円（T O.800 千円）の利益純増が見込めます。

2. 変更内容

2019 年 4 月 1 日（月）～閑散期（2・3・8・9 月）を除く期間

店舗名	平日	
	現行	変更後
文系棟スモールショップ	10：00-13：00	10：00-14：45

《2019 年度 中央購買 営業時間変更について》

1. 起案理由

2019 年 4 月 1 日（月）～中央購買の営業時間を以下の通り変更させていただきます。

この間の大幅な利用減少を背景に営業時間の短縮を行わなければ、必要利益の確保ができず、ひいては店舗経営が立ち行かなくなると判断いたしました。（別紙参照）

現在、中央購買は年間約▲7,500 千円の経常赤字ですが、営業時間の短縮により、+130 千円（T O.▲7,370 千円）のコストカットによる利益改善が見込めます。

2. 変更内容

2019 年 4 月 1 日（月）～

店舗名	平日	
	現行	変更後
中央購買	8：00-21：00	10：00-19：00

店舗名	土日祝	
	現行	変更後
中央購買（土曜）	9：00-19：30	10：00-15：00
中央購買（日祝）	9：00-16：00	10：00-15：00

【客数・供給減に伴う中央購買営業時間短縮の起案】

2018/11/15 文責:中央S/今野

＜主旨＞客数・供給前年比3割減の状況から、経営効率の見直しを図る。赤字体質を見直し、組合員へより良いサービス、利益還元を行うことを目的として2019年3月1日より営業時間を次の通り変更させていただきます。

<閑散期(旧)>	開店	閉店
平日	9:00	21:00
土日祝	9:00	19:30

変更後

<閑散期(新)>	開店	閉店
平日	10:00	19:00
土日祝	9:00	15:00

<繁忙期(旧)>	開店	閉店
平日	8:00	21:00
土日祝	9:00	19:30

変更後

<繁忙期(新)>	開店	閉店
平日	10:00	19:00
土日祝	9:00	15:00

今年度より、営業時間を変更せずフレンドリー2名削減(人件費年間2,000千円減)、棚や商品の削減のう店舗運営を行っているが赤字体質脱却には営業時間のスリム化が必須。

以下、根拠となるデータです。それぞれ閑散期、繁忙期で時間帯客数/30名を損益分岐点として計算。1)客数の表では(旧)が2017年、(新)が2018年、(差異)が昨今の差、(日平均)が一日あたりの平均客数です。グレー塗りつぶし部分を削った場合、黄色塗りつぶし(赤字)の客数減となりますが、2)損益に記載の通り人件費削減が利益減少を上回ります。一部逆パターンの場合も残業や光熱費、その他諸経費を含めると削減が望ましいと判断しました。2)損益の表では単月の供給高、店舗利益を24%として考えて、人件費削減分と利益減少分の差異を表しています(当初の試算では土曜日のみ～15時営業の短縮でしたが、日祝もこれと同様です)。人件費の算出方法等は計算式と合わせて詳しく記載がありますので、以下をご確認くださいませ。また、日祝を完全閉店とする場合の試算(最下段記載)も行いましたが、人件費削減分が供給剰余減少分を下回るため現実的ではございません。これらを参考に総合的にご判断をいただければと思います。なお、変更は繁忙期4/1(月)～予定のため、2月中にご判断のうえ指示をいただければと思います。

【8月 閑散期】

1)客数(※1時間あたり客数/30～人で人件費ペイ可)

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	合計
(旧)	842	941	1,497	2,828	2,157	1,345	930	879	726	765	623	169	13,702
(新)		941	1,497	2,828	2,157	1,345	930	879	726	765			12,068
差異	-842	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-623	-169	-1,634
日平均	37	41	65	123	94	58	40	38	32	33	27	7	596

★【現行】9時～21時営業 ⇒ 【変更後】10時～19時営業

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	合計
(旧)	56	62	75	178	175	98	84	67	74	58	19	946
(新)		62	75	178	175	98						588
差異	-56	0	0	0	0	0	-84	-67	-74	-58	-19	-358
日平均	19	21	25	59	58	33	28	22	25	19	6	315

★【現行】9時～19時半営業 ⇒ 【変更後】10時～15時営業

2)損益 (※削減時間分數値を客単価350円で算出)

※費用削減の+αとして、残業代や物件費(光熱費、消耗品など)で削減となる科目有

※現状、供給減少に合わせてフレンドリー2名減で運営しているので以下数値に日/10hの人件費削減が加わる

(8月単月)	【平日】	【土曜】
供給高	571,900	95,900
供給剰余(24%)	137,256	23,016
人件費(削減分)	163,702	25,677
供給剰余-削減分人件費	-26,446	-2,661

(単位:円)

※人件費(平日):

アルバイト(3.25h×@835円×2名×平日23日)+フレンドリー(2h×@845円×平日23日)=月/15,583円削減

【人件費コスト削減>供給剰余減少分】

※人件費(土曜):

アルバイト(5h×@835円×2名×土曜3日)=月/40,080円削減

アルバイト2名から3名体制へ変更により、5.75h×@835円×1名×土曜3日=月/14,403円増加

to.40,080円-14,403円=25,677円削減

【人件費コスト削減>供給剰余減少分】

【10月 繁忙期】

1)客数(※1時間あたり客数/30～人で人件費ペイ可)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	合計
(旧)	722	817	1,673	1,652	4,765	2,326	1,921	1,296	1,491	906	1,054	700	277	#####
(新)			1,673	1,652	4,765	2,326	1,921	1,296	1,491	906	1,054			#####
差異	-722	-817	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-700	-277	#####
日平均	33	37	76	75	217	106	87	59	68	41	48	32	13	891

★【現行】8時～21時営業 ⇒ 【変更後】10時～19時営業

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	合計
(旧)	85	101	124	250	217	192	197	142	117	112	40	1,577
(新)		101	124	250	217	192						884
差異	-85	0	0	0	0	0	-197	-142	-117	-112	-40	-693
日平均	21	25	31	63	54	48	49	36	29	28	10	394

★【現行】9時～19時半営業 ⇒ 【変更後】10時～16時営業

2)損益 (※削減時間分數値を客単価350円で算出)

※費用削減の+αとして、残業代や物件費(光熱費、消耗品など)で削減となる科目有

※現状、供給減少に合わせてフレンドリー2名減で運営しているので以下数値に日/10hの人件費削減が加わる

(10月単月)	【平日】	【土曜】
供給高	880,600	173,600
供給剰余(24%)	211,344	41,664
人件費(削減分)	211,695	40,080
削減分人件費-供給剰余	351	-1,584

(単位:円)

※人件費(平日):

アルバイト(4.75h×@835円×2名×平日22日)+フレンドリー(1h×@845円×平日22日)=月/211,695円削減

【人件費コスト削減>供給剰余減少分】

※人件費(土曜):

アルバイト(5h×@835円×2名×土曜4日)=月/40,080円削減

【人件費コスト削減<供給剰余減少分】・・・損益分岐点でゼロの運営

【閑散期11/二週目～3/末日祝閉店】

	10時	11時	12時	13時	14時	15時	合計
(旧)	595	988	1,598	1,495	1,263	796	6,735
(新)							
差異	-595	-988	-1,598	-1,495	-1,263	-796	-6,735
日平均	24	40	64	60	51	32	269

★【現行】10時～16時営業 ⇒ 【変更後】冬期間のみ日祝閉店

(4～7月 平日83日)	【変更前】	【変更後】	【差異】
供給高	2,147,526	0	-2,147,526
供給剰余(23%)	493,931	0	-493,931
人件費(削減分)	0	250,500	250,500
供給剰余-増加分人件費	0	-250,500	-250,500

(単位:円)

※人件費(日祝):

アルバイト(6h×@835円×2名×平日25日)÷4=

単月按分/62,625円減少

【供給剰余減少分>人件費コスト削減】

2019 年 2 月 4 日

北海道大学
学務部学生支援課 御中

北海道大学生生活協同組合
理事長 柿澤 宏昭（印略）

中央食堂工事に伴う休業、 クラーク会館延長、臨時営業について

厳冬の候、貴学におかれましては益々ご発展のこととお慶び申し上げます。

平素より当生協の運営にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、中央食堂の排水ポンプ交換工事、煙突改修工事の施工に伴い、中央食堂 1 階休業、クラーク食堂延長、臨時営業を下記のとおりさせていただきます。

ご検討をよろしくお願い致します。

決定された営業内容について、利用者への周知は当生協から行います。

記

1. 中央食堂休業日

2 月 17 日(日)	排水ポンプ交換工事のため
3 月 2 日(土)	煙突改修工事のため
3 月 3 日(日)	煙突改修工事のため

2. クラーク食堂延長、臨時営業日

2 月 17 日(日)	11 時～14 時	臨時営業	中央食堂休業による代替営業
3 月 2 日(土)	14 時～19 時	延長営業	中央食堂休業による延長営業
3 月 3 日(日)	11 時～14 時	臨時営業	中央食堂休業による代替営業

以上

この件の問い合わせ先： 出野（内線 5264）

2019 年春のチャージキャンペーン（在校生向け）起案書

2018 年 1 月
理事会室 太田

◆目的

- ①生協電子マネーチャージを促進し、電子マネー利用率をアップさせる
- ②生協電子マネーでの利用囲い込みを狙う
- ③生協電子マネーチャージによって生協の利用促進に繋げる

◆昨年実績

在校生振込額（万円）	振込件数	在校生振込 目標額	振込件数 目標
8,820	2,512	9,000	2,000
店頭チャージ額（万円）	店頭件数	店頭チャージ 目標額	店頭件数 目標
21,494	-	23,000	-

◆振込チャージ目標

金額：10,080 万円

件数：2,880 名

>>今年は昨年と比べて発送数が約 1,200 件増えている（5 年の総合文系・理系、2020 年卒業予定者にも発送）
昨年は全発送分（8,377 件）のうち 30%（2,512 件）が振込しているので、今年度も全発送分（9,600 件）のうち 30%の振込み（2,880 件）があると見込む。金額に関しては、昨年の平均チャージ金額が 35,000 円ということから、 $35,000 \text{ 円} \times 2,880 \text{ 件} = 10,080 \text{ 万円}$ と設定した。

◆店頭チャージ目標

金額：23,000 万円

件数：昨年実績がないため設定なし（2018 夏のキャンペーンから件数実績も集計開始）

>>金額は、昨年度の伸長率に合わせて 7%伸長とした。件数は、過去実績が残っておらず比較対象がないので設定なし。ただし 2018 夏のキャンペーンから件数実績も集計しているので、夏からは件数目標も設定予定。

◆今年度のキャンペーン内容

<振込チャージ> 新 2～6 年生 + 院生に親元 DM 送付

- ・3/1（金）～店頭と Web での告知開始郵便局の振込用紙を同封し、振込みにて受付
- ・3/5（火）発送完了、3/29（金）振込締め切り

<店頭チャージ>

- ・期間 3/25（月）～4/26（金）
- ・購買・書籍・食堂全店レジにて（教科書特設は除く）
- ・**2,000 円以上チャージで 5%プレミア付与**（水産店は 10%）

◆チャージ推奨金額

>>5 万円

- ・前期教科書・教材代 20,000 円と、7 月までの食事代 30,000 円の合計（昨年と同様）
- ・店頭チャージについては推奨金額は設定しない

◆費用（概算）

封入作業費 8 万円＋発送費用 78 万円＋その他印刷代別途

◆チャージオペレーション

<振込>

- ・POS レジオンラインチャージ（振込みから約 1 週間後）
- プレミア分は自動仕訳で広報費計上【総務 42 店】

<店頭チャージ>

- ・店舗にて POS レジ割り込みチャージ（2,000 円以上のチャージが対象、釣銭チャージ×）
- >>チャージミスの
- プレミア分は広報費計上【総務 42 店】

◆2019 春プレミアの取り組みに向けて

生協の利用を伸ばすためには、今までと同じ事をやるだけでは意味がない。

- ・広報で行う情宣の仕方
- ・店舗への電子マネーチャージ促進活動の提案
- ・保護者の振込チャージを促進できるような DM の資料作り

上記 3 点に関して、こちらから新しい働きかけを行うべき。

2,000 円以上のチャージがプレミア対象となって初の春のプレミアキャンペーンなので、それを大きな売りにして情宣を行うのもひとつの手段。プラス、夏までの大学生活に必要な金額をお得にチャージできるチャンスであることとセットで、保護者と学生に訴えていく。

各部局等の長 殿

情報環境推進本部
情報化推進室長 高 井 昌 彰

Adobe Creative Cloud の学生への提供（有料）について（通知）

本学では Microsoft 社、Adobe 社の両社とソフトウェア包括契約を行い、教職員及び学生が大学管理の PC でソフトが利用できる環境を提供しております。特に Microsoft 社の Office Pro Plus については学生個人所有の PC でも利用できる契約となっております。

学生から「Adobe のソフトも学生個人所有の PC で利用したい。」との要望を受け、Adobe 社と交渉した結果、学生個人所有の PC で利用できるサブスクリプションライセンス※を特別価格で提供していただきました。

つきましては、平成 31 年 2 月 1 日より本学がソフトを提供し、生協が料金の収納代行を行う形で学生向けに Adobe Creative Cloud を頒布します。詳細は下記のとおりです。各部局等においては別紙を掲示する等により学生に周知くださるようお願いします。

記

- 1. 頒布条件** 本学の学生であること（学生証の提示が必要）。本学学生の身分を喪失した時点で利用権は消失します。残余の利用期間があっても返金はしません。
生協サービスカウンターで USB から PC へのソフトウェアのインストール作業が発生しますので PC をサービスカウンターまで持参ください。
- 2. 頒布場所** 生協北部店 2F 購買サービスカウンターにおいて取り扱っております。
- 3. 頒布価格及び頒布数**

利用権の有効期間	Adobe CC コンプリート プランの提供価格		頒布数
	Adobe Web	本 学	
2019 年 2 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日	2,980 円/月 (税別)	2,000 円/年 (税込)	500 ライセンス
2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	2,980 円/月 (税別)	5,000 円/年 (税込)	1,000 ライセンス

※ サブスクリプションライセンス：ソフトウェアの利用形態のひとつ。ソフトウェアを買い取るのではなく、ソフトを借りて、利用した期間に応じて料金を支払う方式。

問い合わせ先

情報環境推進本部担当

E-Mail jsys@oicte.hokudai.ac.jp

(ソフトの頒布に関することは生協北部店 2F 購買サービスカウンター

☎ 011-747-2181)

学生 各位

情報環境推進本部

Adobe Creative Cloudの学生への提供（有料）について（通知）

情報環境推進本部では、学生からの「大学管理のPCだけでなく、学生個人のPCでもAdobe Creative Cloud を利用したい。」との要望に応えるため、Adobe社と交渉した結果、無料ではありませんが特別価格でサブスクリプションのライセンスの提供を受けることができました。Adobe Creative Cloud コンプリートプランを利用する場合、通常価格は月額2,980円(税別)ですが、2019年3月31日まで利用できる権利を2,000円(税込)で提供いたします。提供数は500ライセンスとなります。2019年4月に1年間利用できるライセンスを年額5,000円(税込)で提供する予定です。提供ライセンス数は1,000ライセンスです。ついては、2019年2月1日より本学がソフトを提供し、生協が料金の収納代行を行う形で学生向けAdobe Creative Cloudを頒布します。

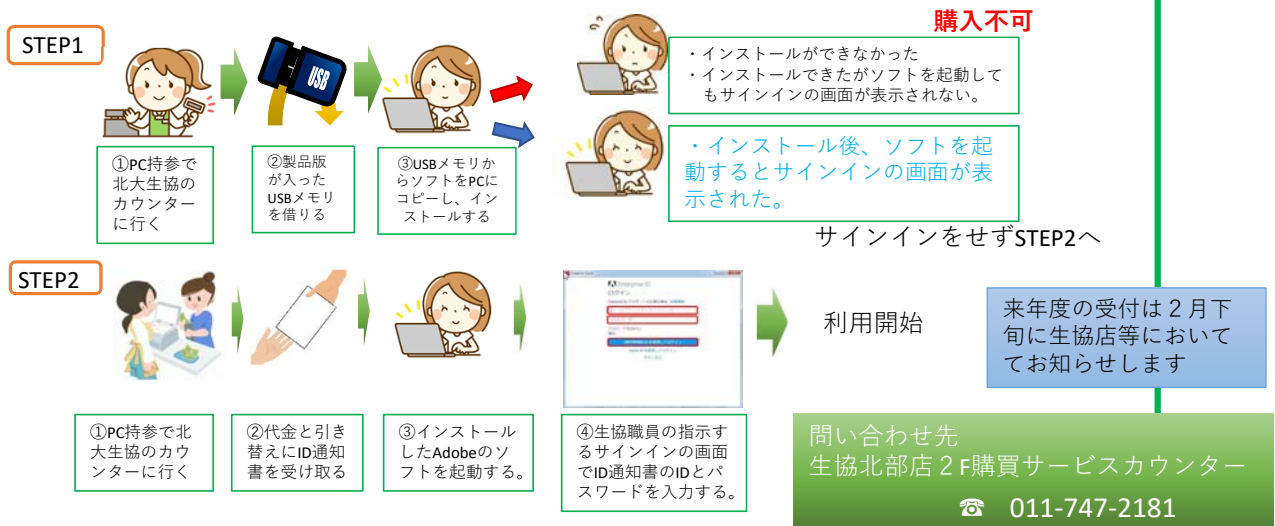
購入を検討する前にお持ちのPCで利用可能か確認願います。

- ① Windows OS及びMacOSとも64-bit 対応製品のみ提供、OSが32-bitの場合利用できません。
- ② コンプリートプラン版を提供し、単品製品毎での提供は行いません。提供するインストールファイルの中から必要な製品を選択してインストールしてください。すべての製品をインストールする場合、ハードディスクの空き容量は100GB以上必要です。
- ③ 対応OS及び必要システム構成は下記のURLを参照願います。製品毎に必要とされるスペックに差がありますので注意願います。また、必要システム構成とストレスなく動作するスペックは異なります。購入後に動作が遅いというようなクレームには対応いたしかねます。

・ アドビ製品対応OS <https://helpx.adobe.com/jp/x-productkb/global/cq12070653.html>
 ・ アドビ製品の必要システム構成リンク一覧 <https://helpx.adobe.com/jp/x-productkb/global/8392.html>

～利用申し込みから利用まで～

1. 頒布条件 本学の学生であること(学生証の提示が必要)。本学学生の身分を喪失した時点で利用権は消失します。残余の利用期間があっても返金はしません。生協サービスカウンターでUSBからPCへのソフトウェアのインストール作業が発生しますのでPCをサービスカウンターまで持参ください。
2. 頒布場所 生協北部店2F購買サービスカウンターにおいて取り扱っております。



起案年月日	機関／会議名	議案の取扱	提案部署
2019 年 1 月 28 日	地区運営協議会	報告事項	事業推進部 高畠
2019 年 2 月 8 日	地区協議会	報告事項	
2019 年 2 月 14 日	購買店長会議	報告事項	
2019 年 2 月 15 日	小規模会議	報告事項	
2019 年モコップ登録キャンペーンについて			

モコップは、顧客囲い込み戦略の重要なツールです。しかしアクティブユーザーは 2019 年 1 月現在 3000 人程度で学生組合員の 1 割にも足りておらず、なかなか市民権を得るところまではいっていないのが実情です。現状組合員が利用することのメリットを感じていないということなどが考えられますが、まずは入学のタイミングで新入生にモコップを登録してもらう取り組みが欠かせません。その上で商品企画などとも連動させた魅力的なキャンペーンを実施していくことが求められます。

【1】登録キャンペーンを計画します。

■モコップ新学期登録キャンペーン

キャンペーン内容	初回ログイン時 500 アプリポイント 進呈
期間	4 月 1 日（月）～5 月 31 日（金）
登録目標	2500 名（前年 1388 名）
費用	125 万（会員広報費）

■モコップ〇〇登録キャンペーン

キャンペーン内容	初回ログイン時 500 アプリポイント 進呈
期間	10 月 1 日（火）～11 月 30 日（土）
登録目標	500 名（前年 488 名/1000 アプリポイント）
費用	25 万（会員広報費）

【2】年間登録者目標

40%増 3800 人を目標とします

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	年間合計
2019	50	2000	500	200	100	50	50	250	250	250	50	50	3,800
2018	57	1123	265	150	51	38	66	197	291	381	36	66	2,721

【3】費用について

- ・ 4・5 月「モコップ新学期登録キャンペーン」のみ初回ログイン時 500 アプリポイント進呈
2500 名×500 アプリポイント＝125 万円…①
- ・ 10・11 月「モコップ〇〇登録キャンペーン」のみ初回ログイン時 500 アプリポイント進呈
500 名×500 アプリポイント＝25 万円…②

・ **会員別費用シミュレーション（年間）**

前年の加入構成比で費用を按分すると

北大 990 人 49.5 万	北海 290 人 14.5 万	酪農 200 人 10 万
札学 70 人 3.5 万	北星 190 人 9.5 万円	教育大 320 人 16 万
札大 90 人 4.5 万	小樽 150 人 7.5 万	室工 190 人 9.5 万円
帯畜 60 人 3 万	北見 250 人 12.5 万	釧公 90 人 4.5 万
未来 110 人 5.5 万円	合計 3000 人 150 万	

ただし、

・ **通年で行っているモコップの「初回ログイン時 100 アプリポイント進呈」を中止する。**

2018 実績 2700 名×100 アプリポイント=27 万円…③

・ **通年で行っているマイページの「初回ログイン時 50 アプリポイント進呈」を中止する。**

2018 実績 3000 名×50 アプリポイント=15 万円…④

したがって実質費用の増加は、 $(①+②) - (③+④) = 108$ 万（7 割程度）となります。

さらにポイントは会員内で消化されるので原価率 70%（食堂 50～購買 80）とすると、実質持ち出しは上記金額の 5 割程度となります。

【4】 その他

登録者へ年間を通して魅力的なアプリイベントを提供します。

アプリ誕生祭

新学期応援キャンペーン

アプリ利用者アンケート

6 月祭

試験応援企画

後期開始企画

読書応援企画

食堂利用促進企画

12 月祭

など

アプリイベントにかかる費用は、連合経費（トクレポ→ペーパーモコップ費用の節約などで捻出する）とします。

以上

あなたの家で生まれた

クリーム
シチュー

302 円



家系ラーメン

中 470 円

大 524 円



メニューがここに全部……

食堂メニュー。をプロデュース -3rd season-

第1弾出食期間

1月21日(月)～1月25日(金)

実施場所 各食堂(レストランポプラは除く)

第2弾もどうぞ期待ください

presented by 北大生協学生組織委員会(GI) × 食堂部

試験応援フェア

1/28(月)～1/30(水)



試験に勝つカレー

人気メニューの
【チーズカレー】と
【カツカレー】がひとつに
なったスペシャルメニュー♪

中 410 円 (税込)

小 350 円 (税込) 大 480 円 (税込)

※画像はイメージです。

生寿司

職人がその場で
握ります！



税込 **600**円

11:00～13:30

1日150食限定

※なくなり次第終了します

● 北部食堂…1月22日(火)

● クラーク食堂…1月23日(水)

● 工学部食堂…1月28日(月)

● 中央食堂…1月29日(火)

取扱項目	案件	起案者
報告事項 3	青年誌の取り扱いに関する問い合わせへの対応報告	

お久しぶりです。人材育成本部女性研究者支援室の長堀です。さて、本学外国人教員（複数名）より、生協で売っている雑誌（男性向け漫画雑誌、表紙に水着の女性が大きく載っているもの）に対する意見が届いています。どこにお伝えすべきかわからなかったで、個人メッセージでお送りします。女性研究者支援室内でも共有されている内容ですので、同僚が組合員の声的なものに投稿するかも知れません。

以下、外国人教員から届いたメール内容をコピペします。

> -----weblilio 訳-----

HU の親愛なる女性学部職員、

私が考えて、この話題について何をすべきかについて、提案を求めることをあなたと共有したいです。

今日、私は kita 本屋（kita shokudo の 2F）で、本を買っていました。カウンターの前で彼らがビキニ（取付けられた絵を見ます）で女の子の雑誌を売っているのと同じくらい正当で、私は全くショックを受けました。

これは私がそれと私が要求するのを見た最初ではありません、しかし、変化は起こりませんでした。

私はそれが私企業であると思います、しかし、我々は大学（知識と教育の制度）の中にいます。

教育センターの中でそれらの種類の雑誌または本を売ることが新世代のために女性と女性の役割の良いイメージを与えていると、私は思いません。どのように、この固定観念が教育機関内で見つかるならば、彼らが科学者でありえると、我々は女の子に信じさせることができますか？

また、どんな種類の不十分なイメージでも、我々の大学で避けられなければなりません（本屋、conbini 店 ...）

我々がこれを変えるために何かしなければならないと思うので、私はあなたに電子メールを送ります、しかし、私は何をすべきか、そして、どのようにすべきかよくわかりません。

私はあなたのアドバイスを必要とします、そのうえ、一緒に行動するならば、多分、我々は若干の変化がわかることができるでしょう!!

敬具

> -----以下原文-----

Dear female faculty staff at HU,

I would like to share with you my thinking and asking for suggestions about what to do about this topic.

Today i was buying a book at the kita bookstore (2F of the kita shokudo). I was totally shocked as just in front of the counter, they are selling magazines of girls in bikini (see attached picture). This is not the first time I saw it and I claimed before, but no change has happened.

I understand it is a private company, but we are inside of a university, an institution of knowledge and education . I do not think that selling those type of magazines or books inside

of an education centre is giving a good image of the female and female roles for the new generations. How can we convince girls that they can be scientists if this stereotype is found within the educational institution?

Also, any type of inadequate image should be avoided at our university (bookstores, conbini store ...)

I email you because I think we should do something to change this, but I am not sure what to do and how to do.

I need your advice, and also if we act together, maybe we can see some changes!!

With warmest regards,

長堀 紀子

Noriko Nagahori, Ph.D.

Associate Professor

Front Office for Human Resource Education Development Support Office for Female
Researchers

北大女性研究支援室
長堀様

はじめまして北大生協書籍部の大矢と申します。
お詫びと今後の対応につきましてメールさせていただきました。

この度はご指摘ありがとうございました。

また、ご不快な思いをさせてしまったこと大変申し訳ございません。

いただきましたご意見につきましては、職員一同で共有いたします。

ただ、一方で組合員からの要望も多く、こういった漫画雑誌を置いているケースもございます。

今すぐに「すべて置かない（仕入れない）」という判断は難しい状況です。

ですので、直近での対応としましては「（不適切な）表紙を見せない」、

または「現物は店頭には置かず、購入を希望される方にはレジでお声掛けいただく」といった対応から始めさせていただければと思っております。

ご理解いただければ幸いです。

長堀様にはお手数おかけしますが、その旨お伝えいただければと思います。

またご意見等ございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

何卒よろしくお願いいたします。

北海道大学生協同組合
書籍部クランク店
大矢かおり

北大生協書籍部 大矢様

この度は迅速にご対応のメールをいただきありがとうございます。

いただきましたご意見につきましては、職員一同で共有いたします。

⇒利用者（と組合員）の声として受け止めていただければと思います。

ただ、一方で組合員からの要望も多く、こういった漫画雑誌を置いているケースもございます。

今すぐに「すべて置かない（仕入れない）」という判断は難しい状況です。

⇒はい、難しいであろうと思います。そのような表紙が堂々と流通する程度の社会であることが根本的な原因ですから。

とはいえ、組合員でもある一個人として申し上げますと、大学生協様には、大学の教育環境を構成する一部として、学生生活を支えるために目の前の課題を解決するソリューションを提供するだけにとどまらず、どのような人材に育って欲しいのか、学生達が出ていく社会がどうあるべきかという、ビジョンに向かっての事業を展開を期待していますし、実際そのように運営されているものと思います。

明らかに女性をリスペクトしていない（性的対象であるというメッセージを発する）写真が当たり前のように置かれている事態は、女子学生の教育環境として不適切ですし、性別に関わらず堂々と自己を表現し活躍できる社会を作ること、反するものです。それは、女性の自己肯定感・自己効力感を上げるのか下げるのか？下げる方向に寄与します。

また、これまで不満の声があまり届いていなかったとしたら、それは、社会的に我慢を強いられていた（個人が声をあげるコストが高かった（些細なことで目くじらを立てていると言われる、そんなこと言っているとモテないよ、とからかわれる等））からに過ぎません。表面的に「これまで不満がなかったのに、なぜ急に、、、」と思わずに、どうか、時の社会環境と個人の行動についての想像力を働かせてご解釈いただきたいと思います。

ですので、直近での対応としましては「（不適切な）表紙を見せない」、または「現物は店頭には置かず、購入を希望される方にはレジでお声掛けいただく」といった対応から始めさせていただければと思っております。

⇒現実的な解として妥当ではないかと思えます。

中長期的には、ビジョンからコンセプト設計、末端の店舗のデザインにいたるまで「差別的表現は無いか？」「特定のカテゴリーの人を貶めるメッセージを発していないか（たとえ意図せずとも）」ということに総合的に配慮いただけるといいなと思います。

長堀様にはお手数おかけしますが、その旨お伝えいただければと思います。

またご意見等ございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

⇒承知しました。

大矢様からのご回答を、関係する方々（すでに教員のネットワークで共有されているようですので、私に分かる範囲で）お伝えさせていただきます。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

長堀 紀子

経済学研究院・経済学部サステイナブルキャンパス推進員、および経済学研究院・経済学部評議員を務めております、安部由起子です。いつも大変お世話になっております。

さて、すでに今日の午後あたりからそちらへ連絡が届いているかと思いますが、学内の女性研究者から、北キャンパスの書店で、水着姿の女性の写真が表紙になっている雑誌が、会計カウンターの目の前に置かれているのは、教育機関の中にある書店として問題ではないか、との情報共有を受け取りました。私も同感です。が、おそらく北大生協でも一定の方針に基づいて雑誌の選定を行なっておられるものと拝察します。

そこで、大学生協が、どのような方針で書籍・雑誌の選定をしておられるのか、ご教示いただけますでしょうか？ 実際問題として具体的にどのような方針で、書店に置く雑誌を選定しておられるのでしょうか？

いうまでもありませんが、成人雑誌の扱いについては、最近、大手コンビニエンス・チェーンでもそれを変更した、ということが報道されております。以下、朝日新聞の記事を、日本語と英語の両方で、引用させていただきます（同じ頃の記事ですが、日本語と英語では、この変更の背景として書かれている内容がかなり異なっていますので、ご参考のため両方引用します。）

<http://www.asahi.com/ajw/articles/AJ201901240033.html>

<https://www.asahi.com/articles/ASM1Q5567M1QUCLV00Q.html>

お忙しいところ恐縮ですが、ご返信をいただければ幸いです。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

安部由起子

Yukiko Abe

Faculty of Economics and Business

Hokkaido University

Kita 9 Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-0809 JAPAN Phone 81-11-706-3860; Fax 81-11-706-

4947; Email: abey@econ.hokudai.ac.jp URL [http://www.econ.hokudai.](http://www.econ.hokudai.ac.jp/~abe/)

[ac.jp/~abe/](http://www.econ.hokudai.ac.jp/~abe/)

経済学部

安部由起子 様

はじめまして、北大生協書籍部の大矢と申します。

昨日、当生協理事会室の軸丸宛にいただきましたご意見、ご質問につきまして、私からお返事させていただきます。

ご質問いただきました「大学生協がどのような方針で書籍・雑誌の選定をしているのか」についてですが、北大生協書籍部としては、「勉強や研究に必要なもの」「個人の興味や知識、視野を広げるために必要だと思われるもの」など、大学生・大学院生をメインターゲットに、これから社会に出る若者たち、研究者の方々、北大生に必要なと思われる商品を各担当者が日々選別して仕入れを行っております。

また、「成人誌は置かない」ということ。

大手コンビニエンス・チェーンで規制を始めている「成人誌」は一切取り扱わない、としています。

いままでも扱ったことはございません。

ただ、今回ご指摘いただきました商品のように「成人誌ではないがそれに近い印象を与えるもの」につきましては、明確に取り扱いを注意するまたは規制する、といったことはしておりませんでした。

私どもは少年漫画誌、青年漫画誌などは、成人誌とは違うものであるという認識であったため、「近い印象を与えるもの」への注意が行き届いておりませんでした。大変申し訳ございませんでした。

この点につきまして職員一同、見方・考え方を改めてゆきたいと思っております。

近年、少年漫画誌や青年漫画誌、女性誌などでも過激な表現・内容のものが増えてきております。

どこまで注意を払って規制できるか、規制するべきか、現段階では明確にはお答えできません。

今後、部内および当生協の様々な機関会議などを通して、学生や教員のみならず皆様からご意見を伺い、書籍部として、どうあるべきかに等、考えてゆければと思っております。

この間頂戴しましたご意見・ご指摘は、職員一同真摯に受け止めておりますこと、ご理解いただければと思います。

またご意見やご質問がございましたらご連絡ください。

今後とも北大生協および書籍部をどうぞよろしくお願いいたします。

北海道大学生協生活協同組合

書籍部クラーク店

大矢かおり

【大学生協事業連合広域本部 次長からのメール】

射場の個人見解がだいぶ含まれますのでそれを前提に過去こうした事例では週刊文春に神戸児童殺傷事件の記事が出た時に、販売の是非が全国書籍事業委員会で論議したことがあります。

その時の記憶の限りですが、出版差し止め、回収といった法的な執行が決まった場合、出版元から販売中止、回収の依頼が来た場合を除いて基本的には、出版物の内容で販売をしないという判断は組合員の知る権利を侵害することになるので行わない。というものだったと思います。

但し私は批判的だったのですが、早稲田で「競馬雑誌」と授業ガイドの雑誌について、「大学でギャンブルの雑誌はいいかなものか」「授業に対して勝手な学生の評価や教員に対して誹謗中傷的な内容がある開度を生協で扱うべきではない」との教員理事の意見で販売をやめた雑誌があります。

レベルは様々でしょうが、優駿などは農学畜産の学生が参考で購入することもあるし、どのような出版物も研究対象にしている人が大学にはいらっしゃるの、次の事は堅持した方がいいと思います。

1) 大学生協は出版物の内容で取り扱いを判断することはしない。基本的人権を侵している内容であるとか、法的に差し止めが決まったものを除き、組合員からの要望があれば供給は行う、大学生協の活動は大学の研究や知る自由を担保しなくてはならない。

2) 但し今回の雑誌のように、眼にとまることで苦痛や、不快な感情を持たれる組合員の要望には誠実に対応しなくてはならないので、カウンター扱いにするなどの対応を考える。

3) 一派宇野意見だけで判断できないときは組合員の中での意見を広く集めて理事会で判断する。
といったことだと思います。

4) 逆の立場で、例えば特定の思想、宗教などの立場の組合員から品揃えを要望されることも起こり得るし、生協店舗には物理的な制約もありますので「基本的には流通しているすべての出版物についてお取り寄せ、客注は対応するが店頭の商品揃えはその大学生協の条件、需要、組合員の利用動向などから店舗を運営する生協が判断させていただく。」という立場が良いと思います。

連合北海道地区 担当者の意見

さっき大矢さんとも話した要旨はこんなところですが、正直大学生協がガイドラインを作るということは慎重にした方が良くと思います。

この取り決めをどの程度まで厳しくしているかにもよりますが、一度理事会で細かく、厳しく決めてしまうと逆の要望に応えられない、供給対策ができない状況になるなど不都合も生じるので、決める場合は慎重に決めたほうがよいと思われます。

今回は「表紙が見えない状態で陳列する」「レジカウンター内に置き、購入希望の方はお声掛けしていただく」ということで大矢 Mg、店舗と教員との間で問題なければ対応としてよいかと。

取扱項目	案件	起案者
協議事項 4	18 年度決算見通しと 19 年度予算について	岸本
要旨		

◆2018 年度の北大生協の最終見通しについて

北大生協の1月までの状況は、総供給高では38億2,385万円（予算差▲1億7,718万円）、供給剰余は9億2,555万円（予算差▲7,415万円）、人件費は7億6,803万円（予算差▲886万円）、物件費は5億583万円（予算差▲2,301万円）、経常剰余金は▲1,834万円（予算比▲3,337万円）で進行しています。

年間予測では、供給予算43億8,872万円に対し、見通し42億3,009万円と差異▲1億5,863万円の予測としています。そのうち大きなマイナス要因としては新生活用品事業の後退、セイコーマート進出に対する利用客数の後退の他、9月に発生した震災による営業機会ロスと食材等の廃棄含め▲1,600万円ほど事業構造へ影響を及ぼしています。

経常剰余の最終月の2月の見通しでは、人件費の計画よりマイナスがありますが、上期予算で予算計上間違いのあったキャリア店（公務員講座予算）では会場使用料の削減などにつとめ改善を進めた他、ルームガイドの満室奨励金での予算超過+200万円、事業連合委託費の減額措置として▲973万円など含め、1月末段階で経常剰余予算に対し▲3,483万円まで回復してはいます。

2月実績を予算（▲1,250万円）の静態実績とし、今後見込まれる収益（予算外）ではミールカード利用の供給値引予測差異分+300万円程節約予測、退職引当金及び、睡眠処理を計画通り処理計画通り、組合員外のICチャージ預かり残高+400万円予測を雑収入処理、買掛異算の処理+100万円、当年度設備投資予算外分の処理▲200万円などを入れ込み、2月経営剰余予算比およそ+700万円まで改善を見込んでおり、最終的には税引前当期剰余段階で▲2,300～2,400万円まで改善の見通しですが単年度赤字で年度を終える見通しです。

北大生協の構造的な問題は、広大なキャンパスでの大学構成員への福利厚生サービスを担うための多店舗展開や、大学要望に応じてきた長時間営業による効率の悪さ、それに伴う人員の配置・人件費負担の重さです。各種委員会や生協運動を支える本部の運営コストも全国的に見ても重くなっています。大学事業の拡大による自販機入札の収入減や校費での剰余が薄くなっていく中で、抜本的な対策が必要となっています。

◆2019 年度の予算について

北大生協 2019 年度テーマ

『過去にとらわれず、変化を恐れず、新たな取組みにチャレンジしよう！』

2018年度は大学の増収に対する生協事業の影響の他、北海道胆振東部地震の影響を受けとても規模しい年度を迎えました。

					20190207
北大生協計	科目CD	年合計			
		17実績	18予算	18見通し	予算差異
供給高	811	4,366,577	4,388,723	4,230,092	-158,631
値入高		1,078,067	1,100,967	1,033,675	-67,292
供給値引高	815	35,812	38,522	35,690	-2,832
誤差高=ロス(▲表示)		-2,424	-500	-250	250
供給剰余金	991	1,039,831	1,061,945	997,735	-64,210
GPR		23.8%	24.2%	23.6%	-0.61%
利用剰余金	830	69	0	36	36
共済受託手数料収入	822	18,159	18,377	18,385	8
供給事業手数料収入	824	36,717	32,610	32,742	132
不動産賃貸収入	825	91,063	116,108	118,960	2,852
その他手数料収入	826	179,566	186,788	192,795	6,007
事業総剰余金	992	1,365,405	1,415,828	1,360,653	-55,175
人件費合計	730	830,788	845,262	840,214	-5,048
物件費合計	750	552,031	577,169	566,516	-10,653
(内・連合委託費)	753	98,771	97,593	97,593	0
事業経費合計	760	1,382,819	1,422,431	1,406,730	-15,701
事業剰余金	993	-17,414	-6,603	-46,077	-39,474
受取利息	861	0	0	1	1
受取配当金	862	525	525	525	0
雑収入	863	19,260	9,565	13,680	4,115
事業外収益	870	19,785	10,090	14,206	4,116
支払利息	761	139	217	178	-39
雑損失	762	851	1,070	589	-481
事業外費用	770	990	1,287	767	-520
経常剰余金	994	1,381	2,200	-32,638	-34,838
特別損益		0	0	0	0
税引前当期剰余金	995	1,381	2,200	-32,638	-34,838
法人税等	781	700	1,000	1,000	0
当期剰余金	996	681	1,200	-33,638	-34,838

さまざまな社会情勢や大学の変化に伴い、この間、旅行事業の縮小、自動販売機等の事業収入が大学収益となり組合員還元に貢献できなくなり億単位での供給を失っています。また道内最低賃金の関係から非正規職員の時給額のアップ、雇用問題による残業過多、老朽化設備の投資金額不足で出来ない等、厳しい経営状況が続いていることから黒字予算/将来を見備えた安定的な予算を組むことがとても難しくなってきました。

また若手職員の採用と育成という点でも北大生協がその役割を事業規模で埋めてきていましたが、これも今の事業構造のままでは北大生協だけでは補えない状況まで来ていることは確かです。

この大学の変化を回避することは大学情勢の中での変更させることは難しく、次年度以降は北大生協自体の損益構造の抜本的な見直しをしなければならないと考えています。

老朽化している施設の建替えも従来のように大学から与えられるモノではなく、PFI 事業に変わり、大学の福利厚生事業は生協ではなくてもよくなってきました。

この状況を立て直すためにもここ 1～2 年で大学の変化、情勢の変化に対応した北大生協自身の抜本的な事業構造の見直しと過去に捉われない新たなチャレンジ（行動力・提案力・発想力）が求められていると考えています。

2019 年度は正規・非正規問わず働き方改革と、事業へのチャレンジ力を強め、現状の経営到達状況から、すべての北大生協職員が元気にいつまでも働き続けられる将来を見備えた事業構造への抜本的な見直しを進めていかなければなりません。

<部門課題>

・購買部門

※客数対策～食堂とのコラボ企画

※セイコーマート対策

※品揃えの見直し

※営業時間の見直し

※人員体制の再検討等々

※食堂と連携し内製化弁当の製造率を上げる利益貢献を目指します。

※フレンドリー、アルバイト職員の作業割当の見直しと稼働時間の削減をする。

・購買外壳

※例年利用される商品の事前確保（店舗）

※教職員への年度末利用商品の早期提案

※※全国提案の校費システムを大学導入へ、このことに伴う購買外壳の構造見直し

※各店舗の営業時間の見直し

・書籍部門

※読書推進活動の強化（各委員会や図書館との協同企画）

※教科書販売の成功

※DECS 事業の推進

・食堂部門

※クックチルドの活用～夜営業や日祝営業時に学生バイトでも調理ができるようオペレーションの検討。

※コップパンの拡大要望について～施設の問題もあることから食堂部でのパンの内製化を研究し焼き立てパンの出食を検討。

※ミールカードホルダー数 20%アップを目指します。

※組合員が食べたいメニュー、食べさせたいメニューの独自企画を旺盛に取り組みます。

※ケータリング事業は店舗を超えて食堂部全体事業として取り組み、事業拡大を目指します。

※購買と連携し内製化弁当の製造率を上げる利益貢献を目指します。

※留学生の食支援としてハラルフードの取組強化を進めます。(東大などを参考に)

※フレンドリー、アルバイト職員の作業割当の見直しと稼働時間の削減をする。

※シフトに基づく出退勤管理の徹底、早出残業、通常残業の削減を進めます。

※校友会と連携し 100 円朝食メニュー提案～通常食堂利用に結び付ける

※各店舗の営業時間の見直し

・キャリア部門

※公務員講座受講生対策を進めます。

※トラベルと連携しメルボルン語学留学の成功

・旅行部門

※キャリアと連携しメルボルン語学留学の成功

※旅行事業の事業連合旅行センターとの連携による事業の見直し

※日常業務の効率化と重点領域（学びと成長、体験、）へのシフト

・ルームガイド部門

※大学受託業務の拡大～大学寮の管理、自転車管理など

※LP ガス事業の拡大～見守りサービスの強化

※2020 年新学期よりリビング事業をルームガイド部門へ移行し生活用品事業の拡大を目指す

◆2019 年度 定員計画（案）

	店舗数	2018正規職員数	2019正規職員数	2018/2019差異
購買	16	11	11	0
外売SB	2	6	6	0
書籍	2	6	5	-1
食堂	9	11	11	0
キャリア	1	3	3	0
情報SV	1	2	1	-1
トラベル	1	1	1	0
ルーム/共済	3	4	5	1
本部	1	9	6	-3
計	35	53	49	-4

※定年退職により情報SV▲1名

※ルームガイドに宅建資格者育およびリビング事業構築のため+1名増員

※食堂部門～新人職員2名配置

※購買部門～新人職員1名配置

※書籍部門～事業連合へ▲1名

※本部～退職者▲1名と購買部門へ▲1名、事業連合（総務）へ▲1名

※人件費削減(働き方改革も含め)、総人件費のおよそ半分を定時職員給与が占めています。道内最低賃金を下回らないという事もあり、働き方の見直し及び、新たなフレンドリー賃金体系も検討を進める事が必要。2019 年度では事業連合提案で教育分担金を提案されており北大にかかる全道正規職員育成の人件費の減額提案がされている。

2018年度見通し 2019年度予算集計

購買計	科目 CD	年合計				1次予算	1次予算- 見通し	2次予算	2次予算- 見通し	3次予算	3次予算- 見通し	19年度予算に 対するコメント	18年度見通しに 対するコメント
		17実績	18予算	18見通し	予算差異								
供給高	811	2,140,624	2,224,544	2,164,205	-60,339	2,189,326	25,121	2,203,011	38,806	2,203,011	38,806		
値入高		346,920	365,326	335,616	-29,710	335,085	-531	337,904	2,288	337,904	2,288		
供給値引高	815	422	398	527	129	497	-30	497	-30	497	-30		
誤差高=ロス(▲表示)		-824	0	0	0	-30	-30	-30	-30	-30	-30		
供給剰余金	991	345,674	364,928	335,089	-29,839	334,558	-531	337,377	2,288	337,377	2,288		
GPR		16.15%	16.40%	15.48%	-0.92%	0	-0.20%	15.31%	-0.17%	15.31%	-0.17%		
利用剰余金	830	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共済受託手数料収入	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給事業手数料収入	824	11,888	8,492	9,109	617	7,497	-1,612	8,602	-507	8,602	-507		
不動産賃貸収入	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他手数料収入	826	9,887	9,957	9,319	-638	6,090	-3,229	6,090	-3,229	6,090	-3,229		
事業総剰余金	992	367,449	383,377	353,517	-29,860	348,145	-5,372	352,069	-1,448	352,069	-1,448		
人件費合計	730	206,333	217,820	216,985	-835	213,759	-3,226	211,399	-5,586	211,399	-5,586		
物件費合計	750	95,967	96,172	94,094	-2,078	85,008	-9,086	85,095	-8,999	85,095	-8,999		
(内・連合委託費)	753	21,933	22,132	22,132	0	20,743	-1,389	20,743	-1,389	20,743	-1,389		
事業経費合計	760	302,300	313,992	311,079	-2,913	298,767	-12,312	296,494	-14,585	296,494	-14,585		
事業剰余金	993	65,149	69,385	42,438	-26,947	49,378	6,940	55,575	13,137	55,575	13,137		
受取利息	861	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
受取配当金	862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑収入	863	1,675	1,010	701	-309	0	-701	0	-701	0	-701		
事業外収益	870	1,675	1,010	701	-309	0	-701	0	-701	0	-701		
支払利息	761	0	0	2	2	0	-2	0	-2	0	-2		
雑損失	762	4	600	123	-477	0	-123	0	-123	0	-123		
事業外費用	770	4	600	125	-475	0	-125	0	-125	0	-125		
経常剰余金	994	66,820	69,795	43,014	-26,781	49,378	6,364	55,575	12,561	55,575	12,561		
特別損益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
税引前当期剰余金	995	66,820	69,795	43,014	-26,781	49,378	6,364	55,575	12,561	55,575	12,561		

2018年度見通し 2019年度予算集計

書籍計	科目 CD	年合計				1次予算	1次予算- 見通し	2次予算	2次予算- 見通し	3次予算	3次予算- 見通し	19年度予算に 対するコメント	18年度見通しに 対するコメント
		17実績	18予算	18見通し	予算差異								
供給高	811	453,512	467,899	432,806	-35,093	441,438	8,632	441,438	8,632	441,338	8,532		
値入高		85,581	88,511	81,414	-7,097	82,363	949	82,363	949	82,336	922		
供給値引高	815	27,542	28,124	27,862	-262	28,045	183	28,045	183	28,015	153		
誤差高=ロス(▲表示)		-1,407	-500	-250	250	-500	-250	-500	-250	-560	-310		
供給剰余金	991	56,632	59,887	53,302	-6,585	53,818	516	53,818	516	53,761	459		
GPR		12.49%	12.80%	12.32%	-0.48%	0	-0.12%	12.19%	-0.12%	12.18%	-0.13%		
利用剰余金	830	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共済受託手数料収入	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給事業手数料収入	824	17,899	17,948	17,610	-338	17,603	-7	17,603	-7	17,383	-227		
不動産賃貸収入	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他手数料収入	826	2,196	2,181	2,045	-136	2,009	-36	2,009	-36	2,009	-36		
事業総剰余金	992	76,727	80,016	72,957	-7,059	73,430	473	73,430	473	73,153	196		
人件費合計	730	66,635	64,745	61,906	-2,839	60,769	-1,137	60,497	-1,409	60,497	-1,409		
物件費合計	750	19,763	19,211	18,482	-729	18,768	286	18,768	286	18,689	207		
(内・連合委託費)	753	1,028	989	989	0	933	-56	933	-56	933	-56		
事業経費合計	760	86,398	83,956	80,388	-3,568	79,537	-851	79,265	-1,123	79,186	-1,202		
事業剰余金	993	-9,671	-3,940	-7,431	-3,491	-6,107	1,324	-5,835	1,591	-6,033	1,393		
受取利息	861	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
受取配当金	862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑収入	863	0	0	5	5	0	-5	0	-5	0	-5		
事業外収益	870	0	0	5	5	0	-5	0	-5	0	-5		
支払利息	761	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑損失	762	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業外費用	770	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常剰余金	994	-9,671	-3,940	-7,426	-3,486	-6,107	1,319	-5,835	1,591	-6,033	1,393		
特別損益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
税引前当期剰余金	995	-9,671	-3,940	-7,426	-3,486	-6,107	1,319	-5,835	1,591	-6,033	1,393		

2018年度見通し 2019年度予算集計

食堂計	科目 CD	年合計				1次予算	1次予算- 見通し	2次予算	2次予算- 見通し	3次予算	3次予算- 見通し	19年度予算に 対するコメント	18年度見通しに 対するコメント
		17実績	18予算	18見通し	予算差異								
供給高	811	1,038,942	1,046,071	999,407	-46,664	1,011,416	12,009	1,041,242	41,835	1,041,242	41,835		
値入高		517,971	520,488	498,720	-21,768	503,349	4,629	521,294	22,574	521,294	22,574		
供給値引高	815	7,848	10,000	7,610	-2,390	7,688	78	7,688	78	7,688	78		
誤差高=ロス(▲表示)		-193	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給剰余金	991	509,930	510,488	491,110	-19,378	495,661	4,551	513,606	22,496	513,606	22,496		
GPR		49.08%	48.80%	49.14%	0.34%	0	-0.13%	49.33%	0.19%	49.33%	0.19%		
利用剰余金	830	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共済受託手数料収入	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給事業手数料収入	824	998	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
不動産賃貸収入	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他手数料収入	826	4,387	4,700	4,881	181	3,834	-1,047	3,834	-1,047	3,834	-1,047		
事業総剰余金	992	515,315	515,188	495,991	-19,197	499,495	3,504	517,440	21,449	517,440	21,449		
人件費合計	730	272,812	288,715	280,307	-8,408	275,532	-4,775	276,609	-3,698	276,609	-3,698		
物件費合計	750	112,947	111,665	108,825	-2,840	111,185	2,360	109,725	900	109,725	900		
(内・連合委託費)	753	6,600	6,641	6,641	0	6,290	-351	6,290	-351	6,290	-351		
事業経費合計	760	385,759	400,380	389,132	-11,248	386,717	-2,415	386,334	-2,798	386,334	-2,798		
事業剰余金	993	129,556	114,808	106,859	-7,949	112,778	5,919	131,106	24,247	131,106	24,247		
受取利息	861	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
受取配当金	862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑収入	863	364	2	221	219	0	-221	0	-221	0	-221		
事業外収益	870	364	2	221	219	0	-221	0	-221	0	-221		
支払利息	761	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑損失	762	7	0	4	4	0	-4	0	-4	0	-4		
事業外費用	770	7	0	4	4	0	-4	0	-4	0	-4		
経常剰余金	994	129,913	114,810	107,076	-7,734	112,778	5,702	131,106	24,030	131,106	24,030		
特別損益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
税引前当期剰余金	995	129,913	114,810	107,076	-7,734	112,778	5,702	131,106	24,030	131,106	24,030		

2018年度見通し 2019年度予算集計

旅行 キャリア計	科目 CD	年合計				1次予算	1次予算- 見通し	2次予算	2次予算- 見通し	3次予算	3次予算- 見通し	19年度予算に 対するコメント	18年度見通しに 対するコメント
		17実績	18予算	18見通し	予算差異								
供給高	811	599,052	515,154	478,508	-36,646	452,930	-25,578	459,700	-18,808	463,700	-14,808		
値入高		86,020	85,311	71,486	-13,825	59,811	-11,675	63,811	-7,675	66,384	-5,102		
供給値引高	815	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
誤差高=ロス(▲表示)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給剰余金	991	86,020	85,311	71,486	-13,825	59,811	-11,675	63,811	-7,675	66,384	-5,102		
GPR		14.36%	16.56%	14.94%	-1.62%	0	-1.73%	13.88%	-1.06%	14.32%	-0.62%		
利用剰余金	830	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共済受託手数料収入	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給事業手数料収入	824	2,064	2,300	2,189	-111	2,050	-139	2,050	-139	2,050	-139		
不動産賃貸収入	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他手数料収入	826	14,571	10,910	15,982	5,072	10,670	-5,312	12,520	-3,462	12,520	-3,462		
事業総剰余金	992	102,655	98,521	89,657	-8,864	72,531	-17,126	78,381	-11,276	80,954	-8,703		
人件費合計	730	60,883	56,763	53,214	-3,549	58,465	5,251	57,492	4,278	57,492	4,278		
物件費合計	750	21,447	26,314	20,049	-6,265	20,051	2	18,765	-1,284	18,547	-1,502		
(内・連合委託費)	753	226	274	274	0	252	-22	252	-22	252	-22		
事業経費合計	760	82,330	83,077	73,263	-9,814	78,516	5,253	76,257	2,994	76,039	2,776		
事業剰余金	993	20,325	15,444	16,394	950	-5,985	-22,379	2,124	-14,270	4,915	-11,479		
受取利息	861	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
受取配当金	862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑収入	863	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業外収益	870	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
支払利息	761	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑損失	762	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業外費用	770	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常剰余金	994	20,325	15,444	16,394	950	-5,985	-22,379	2,124	-14,270	4,915	-11,479		
特別損益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
税引前当期剰余金	995	20,325	15,444	16,394	950	-5,985	-22,379	2,124	-14,270	4,915	-11,479		

2018年度見通し 2019年度予算集計

RG計	科目 CD	年合計				1次予算	1次予算- 見通し	2次予算	2次予算- 見通し	3次予算	3次予算- 見通し	19年度予算に 対するコメント	18年度見通しに 対するコメント
		17実績	18予算	18見通し	予算差異								
供給高	811	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
値入高		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給値引高	815	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
誤差高=ロス(▲表示)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給剰余金	991	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
GPR		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
利用剰余金	830	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共済受託手数料収入	822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
供給事業手数料収入	824	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
不動産賃貸収入	825	49,820	74,516	76,669	2,153	79,005	2,336	80,205	3,536	81,656	4,987		
その他手数料収入	826	136,090	146,835	148,327	1,492	147,708	-619	153,208	4,881	156,108	7,781		
事業総剰余金	992	185,910	221,351	224,996	3,645	226,713	1,717	233,413	8,417	237,764	12,768		
人件費合計	730	45,843	50,107	56,662	6,555	60,774	4,112	60,500	3,838	60,500	3,838		
物件費合計	750	23,654	47,942	54,271	6,329	53,622	-649	52,088	-2,183	52,088	-2,183		
(内・連合委託費)	753	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業経費合計	760	69,497	98,049	110,933	12,884	114,396	3,463	112,588	1,655	112,588	1,655		
事業剰余金	993	116,413	123,302	114,063		112,317	-1,746	120,825	6,762	125,176	11,113		
受取利息	861	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
受取配当金	862	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
雑収入	863	1		0	0	0	0	0	0	0	0		
事業外収益	870	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
支払利息	761	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
雑損失	762	30		0	0	0	0	0	0	0	0		
事業外費用	770	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常剰余金	994	116,384	123,302	114,063	-9,239	112,317	-1,746	120,825	6,762	125,176	11,113		
特別損益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
税引前当期剰余金	995	116,384	123,302	114,063	-9,239	112,317	-1,746	120,825	6,762	125,176	11,113		

2018年度見通し 2019年度予算集計

北大生協計	科目 CD	年合計				1次予算	1次予算- 見通し	2次予算	2次予算- 見通し	3次予算	3次予算- 見通し	19年度予算に 対するコメント	18年度見通しに 対するコメント
		17実績	18予算	18見通し	予算差異								
供給高	811	4,366,577	4,388,723	4,210,223	-178,500	4,230,110	19,887	4,280,391	70,168	4,284,291	74,068	1/15集計時点の到達点 は、263,008千円の黒字だ が、正規給与保険料や、 連合委託料の未入力を勘 案すると4千万円以上の赤 字予算	11/07. 10月累計で NET40,618千円不足。 11/28. 自販機店の見通しを 追加。NET41,861千円の不 足。
値入高		1,078,067	1,100,967	1,027,079	-73,888	1,020,043	-7,036	1,044,807	17,728	1,047,353	20,274		
供給値引高	815	35,812	38,522	35,999	-2,523	36,230	231	36,230	231	36,200	201		
誤差高=ロス(▲表示)		-2,424	-500	-250	250	-530	-280	-530	-280	-590	-340		
供給剰余金	991	1,039,831	1,061,945	990,830	-71,115	983,283	-7,547	1,008,047	17,217	1,010,563	19,733		12/18.11月見通しを実績に 置き換え6,734千円の改善。
GPR		23.81%	24.20%	23.53%	-0.66%	0	-0.29%	23.55%	0.02%	23.59%	0.05%		NET35,127千円の不足を予 測。
利用剰余金	830	69	0	36	36	0	-36	0	-36	0	-36		
共済受託手数料収入	822	18,159	18,377	18,385	8	18,367	-18	18,367	-18	18,367	-18		1/25.12月見通しを実績に置 き換え286千円の改善。
供給事業手数料収入	824	36,717	32,610	32,704	94	30,715	-1,989	31,820	-884	31,600	-1,104		NET34,838千円の不足を予 測。
不動産賃貸収入	825	91,063	116,108	118,147	2,039	120,481	2,334	121,681	3,534	123,132	4,985		
その他手数料収入	826	179,566	186,788	195,961	9,173	180,638	-15,323	188,234	-7,727	199,894	3,933		
事業総剰余金	992	1,365,405	1,415,828	1,356,063	-59,765	1,333,484	-22,579	1,368,149	12,086	1,383,556	27,493		2/5.1月見通しを実績に 置き換え7,809千円 の改善(うち連合委託費
人件費合計	730	830,788	845,262	837,530	-7,732	831,755	-5,775	823,233	-14,297	832,163	-5,367		▲9,736千円)。睡眠処 理下方修正。
物件費合計	750	552,031	577,169	555,124	-22,045	560,721	5,597	556,565	1,441	556,268	1,144		
(内・連合委託費)	753	98,771	97,593	87,857	-9,736	91,590	3,733	91,590	3,733	91,590	3,733		
事業経費合計	760	1,382,819	1,422,431	1,392,654	-29,777	1,392,476	-178	1,379,798	-12,856	1,388,431	-4,223		NET27,293千円の不足 を予測。2/6、25,905千 円の不足。(樋浦)
事業剰余金	993	-17,414	-6,603	-36,591	-29,988	-58,992	-22,401	-11,649	24,942	-4,875	31,716		
受取利息	861	0	0	1	1	0	-1	0	-1	0	-1		
受取配当金	862	525	525	525	0	525	0	525	0	525	0		
雑収入	863	19,260	9,565	13,255	3,690	8,814	-4,441	8,814	-4,441	8,814	-4,441		
事業外収益	870	19,785	10,090	13,781	3,691	9,339	-4,442	9,339	-4,442	9,339	-4,442		
支払利息	761	139	217	258	41	177	-81	255	-3	255	-3		
雑損失	762	851	1,070	637	-433	335	-302	380	-257	380	-257		
事業外費用	770	990	1,287	895	-392	512	-383	635	-260	635	-260		
経常剰余金	994	1,381	2,200	-23,705	-25,905	-50,165	-26,460	-2,945	20,760	3,829	27,534		
特別損益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
税引前当期剰余金	995	1,381	2,200	-23,705	-25,905	-50,165	-26,460	-2,945	20,760	3,829	27,534		
法人税等	781	700	1,000	1,000	0	1,000	0	1,000	0	1,000	0		
当期剰余金	996	681	1,200	-24,705	-25,905	-51,165	-26,460	-3,945	20,760	2,829	27,534		

18 年度共同運営費の再按分についてご提案＝教育分担金（仮称）の創設について

2019 年 2 月 12 日

大学生協事業連合 北海道地区

常務理事 須田 正樹

この間の地区協議会で協議検討していました、“共同運営費の再按分提案＝教育分担金（仮称）の創設”について、12 月開催の第 2 回協議会において確認されました。但し共同運営費は毎年年度末で調整を行ってききましたが、本年度は会員での負担金額が大きいということもあり、改めて主旨を説明させていただきます。

0. 共同運営費の確定手順

- ✓ 前年 12～1 月にかけて、予算の提案をしています。
分担比率はその年の 10 月までの供給高 3 年平均をもとに算出をすることとしていますが、経営困難生協については軽減措置を取ることにしています。その分で他の会員の負担率が上がることになります。
- ✓ 当年 12 月～1 月にかけて、最終的な共同運営費の「確定」を提案しています。
事業連合自身の決算状況に加えて、会員生協の決算状況を考慮して、赤字決算にならないように意識しながら、共同運営費の再按分を行うことにしています。
従来は事業連合自身の決算が良好であったため、共同運営費の還元を行う際に、突発的な事情により経営支援が必要な会員に厚く還元するということが可能でした。一昨年度の札大の加入にあたっては不良資産の処理により決算状況が極端に悪く、通常の分担金をお支払いいただくことができず、各会員に再按分をお願いした経過がありました。
債務超過はもちろん、多大な累積債務がある場合は、経営支援で分担金を調整することになります。
- ✓ 実際の精算は、1 月中に実施をしています。
年度末決算の中での調整は、各会員の決算見通しが立てづらくなることと、行政からの決算操作の疑いを受けることを避けるためのものです。各会員では 1 月中に報告または承認が行われるものと想定しています。

1. 提案の主旨

人材の採用・育成に必要な費用を連帯の中で確保をし、事業連合ならびに各会員の経営状況に左右されないというルールを再確認することにあります。

また、事業連合においては厳密な採用計画を確定し、各会員においては共通の人材として育成を支えていくことが求められます。

伴って、毎年の採用人数、育成人数によって分担いただく費用は変動しますが、予算段階で確定をし、経営状況によって増減することはない、特別会計での処理を行います。

2. 提案の背景

この間 1～2 年目の新人職員については、一部会員生協での受け入れ以外は基本的に北大生協に受け入れをいただき、現場での育成を担っていただいていたが、様々な問題が浮き彫りとなりました。

- ✓ 北大生協の各店舗では店長以外に職員を抱えることができず、若手が新人を教える、店長が複数の新人職員の指導に当たるといったかたちになっています
- ✓ 1～2 年目の職員を他の会員に配置して引き受けていただくのは、日常的な付き合いが乏しいこともあり、同水準の教育を行ううえでリスクが伴うことから、北大生協に頼っています。
- ✓ 教育の体制を維持し、『2 年目職員の半額負担、3 年目職員の全額負担』の費用負担をすること、また連帯で負担している『1 年目職員の全額負担、2 年目職員の半額負担』を供給高に基づく分担金で負担することの経営体力が北大生協に無くなってきています。
- ✓ ここ数年は、将来の職員体制と組織を維持するため、毎年 5～6 名程度の新人を採用し続けています。この費用負担が重く北大生協にのしかかっています。また今後数年では、継続雇用の 70 歳までの延長を見据えることが求められることとなり、その分の人員構成を考慮した中で、新人職員の採用をし続けることになります。人数は圧縮することになりますが、組織の継続性を考えると 3 名は予定することが必要です。

一昨年に今回のような状況を踏まえ、会員で応分の負担をして支えることはやぶさかではないという論議が行われましたが、連合の合併（2018 年 11 月）を控えている中、損益状況の判断が出来ず、一旦先送りすることとしました。

事業連合の合併による初めての決算を迎える中、事業連合からの戻入はほぼ不可能な状態と確認がされましたので、11 月地区協議会に制度の導入を提案し、12 月地区協議会で確認をいただいています。

（※補足説明：会員の決算状況）

現在支援を受けているのは札幌学院大生協と札幌大生協の 2 会員です。

- ✓ 札幌学院大生協は事業改善が進んでおり、分担金の軽減や人件費の補填もあって、順調に債務を減らしています。税務上の欠損が今年度で亡くなりますので、この後はペースダウンをすることになります。またキャンパス新設による経営への影響が計り知れない中、支援の継続が必要となります。
- ✓ 札幌大生協は苦戦が続いています。職員 1 名の人件費負担で単年度黒字は見込めるところではありますが、債務超過状態の解消はしばらく見込めません。

国立大学ではカリキュラムの変更に伴う店舗利用の後退が私立大学に遅れてやってきました。また、校費の利用減と自販機の収益喪失は損益の悪化につながり、正規職員を配置することが困難な状況になっています。

- ✓ 帯広畜産大は単年度赤字が迫っていますし、小樽商大は正規職員 1 名の人件費半額補填を行っていますが、ぎりぎりの決算状況になっています。室蘭工大は独自採用職員がこの数年で定年を迎えています。この春定年を迎える職員の退職金の引当ができていません。残る一人の職員は事業連合に移籍を行い、引当を減免することとしています。

今年度は、いよいよもって北大生協では支えることができない状況となっています。

11 月末時点で 5,000 万円の赤字が予想され、そのうち 1,600 万円は震災の影響によるものでした。残りは新生活用品事業の後退、セイコーマート進出に対する利用客数の後退等が大きな要因となっています。

北大生協の構造的な問題は、広大なキャンパスでの大学構成員への福利厚生サービスを担うための多店舗展開や、大学要望に応じてきた長時間営業による効率の悪さで、それに伴う人員の配置・人件費負担の重さです。各種委員会や生協運動を支える本部の運営コストも全国的に見ても重くなっています。大学事業の拡大による自販機入札の収入減や校費での剰余が薄くなっていく中で、抜本的な対策が必要となっています。

- ✓ 継続雇用のほとんどを北大生協が担うことになることを考えると、北大生協は一層厳しい状況となります。労働条件の改善や定年延長制度の導入も想定されますので、より厳しい状況となります。多くの会員生協は正規職員の配置を減らすとともに、若手の配置を意識して行っています。
- ✓ 会員独自で職員を採用してきた会員のほとんどは経営困難に陥り、職員の移籍を北大生協が中心に受け入れてきました。年齢や賃金水準が高いことによる直接の人件費の増大、退職金の異動が十分に行われてこなかったことによる引当額の増加が重くなっています。引当率は 80% 台に載っていますが、労働組合との関係ではあと 4 年で 100% を達成することになっています。そのためには 3,000 万円近くを毎年引き当てる必要がありますが、2,400 万円程度しか予算化できていません。そこをさらに減らす対応はできません。
- ✓ 供給は年々減少傾向にある上、剰余率が低い分類での供給に支えられています。昨年までは食堂事業の伸長で支えられてきましたが、今年度は食堂も大きく減らし、1 月末の供給剰余は予算比 6,500 万円・前年比 5,100 万円のマイナスとなっています。供給比率で分担金の再按分を行う場合、より多くの減額が予想されます。
- ✓ その中で、年間 9,800 万円の分担金は重いものになっていますが、支援要請を受けて他の会員と同じような基準で減額措置をすることはできません。尚各地の基幹国立大生協は厳しい経営状況にありますが、それでも分担金比率が 45% という地区は一つありません。

3. 具体的な提案

詳細については別紙のシミュレーションをご覧ください。

1～2 年目職員の人件費（基本給与・保険料）を連帯で負担し、各会員に再按分を行います。按分比率は、現状の事業規模から考えて正規職員を配置すべき（配置を期待できる）人数をもとに算出しています。従来配置していた人数、給与水準（年齢・職階・ポスト）を参考に係数調整しています。按分する費用は以下の通りです。

- ① 連合が負担している、1 年目職員分の人件費全額 = 2,100 万
- ② 連合が負担している、2 年目職員分の人件費全額 $\times 1/2 = 1,350$ 万
- ③ 会員生協が負担している、2 年目職員分の人件費全額 $\times 1/2 = 1,350$ 万 合計 4,800 万円
会員が負担している③については、当該会員にいったん人件費の戻入れを行ったうえで、改めて合計額 4,800 万円分を全道で再按分（＝教育分担金）を行います。

実際の受入れ人数が多い北大生協、経営困難生協は減算するという考え方とした上で、今年度の経営状況、配置人数、給与水準などを考慮しており、負担に格差が出ることをご了承ください。人事異動で若手に切り替わった会員、単身赴任手当などが発生しなくなった会員にはとりわけ重くなっています。

4. 19 年度共同運営費について

18 年度の教育分担金の考え方を踏襲し、2 年目職員 5 名と来春新人職員 3 名の人件費（基本給与・保険料）を 3,600 万円と見込み、『教育分担金』として全体で按分します。『通常の分担金』については 18 年度総額の 2.2 億から、1～2 年目職員負担相当分 3,500 万円を差し引き、さらに連合収支の見直しで 500 万円を減額した、1.8 億円とします。

2 年目職員の人件費を全額連帯負担としても、会員の分担金総額は 18 年度より 400 万円減の 2 億 1,600 万円となります。

以上、11～12 月の地区協議会で確認をされた共同運営費の考え方を再整理しました。
多くの会員に多大な負担をおかけすることとなりましたが、ご理解をお願いいたします。

2019年度会費一覧 (単位:円)		支払期限		2019/1/30		2019/3/28	2019/7/30	2019/6/27		2019/5/30	
会 員 生 協 名	月額会費	1期会費(3)	2期会費(2)	1.2期計	3期会費(4.5)	4期会費(3)	通常会費Ⅰ計	通常会費Ⅱ	会員生協計	増資要請額	会費+増資
1000 北海道大学生生活協同組合	552,500	1,657,500	1,105,000	2,762,500	2,486,250	1,657,500	6,906,250	5,263,000	12,169,250	0	12,169,250
1001 北海学園生活協同組合	123,000	369,000	246,000	615,000	553,500	369,000	1,537,500	1,668,500	3,206,000	0	3,206,000
1002 北星学園生活協同組合	89,000	267,000	178,000	445,000	400,500	267,000	1,112,500	1,069,000	2,181,500	0	2,181,500
1003 北海道教育大学生生活協同組合	73,000	219,000	146,000	365,000	328,500	219,000	912,500	927,000	1,839,500	0	1,839,500
1004 札幌大学生生活協同組合	19,000	57,000	38,000	95,000	85,500	57,000	237,500	302,500	540,000	0	540,000
1030 酪農学園生活協同組合	96,500	289,500	193,000	482,500	434,250	289,500	1,206,250	1,055,500	2,261,750	0	2,261,750
1031 札幌学院大学生生活協同組合	53,500	160,500	107,000	267,500	240,750	160,500	668,750	581,500	1,250,250	0	1,250,250
1032 小樽商科大学生活協同組合	27,000	81,000	54,000	135,000	121,500	81,000	337,500	430,500	768,000	0	768,000
1033 帯広畜産大学生生活協同組合	128,500	385,500	257,000	642,500	578,250	385,500	1,606,250	1,065,500	2,671,750	0	2,671,750
1040 北見工業大学生生活協同組合	39,000	117,000	78,000	195,000	175,500	117,000	487,500	467,500	955,000	0	955,000
1041 釧路公立大学生生活協同組合	52,500	157,500	105,000	262,500	236,250	157,500	656,250	486,500	1,142,750	0	1,142,750
1042 室蘭工業大学生生活協同組合	39,000	117,000	78,000	195,000	175,500	117,000	487,500	633,000	1,120,500	0	1,120,500
1051 公立はこだて未来大学生生活協同組合	21,000	63,000	42,000	105,000	94,500	63,000	262,500	213,000	475,500	0	475,500
1999 大学生協事業連合 北海道地区	500	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学生協事業連合 北海道地区 合計	1,314,000	3,941,000	2,627,000	6,567,500	5,910,750	3,940,500	16,418,750	14,163,000	30,581,750	0	30,581,750

※事業連合の10月分会費はすでにお支払済みのため集計では除いております。

2019 年度

各単協共同運営費部門別配賦リスト②-②

SBD時代(03年)の分配比率を考慮して再配分

	本部	3月	4-2月	購買	3月	4-2月	書籍	3月	4-2月	食堂	3月	4-2月	旅行	3月	4-2月	合計	3月	4-2月
北大	63,315	5,345	5,270	22,001	1,871	1,830	1,201	101	100	5,073	453	420	0	0	0	91,590	7,770	7,620
北海	17,039	1,529	1,410	3,257	287	270	521	81	40	1,414	204	110	0	0	0	22,231	2,101	1,830
酪農	13,175	1,185	1,090	3,626	326	300	223	113	10	929	159	70	0	0	0	17,953	1,783	1,470
北星	12,623	1,073	1,050	2,307	217	190	286	66	20	942	172	70	0	0	0	16,158	1,528	1,330
札学	3,610	310	300	835	175	60	62	62	0	310	90	20	0	0	0	4,817	637	380
札教	2,715	295	220	626	76	50	51	51	0	348	128	20	0	0	0	3,740	550	290
岩教	1,713	173	140	355	135	20	38	38	0	285	65	20	0	0	0	2,391	411	180
小樽	3,528	338	290	886	116	70	143	33	10	486	46	40	0	0	0	5,043	533	410
旭教	2,597	287	210	379	49	30	88	88	0	480	40	40	0	0	0	3,544	464	280
釧教	1,217	117	100	379	49	30	61	61	0	318	98	20	0	0	0	1,975	325	150
室工	12,179	1,069	1,010	3,392	312	280	327	107	20	1,520	200	120	0	0	0	17,418	1,688	1,430
常畜	4,530	460	370	1,735	195	140	119	119	0	510	70	40	0	0	0	6,894	844	550
北見	8,296	706	690	1,556	236	120	183	73	10	1,242	142	100	0	0	0	11,277	1,157	920
函教	2,016	256	160	665	115	50	71	71	0	242	22	20	0	0	0	2,994	464	230
釧公	2,061	191	170	493	53	40	231	121	10	140	30	10	0	0	0	2,925	395	230
未来	1,855	205	150	557	117	40	141	31	10	203	93	10	0	0	0	2,756	446	210
札大	1,531	211	120	279	59	20	192	82	10	292	72	20	0	0	0	2,294	424	170
合計	154,000	13,750	12,750	43,328	4,388	3,540	3,938	1,298	240	14,734	2,084	1,150	0	0	0	216,000	21,520	17,680
検算	154,000	154,000	0	62,000	43,328	0	3,938	3,938	0	14,734	0	0	0	0	0	216,000	216,000	0

SB混合店は購買と書籍を足した金額を共同運営費として下さい。
 複数店舗がある場合は、供給予算の比率で分配して下さい
 資金請求はこの数字に基づいて行ないますので、変更はしないで下さい。

連合	物流C	3月	4-2月	総務経理	3月	4-2月	本部	3月	4-2月	事業部	3月	4-2月	合計	3月	4-2月
合計	0	0	0	118,000	10,750	9,750	36,000	3,000	3,000	62,000	7,770	4,930	216,000	21,520	17,680
	0.00%	0	0	54.63%	118,000	0	16.67%	36,000	0	28.70%	62,000	0	100.00%	216,000	0

2019 年度

各単協共同運営費部門別配賦リスト②-③-連合資金請求用(税込)

	本部	3月	4-2月	購買	3月	4-2月	書籍	3月	4-2月	食堂	3月	4-2月	旅行	3月	4-2月	合計	3月	4-2月
北大	68,380,200	5,772,600	5,691,600	23,761,080	2,020,680	1,976,400	1,297,080	109,080	108,000	5,478,840	489,240	453,600	0	0	0	98,917,200	8,391,600	8,229,600
北海	18,402,120	1,651,320	1,522,800	3,517,560	309,960	291,600	562,680	87,480	43,200	1,527,120	220,320	118,800	0	0	0	24,009,480	2,269,080	1,976,400
酪農	14,229,000	1,279,800	1,177,200	3,916,080	352,080	324,000	240,840	122,040	10,800	1,003,320	171,720	75,600	0	0	0	19,389,240	1,925,640	1,587,600
北星	13,632,840	1,158,840	1,134,000	2,491,560	234,360	205,200	308,880	71,280	21,600	1,017,360	185,760	75,600	0	0	0	17,450,640	1,650,240	1,436,400
札学	3,898,800	334,800	324,000	901,800	189,000	64,800	66,960	66,960	0	334,800	97,200	21,600	0	0	0	5,202,360	687,960	410,400
札教	2,932,200	318,600	237,600	676,080	82,080	54,000	55,080	55,080	0	375,840	138,240	21,600	0	0	0	4,039,200	594,000	313,200
岩教	1,850,040	186,840	151,200	383,400	145,800	21,600	41,040	41,040	0	307,800	70,200	21,600	0	0	0	2,582,280	443,880	194,400
小樽	3,810,240	365,040	313,200	956,880	125,280	75,600	154,440	35,640	10,800	524,880	49,680	43,200	0	0	0	5,446,440	575,640	442,800
旭教	2,804,760	309,960	226,800	409,320	52,920	32,400	95,040	95,040	0	518,400	43,200	43,200	0	0	0	3,827,520	501,120	302,400
釧教	1,314,360	126,360	108,000	409,320	52,920	32,400	65,880	65,880	0	343,440	105,840	21,600	0	0	0	2,133,000	351,000	162,000
室工	13,153,320	1,154,520	1,090,800	3,663,360	336,960	302,400	353,160	115,560	21,600	1,641,600	216,000	129,600	0	0	0	18,811,440	1,823,040	1,544,400
常畜	4,892,400	496,800	399,600	1,873,800	210,600	151,200	128,520	128,520	0	550,800	75,600	43,200	0	0	0	7,445,520	911,520	594,000
北見	8,959,680	762,480	745,200	1,680,480	254,880	129,600	197,640	78,840	10,800	1,341,360	153,360	108,000	0	0	0	12,179,160	1,249,560	993,600
函教	2,177,280	276,480	172,800	718,200	124,200	54,000	76,680	76,680	0	261,360	23,760	21,600	0	0	0	3,233,520	501,120	248,400
釧公	2,225,880	206,280	183,600	532,440	57,240	43,200	249,480	130,680	10,800	151,200	32,400	10,800	0	0	0	3,159,000	426,600	248,400
未来	2,003,400	221,400	162,000	601,560	126,360	43,200	152,280	33,480	10,800	219,240	100,440	10,800	0	0	0	2,976,480	481,680	226,800
札大	1,653,480	227,880	129,600	301,320	63,720	21,600	207,360	88,560	10,800	315,360	77,760	21,600	0	0	0	2,477,520	457,920	183,600
合計	166,320,000	14,850,000	13,770,000	46,794,240	4,739,040	3,823,200	4,253,040	1,401,840	259,200	15,912,720	2,250,720	1,242,000	0	0	0	233,280,000	23,241,600	19,094,400
検算	166,320,000	166,320,000	0	46,794,240	4,739,040	0	4,253,040	4,253,040	0	15,912,720	0	0	0	0	0	233,280,000	233,280,000	0

SB混合店は購買と書籍を足した金額を共同運営費として下さい。
 複数店舗がある場合は、供給予算の比率で分配して下さい
 資金請求はこの数字に基づいて行ないますので、変更はしないで下さい。

連合	物流C	3月	4-2月	総務経理	3月	4-2月	本部	3月	4-2月	事業部	3月	4-2月	合計	3月	4-2月
合計	0	0	0	127,440,000	11,610,000	10,530,000	38,880,000	3,240,000	3,240,000	66,960,000	8,391,600	5,324,400	233,280,000	23,241,600	19,094,400
	0	0	0	127,440,000	0	0	38,880,000	0	0	66,960,000	0	0	233,280,000	0	0

ロス前供給剰余

	2016年度実績	2017年度実績	2018年10月累計実績	2019年計画	傾向(角度は無視)	コメント
分類 分類名						
100 文具	24.19	24.25	24.47	24.50	→	エスシーへの集中により利益を維持
200 情報機器	12.84	12.91	13.83	13.00	→	変更なし
300 P Cソフト	13.49	13.09	10.78	13.00	→	変更なし
400 衣料・スポーツ	22.55	24.15	24.21	25.00	↗	微増 貸衣装（20%）が36分類に分類移動になるため、04の利益率は増加する
500 A V・家電・家具	25.90	26.74	25.33	6%～15%	↘	新生活用品の物流費が原価に反映されるので、3月～4月の商品振替月は新生活用品の比率が高い会員は6%程度。その代り新学期費用精算（6月末）時の物流費の連合からの請求がなくなる。新学期を除く通常期は現状通り
600 日用雑貨	18.71	18.48	18.49	16.00	↘	雑貨物流費の高騰で原価が上がる見込み。価格改定を計画するが2～3%程度後退の見通し
700 食品・菓子	23.13	23.04	23.00	23.00	→	ナシオ広域商談、広域企画に伴い、菓子で利益率UPを目指す、全体としてはほぼ前年実績並み
800 パン・米飯	23.85	23.71	23.33	23.50	→	ヤマザキ広域商談、広域企画に伴い、条件改善を期待しつつ、利益率は現状並みで計画
900 飲料・デザート	25.03	25.42	25.06	25.50	→	広域商談への期待。一方でポイント企画アイテムが縮小になることで、利益率は現状並みで計画
1000 自販機	21.99	22.12	21.93	22.00	→	入札案件があるところは、別途
1100 コピー	27.48	29.79	26.09	29.00	→	変更なし
1200 写真・印刷	21.80	21.00	218.58	21.00	→	変更なし
1300 官製品	0.49	0.00	0.00	0.00		
1400 インターネット・通信	50.00	—	—	—		
1500 タバコ	10.71	10.76	11.99	10.00	→	変更なし
1600 音楽映像ソフト	—	—	—	—		
1700 物販その他（内外）	16.98	18.31	19.92	18.00	→	変更なし
1800 物販その他（内内）	24.59	9.39	11.78	9.00	→	変更なし
1900 物販その他（非非）	6.43	7.21	7.99	7.00	→	変更なし
2000 その他（原価管理）	68.59	65.05	61.63	60.00	→	変更なし
2500 プリペイドギフトC	5.04	5.34	4.83	5.00	→	変更なし
3000 自動車教習所	4.90	4.87	4.89	5.00	→	変更なし
3100 海外旅行	3.34	2.66	2.93	3.00	→	変更なし
3300 国内旅行	7.13	7.83	6.42	8.00	→	変更なし
3600 S V その他（内外）	—	—	—	20.00	↗	貸衣装が36分類に連合全体で統一される
3700 S V その他（内内）	17.69	19.42	19.02	19.00	→	変更なし
3800 S V その他（非非）	—	—	—	—		
3900 S V その他（不不）	—	9.34	9.34	9.00	→	変更なし
8000 書籍総合	22.06	22.01		22.00		
8100 図書カード	5.03	5.24	5.01	5.00		
8200 非課税書籍	—	—	—			
8300 スタディガイド（内外）	0.00	—	—	—		
8400 スタディガイド（内内）	12.70	11.87	12.11	12.00	→	変更なし
8500 スタディガイド（非非）	—	—	—	—		
8600 自主講座・就活（内外）	—	—	—	—		
8700 自主講座・就活（内内）	48.74	52.19	51.60	52.00	→	変更なし
8800 自主講座就活（内内原）	—	—	—	—		
7900 電子書籍	—	9.63	19.78	19.00	→	変更なし
6200 メニュー	50.84	50.99	50.87	51.30	↗	0.4%程度改善計画
80分類	商品管理票上のロス前剰余率 （内ミール値引率影響）	15.54	15.66	16.41		
	ロス前実質剰余率	15.54	15.66			
	実質値引率	6.52	6.36			
	実質差益率	22.06	22.01			

北大2019人件費集計表0213_H&計

2019/2/13_15:54

人件費2019予算作成シート

北大全店合計 店

TO

0213

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合 計	19予-18実
役員報酬	721	1,017	1,017	155	818	818	818	818	818	818	818	818	818	9,551	-1,672
職員給与		13,566	13,528	13,399	12,121	12,106	12,122	12,106	12,121	12,107	12,121	12,106	12,122	149,525	-11,002
通勤手当		450	437	409	361	361	361	361	361	361	361	361	361	4,545	-724
時 間 外		1,136	1,729	1,032	862	871	698	653	670	677	704	697	684	10,413	
職員給与 計	722	15,152	15,694	14,840	13,344	13,338	13,181	13,120	13,152	13,145	13,186	13,164	13,167	164,483	-11,726
正規賞与引当	727	2,810	2,810	2,810	2,692	2,823	2,823	2,778	8,080	8,080	8,048	2,533	2,533	48,820	-1,576
定時給与		2,066	1,800	2,142	2,121	2,101	2,105	2,096	2,105	2,107	2,119	2,103	2,113	24,978	13,346
パート給与		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フレンドリー		26,416	32,070	24,421	34,034	33,962	31,330	30,006	27,907	30,021	33,547	24,538	33,079	361,331	
アルバイト		6,413	14,721	5,768	4,059	4,964	3,898	2,583	3,396	4,157	5,407	4,194	2,822	62,382	
組織手当		585	513	493	493	493	493	477	553	529	529	469	429	6,056	605
通勤手当		2,976	2,996	3,002	2,958	2,954	2,961	3,016	3,026	2,979	2,939	2,931	2,777	35,515	-468
P賞与		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,034	0	-8	3,026	9
定時賞与		0	0	0	1,208	0	0	804	0	0	3,833	0	0	5,845	
定時職員 計	723	38,456	52,100	35,826	44,873	44,474	40,787	38,982	36,987	39,793	51,408	34,235	41,212	499,133	13,492
退職給与引当	724	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,450	25,000	-4,550
健保正規		2,272	2,353	2,224	2,001	2,000	1,976	1,965	1,972	1,969	1,976	1,975	1,975	24,658	
正規一時金		0	0	0	2,510	0	0	1,259	0	0	3,639	0	0	7,408	そ
非正規		1,856	2,041	1,694	2,266	2,081	1,979	2,189	1,892	1,910	2,821	1,708	2,086	24,523	
雇用保険		621	621	621	605	33	631	621	631	631	572	0	573	6,160	
長期サポート		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96	
企業年金基金		420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	5,040	
障害者雇用		0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	
子育て拠出金		70	73	92	90	137	90	88	121	90	67	141	69	1,128	て
法定福利費	725	5,247	5,516	7,059	7,900	4,679	5,104	6,550	5,044	5,028	9,503	4,252	5,131	71,013	-7,606
共済		17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204	
食事代他		392	891	258	93	188	1,599	538	351	134	199	168	218	5,029	
厚生費	726	409	908	275	110	205	1,616	555	368	151	216	185	235	5,233	-639
派遣人件費	728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		65,141	80,095	63,015	71,787	68,387	66,379	64,853	66,499	69,065	85,229	57,237	65,546	823,233	-14,277
昨年実績合計		66,258	79,618	66,810	73,493	69,650	68,354	67,584	63,819	71,267	84,479	59,653	66,525	837,510	
昨年予算合計		65,947	78,973	67,945	73,774	70,203	68,467	66,402	68,553	71,483	83,736	61,408	68,371	845,262	

2018年度1月組合員出資金動態表

2019年2月5日

400,079,321 円

当月組合員数 26,561 人

身分		加入	増資	減資	脱退	合計
学生	金額	225,000		242,400	160,000	-177,400
	件数	225		242	180	
	在人数					11,256
院生	金額	315,000		358,000	134,000	-177,000
	件数	315		357	119	
	在人数					7,791
教職	金額	20,000		0	25,000	-5,000
	件数	20			25	
	在人数					4,707
生協	金額	15,000			15,000	0
	件数	15			15	
	在人数					695
一般	金額	85,000		0	67,000	18,000
	件数	85		0	49	
	在人数					2,112
合計	金額	660,000	0	600,400	401,000	-341,400
	件数	660	0	599	388	
	在人数					26,561

睡眠組合員復活 4名

高額増資者内訳

100,000円以上 0名

高額減資者内訳

100,000円以上 0名

0

職員貸付12月残高	
北大生協	0
計	0

取扱項目	案件		起案者
報告事項 5	学生総合共済__加入・給付状況報告（1月）		三谷

事故事由				病気		火災共済	
スポーツ事故		ケガ・その他					
アメフト	5	屋外		左顎下腺唾石症	1	自転車盗難	2
ラグビー	2	学内		智歯抜歯	1		
ラクロス	5			ウィルス性髄膜炎	1		
バスケットボール	1			急性骨髄性白血病	1		
バレーボール	2			左精巣摘出	1		
柔道	2			左自然気胸、急性膿胸	1		
サッカー	3	小計	3	眼窩膿瘍	1		
ウェイトトレーニング	1	自転車（車両単独）	2	抑うつ状態、機能性超不良、うつ病	2		
馬術	2	自転車（車両相互）	1	急性腸炎	1		
合気道	1			粉瘤	1		
セパタクロー	1	小計	3	右肩を脱臼	1		
アルティメット	1	父母見舞金	3				
剣道	1						
体操	1						
パルクール	1						
陸上	1						
フットサル	1						
小計	31	小計	3	小計	12	小計	2

● 給付の特徴

【事故】

・北大構内での自転車事故も起こっており、学生より交通事故防止を促す掲示等をしてはどうかという声も寄せられています。

・共済では大学公認団体以外でのスポーツや日常生活においてのケガも給付の対象となる為、幅広く保障の対象としています。

【病気】

・今月も精神障害による入院給付がありました。同じ事由による2回目、3回目の申請もあります。

・今回肩の脱臼という案件がありました。繰り返し起こしているものについては病気扱いによる入院とみなされ給付されています。

【火災】

・火災共済からは自転車盗難で2件の申請がありました。警察へ届け出し、共済金の手続きをすると1ヶ月程で共済金が振り込まれる予定です。自転車に乗れない間は不便を感じているようですが、盗まれた自転車と同等のものを新規で購入いただけます。

給付状況

出力日:2019/1/7

1101北海道大学生生活協同組合

	累計2018年1月～2018年1月		累計2019年1月～2019年1月		
共済事由	件数	金額	件数	金額	
病氣入院	10	2,430,000	11	2,180,000	2,430,000
病氣手術	6	300,000	5	250,000	
事故入院	7	990,000	8	650,000	3,158,000
事故手術	4	200,000	6	350,000	
事故通院・固定具使用	44	1,688,000	46	2,158,000	
後遺障害	0	0	0	0	
死亡	0	0	0	0	
小計（被共済者本人）	51	5,608,000	48	5,588,000	
本人病氣事故計	71	5,608,000	76	5,588,000	
扶養者事故死亡（第1回）	0	0	0	0	
扶養者事故死亡（第2回以降）	0	0	0	0	
父母扶養者死亡	2	400,000	3	600,000	
小計（父母・扶養者）	2	400,000	3	600,000	
母扶養者死亡・扶養者事故死亡計	2	400,000	3	600,000	
火災	0	0	0	0	
臨時費用見舞金	0	0	0	0	
借家人賠償	1	63,720	0	0	
盗難（盗難自転車以外）	1	64,740	0	0	
盗難自転車	1	15,000	2	46,800	
火災（小計）	3	143,460	2	46,800	
火災事故計	3	143,460	2	46,800	
合計	76	6,151,460	81	6,234,800	
遅延損害金（生命）	0	0	0	0	
遅延損害金（火災）	0	0	0	0	

共済事由別給付状況

出力日:2019/01/31

1101 北海道大学生生活協同組合

(1) 病気による入院・手術

本年累計: 138件 前年累計: 147件 前年最終累計: 189件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
感染症	9	10	泌尿器・生殖器系の疾患	8	9
腫瘍(新生物)	5	12	妊娠障害	0	0
免疫・代謝障害	1	0	皮膚・皮下組織の疾患	6	5
血液・造液器の障害	4	0	筋肉・骨格・関節の障害	11	5
精神障害	5	9	先天異常	1	0
急性アルコール中毒	0	1	症状・徴候・診断名不明	5	1
神経・感覚器の障害	6	9	損傷・中毒	4	3
循環器系の疾患	5	3	みなし病気	0	0
呼吸器系の疾患	19	14	その他	0	0
消化器系の疾患	58	57			

(2) 事故による入院・通院・手術

本年累計: 413件 前年累計: 389件 前年最終累計: 484件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
1. 交通事故	23	23	3. スポーツ事故	343	351
自動二輪(運転中)	2	1	ラグビー	46	40
自動二輪(同乗中)	0	0	アメリカンフットボール	37	54
原付(運転中)	0	0	サッカー・フットサル	82	67
自動車(運転中)	0	2	バスケットボール	7	15
自動車(同乗中)	1	4	バレーボール	12	12
自転車運転中	18	15	ハンドボール	2	2
歩行中	2	0	ソフトボール	3	1
車種不明	0	0	バドミントン	2	4
その他(交通事故)	0	1	テニス	15	6
2. 日常生活上の事故	23	39	野球	25	27
海外旅行中の事故	0	1	空手	2	1
留学中の事故	0	0	柔道	6	7
国内旅行中の事故	0	2	拳法	1	1
通学中の事故	4	4	スキー	14	11
野外実習中の事故	0	1	スノーボード	6	9
料理中、食事中の事故	1	2	スケート	0	0
屋内実習中の事故	0	1	体操競技	3	4
実験中、授業中の事故	1	4	その他(スポーツ事故)	80	90
大学祭中の事故	0	0	4. 感染症(一類・二類・三類)	0	0
サークル活動中の事故	0	1	5. その他	0	0
アルバイト中、就業中の事故	1	1			
飲酒がらみの事故	0	0			
暴行、傷害	0	0			
生き物による事故	1	0			
遊び、娯楽、学園祭以外の祭り	0	0			
その他(日常生活上の事故)	15	22			

(3) 後遺障害

本年累計: 0件 前年累計: 0件 前年最終累計: 1件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
1. 交通事故	0	0	飲酒がらみの事故	0	0
自動二輪(運転中)	0	0	暴行、傷害	0	0
自動二輪(同乗中)	0	0	その他(日常生活上の事故)	0	0
原付(運転中)	0	0	3. スポーツ事故	0	0
自動車(運転中)	0	0	ラグビー	0	0
自動車(同乗中)	0	0	柔道	0	0
自転車(運転中)	0	0	レスリング	0	0
歩行中	0	0	スキー	0	0
その他(交通事故)	0	0	スノーボード	0	0
2. 日常生活上の事故	0	0	その他(スポーツ事故)	0	0
海外旅行中の事故	0	0	4. 病気	0	0
留学中の事故	0	0	腫瘍(新生物)	0	0
国内旅行中の事故	0	0	精神障害	0	0
野外実習中の事故	0	0	神経・感覚器の障害	0	0
料理中、食事上の事故	0	0	循環器系の疾患	0	0
屋内実習中の事故	0	0	呼吸器系の疾患	0	0
実験中、授業中の事故	0	0	筋肉・骨格・関節の障害	0	0
大学祭中の事故	0	0	その他の病気	0	0
サークル活動中の事故	0	0	その他(病気)	0	0
アルバイト中、就業中の事故	0	0	5. その他	0	0

(4) 死亡

本年累計: 3件 前年累計: 0件 前年最終累計: 1件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
1. 病気	0	3	歩行中	0	0
感染症	0	0	その他(交通事故)	0	0
腫瘍(新生物)	0	2	3. スポーツ事故	0	0
免疫・代謝障害	0	0	4. 日常生活上の事故	0	0
血液・造液器の障害	0	0	海外旅行中の事故	0	0
精神障害	0	1	留学中の事故	0	0
急性アルコール中毒	0	0	国内旅行中の事故	0	0
神経・感覚器の障害	0	0	通学上の事故	0	0
循環器系の疾患	0	0	野外実習中の事故	0	0
呼吸器系の疾患	0	0	料理中、食事上の事故	0	0
消化器系の疾患	0	0	屋内実習中の事故	0	0
先天異常	0	0	実験中、授業中の事故	0	0
損傷・中毒	0	0	大学祭中の事故	0	0
その他の病気	0	0	サークル活動中の事故	0	0
その他(病気)	0	0	アルバイト中、就業中の事故	0	0
2. 交通事故	0	0	飲酒がらみの事故	0	0
自動二輪(運転中)	0	0	暴行、傷害	0	0
自動二輪(同乗中)	0	0	生き物による事故	0	0
原付(運転中)	0	0	遊び、娯楽、学園祭以外の祭り	0	0
自動車(運転中)	0	0	その他(日常生活上の事故)	0	0
自動車(同乗中)	0	0	5. その他死亡(自殺)	0	0
自転車運転中	0	0	6. その他	0	0

(5) 扶養者事故死亡学業費用

本年累計: 0件 前年累計: 0件 前年最終累計: 0件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
1. 交通事故	0	0	2. スポーツ事故	0	0
自動二輪(運転中)	0	0	3. 日常生活上の事故	0	0
自動二輪(同乗中)	0	0	海外旅行中の事故	0	0
原付(運転中)	0	0	国内旅行中の事故	0	0
自動車(運転中)	0	0	アルバイト中、就業中の事故	0	0
自動車(同乗中)	0	0	飲酒がらみの事故	0	0
自転車(運転中)	0	0	暴行、傷害	0	0
歩行中	0	0	その他(日常生活上の事故)	0	0
その他(交通事故)	0	0	4. その他	0	0

(6) 父母死亡見舞金

本年累計: 13件 前年累計: 10件 前年最終累計: 11件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
1. 病気	10	13	2. 交通事故	0	0
感染症	0	0	自動二輪(運転中)	0	0
腫瘍(新生物)	5	8	自動二輪(同乗中)	0	0
免疫・代謝障害	0	0	原付(運転中)	0	0
血液・造液器の障害	0	0	自動車(運転中)	0	0
精神障害	0	0	自動車(同乗中)	0	0
急性アルコール中毒	0	0	自転車(運転中)	0	0
神経・感覚器の障害	0	0	歩行中	0	0
循環器系の疾患	2	1	その他(交通事故)	0	0
呼吸器系の疾患	0	0	3. スポーツ事故	0	0
消化器系の疾患	3	0	4. 日常生活上の事故	0	0
泌尿器・生殖器系の疾患	0	0	海外旅行中の事故	0	0
皮膚・皮下組織の疾患	0	0	国内旅行中の事故	0	0
筋肉・骨格・関節の障害	0	0	アルバイト中、就業中の事故	0	0
症状・徴候・診断名不明	0	0	飲酒がらみの事故	0	0
損傷・中毒	0	0	暴行、傷害	0	0
その他(病気)	0	4	生き物による事故	0	0
			その他(日常生活上の事故)	0	0
			5. その他	0	0

(7) 火災・借家人賠償

本年累計: 14件 前年累計: 13件 前年最終累計: 18件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
1. 火災	0	3	2. 借家人賠償	13	11
失火	0	1	失火	1	1
凍結による破裂	0	1	空焚き	0	0
給排水設備からの水漏れ	0	0	凍結による破裂	3	4
類焼	0	0	給排水設備からの水漏れ	9	6
放火	0	0	破裂・爆発(凍結以外)	0	0
水漏れ	0	0	その他(借家人賠償)	0	0
落雷	0	0			
爆発	0	0			
その他(火災)	0	1			

(8) 盗難

本年累計: 14件 前年累計: 6件 前年最終累計: 8件

共済事由	前年	本年	共済事由	前年	本年
ピッキング	0	0	強盗	0	0
ドア壊し	0	0	ストーカー	0	0
窓壊し	0	0	駐輪自転車	5	13
未施錠	1	1	その他	0	0

2019年1月給付分 アンケート質問事項まとめ

		事故		病気	
	(1) 共済金請求を知ったツール	件数	分布	件数	分布
ア	加入書類	12	 34%	4	 67%
イ	生協宣伝物	0	0%	1	 17%
ウ	店舗・窓口	2	 6%	0	0%
エ	生協HP	1	 3%	0	0%
オ	家族	7	 20%	1	 17%
カ	友人	12	 34%	0	0%
キ	大学・学生課	1	 3%	0	0%
ク	学生委員の宣伝	0	0%	0	0%
ケ	その他	0	0%	0	0%
	合計	35	100%	6	100%

		事故		病気	
	(2) 請求時ご覧になったもの	件数	分布	件数	分布
ア	契約しおり	14	 50%	4	 50%
イ	請求書案内	10	 36%	2	 25%
ウ	ハンドブック	1	 4%	0	0%
エ	共済HP	3	 11%	2	 25%
	合計	28	100%	8	100%

		事故		病気	
	(3) 申請のしかたはわかりましたか？	件数	分布	件数	分布
ア	良くわかった	12	 41%	3	 50%
イ	だいたいわかった	17	 59%	3	 50%
ウ	わからなかった	0	0%	0	0%
	合計	29	100%	6	100%

事故(2019年1月給付分)

学 年	給 付 時 分	学 部	性 別	発 生 日	初 診 日	部 活	ス ポ ー ツ	日 常 生 活	授 業 中	交 通 事 故	傷 病 名	自 傷 回 数	同 席 回 数	給 付 金 額 千 円	自 宅 外	入 院 (日)	手 術 回 (回)	通 院 (日)	固 定 具 (日)	後 遺 障 害	給 付 額 (円)	治 療 費 総 額 (円)	給 付 額 - 治 療 費 総 額 (円)	掲 載	内 容	たすけあいアンケートのコメント	
3	3	法	男	2018/7/27	2018/7/27					自転車運転中車同相互	顔と上半身、腕にすり傷。歯を3本損傷	1	0	外				17			34,000			◎	大学から帰宅途中、構内で自転車で乗車中に自動車と衝突し負傷した。	学内に交通事故防止を促す掲示等をする。	
	3			2016/6/23	2016/6/23					自転車運転中車同単独	左鎖骨骨折	2	1	外	3						30,000					自転車に乗っていて転倒し骨折した。	
2	2	工	男	2018/6/2	2018/6/4					自転車運転中車同単独	右中指の骨折	1	0	外	3	1	10	4			104,000			○	学校祭のサークル発表へ向かう途中、自転車で走行中、バランスを崩して転倒し骨折した。		
3	3	経	男	2018/11/1	2018/11/3			屋外			右足首の靱帯を伸ばしてしまった	1	1	外			23				46,000	23,240	22,760	○	福岡を旅行中（友人と）滝を見るために山を登っていて足を負傷した。	やはり、どんな運動をする時も念入りに準備運動をすることが大事／みなさまのお陰でしっかり病院に通ってけがを治せました。本当にありがとうございます。	
M1	M1	情	男	2018/5/16	2018/5/17			学内			腰部捻挫	1	2	外			49				98,000	103,000	-5,000	○	書類やパソコンの入ったケースを運んで腰を捻った		
3	2	理	男	2017/6/25	2017/6/27	○	合気道				左膝内側側副靱帯損傷	1	0	外			10	152			172,000			◎	昇給審査受審中に受身をしたとき、左膝を打ちつけ負傷した。		
1	1	総理	男	2018/9/13	2018/9/14	○	アメフト				右肩 右肘関節捻挫	1	0	外			32				64,000			○	アメフトの練習中相手との接触により転倒	ありがとう	
1	1	水	男	2018/11/18	2018/11/20	○	アメフト				左肩関節捻挫	1	0	自宅			30				60,000	20,000	40,000	○	アメフト部の練習中に相手と接触し転倒し負傷した。		
2	1	工	男	2017/8/18	2017/8/18	○	アメフト				右手橈骨茎状突起骨折	1	0	外	6	1	10	38			168,000	243,988	-75,988	○	アメフト部の合宿の練習に先輩のヘルメットが手に強く当たり負傷した。		
	1			2018/10/14	2018/10/16	○	アメフト				左膝骨折	1	0	外			7	38			52,000	30,000	22,000		アメフトの試合中に相手との接触が起きて負傷した。		
	2			2018/9/30	2018/10/1	○	アメフト				頸部を捻挫	1	3	外			40				80,000				アメフトの練習中、相手にタックルをした際に負傷した。		
3	3	薬	男	2018/7/14	2018/7/14	○	アルティメット				右膝の裏側を痛めた	1	1	外			19				38,000	40,000	-2,000	○	サークル活動中に他のプレーヤーと接触して右膝の裏側を痛めた。		
	2			2018/11/6	2018/11/8		ウェイトレーニング				左肩関節捻挫	1	4	外			30				60,000						
2	2	理	男	2018/9/18	2018/9/21	○	剣道				右大腿下部挫傷	1	4	外			19				38,000	19,420	18,580	○	剣道をしていて相手と接触したときにふらつき、ふんばった時に痛めた	スポーツに事故はつきものであるが、このような制度のおかげで治療することができた。ケガをした時には治療について心配が多かったが、この制度のおかげで何とかなり大変感謝している。	
2	2	工	男	2018/5/18	2018/5/19	○	サッカー				右膝靱帯損傷	1	0	外			11	14			36,000	15,080	20,920	○	ボールを蹴り合って右膝靱帯損傷		
2	1	総理	男	2017/7/16	2017/7/18	○	サッカー				右手の月状骨周囲の脱臼 船状骨骨折 靱帯損傷	1	0	外	4	1	9	72			180,000			○	相手と接触し転倒の際に手をついた		
	4			2018/7/4	2018/7/5	○	サッカー				腰部捻挫、右膝関節捻挫	2	1	外			31				62,000				サッカーの部活中転倒、捻って負傷した。	2回目請求。	
2	2	水	男	2018/10/4	2018/10/5	○	柔道				右足関節捻挫	1	0	外			37				74,000	35,090	38,910	○	部活の柔道の練習のランニングをしていてバランスを崩した際に右足首を捻って負傷	ストレッチは毎日入念に行う	
2	2	文	男	2017/10/19	2017/11/10	○	柔道				右ひざの半月板を損傷した	1	1	外			24				48,000	25,000	23,000	○	柔道部の活動中乱取り中に相手と足が絡まってしまい足を捻り負傷した。		
	4			2018/11/11	2018/11/11	○	セバタクロウ				筋挫傷	1	0	外	3						30,000				サークル活動中に着地時に打ち身。左臀部の筋挫傷		
3	2	理	男	2017/11/28	2017/11/28	○	体操				左前腕開放骨折	1	1	外	15	2	16				282,000	605,400	-323,400	○	鉄棒をしていて、遠心力がすぎるとばされて、手で受け身をとってしまい負傷した。	事故などが起こった時は、早めに共済へ連絡しましょう。／ありがとうございます。	
	1			2018/9/25	2018/9/25	○	馬術				第1 2 胸椎骨折	1	0	外			5	66			76,000				部活動中落馬		
2	1	獣	女	2018/2/16	2018/2/23	○	馬術				左手中指の剥離骨折	1	0	外			9				18,000			○	部活動の合宿中、馬に乗っていて落馬した。		
2	2	農	男	2018/12/8	2018/12/12	○	バスケットボール				背中を痛めた	1	0	外			6				12,000	7,400	4,600	○	バスケットボールをしていて人と衝突が起きて背中を痛めた		
M1				2018/3/6	2018/3/6	○	バレーボール				左手首捻挫	1	0	自宅			5	28			38,000						
1	1	教	男	2018/7/10	2018/7/15	○	バレーボール				右膝関節捻挫	1	0	外			35				70,000	113,240	-43,240	○	部活動の練習中（バレーボール）ジャンプした時に筋肉を損傷した		
3	3	水	男	2018/8/15	2018/8/16	○	バレーボール				左外側靱帯完全断裂	1	0	外			9	84			102,000	33,370	68,630	○	バレーボールの試合中、ブロックの際ジャンプし、メンバーの足の上に着地してひねり負傷した。	今回のケガは自宅から離れた場所で発生したので、治療費以外に交通費がかかってしまい、負担増となってしまった。／ケガをしてしまったことで、予想以外の出費でしたが、共済のおかげで助かりました。	
2	2	薬	男	2018/10/9	2018/10/10	○	フットサル				右足関節捻挫	1	4	外			28				56,000	28,000	28,000	○	フットサルの練習中に相手との接触によって右足首が腫れた		
	3			2018/5/26	2018/5/26	○	ラグビー				右アキレス腱断裂	1	2	自宅	8	1	31	44			236,000	190,741	45,259		ラグビーの当たりの練習中に当たろうとして右アキレス腱が切れた。		

3	2	法	男	2018/2/4	2018/2/5	○	ラグビー				左股関節捻挫	1	5	外		29		58,000			○	ラグビー練習中に長時間走った際、伸ばして負傷した。		
2	2	農	女	2018/5/7	2018/5/8	○	ラクロス				右大腿部挫傷	1	0	外		24		48,000			○	朝連中、ラクロスの練習で走っている時に伸ばした		
2	2	農	女	2018/5/30	2018/6/5	○	ラクロス				右足捻挫	1	0	外		5		10,000	7,710	2,290	○	部活のラクロスをしていて砂に足を取られて転んだ		
3	1	水	女	2016/10/1	2016/10/3	○	ラクロス				腰部捻挫	1	0	外		90		180,000	152,000	28,000	○	ラクロスの練習中ディフェンス中の切り返しで腰部捻挫	運動部の中でケガ防止対策や共済金についての理解を促めた方が良い。長期の治療で治療費がかなりかかったので、とても助かります。ありがとうございます。	
4	4	工	男	2018/6/9	2018/6/9	○	ラクロス				右肘靱帯断裂	1	0	外		16	42	74,000	17,330	56,670	○	相手と接触して右肘内側靱帯断裂		
	2			2017/3/3	2017/3/3	○	ラクロス				左膝前十字靱帯損傷	1	1	外	23	1	40	40	400,000				ラクロス部活動中、重心移動の際に負傷した。	
	4			2018/9/22	2018/9/26	○	陸上				右大腿部肉離れ	1	2	自宅		12		24,000				走っていて足を踏み出した時に右足の肉離れ	突然のケガで通院することになりましたが、保障があるので心強いです。	

病気(2019年1月給付分)

学 年 時 給 付 時	学 生 時	学 部	性 別	発 生 日	初 診 日	ス ポ ー ツ	日 常 生 活	交 通 事 故	精 神 疾 患	本 人 死 亡	分 類	傷 病 名	負 傷 回 数	請 求 共 済 金	自 宅 ／ 外	入 院 (日)	手 術 (回)	給 付 額 (円)	治 療 費 総 額 (円)	給 付 額 - 治 療 費 総 額 (円)	掲 載	内 容	たすけあいアンケートのコメント
	1			2016/1/1	2017/4/5		○				消化器系の疾患	左顎下腺唾石症	1	0	外	4	1	90,000	105,400	-15,400	×	左顎下腺唾石症	
	2	1	獣	男	2017/5/1	2018/4/15		○			消化器系の疾患	智歯抜歯	1	0	外	3		30,000	125,000	-95,000	○	智歯周囲炎で歯茎に腫れと痛みが出た。	
	M1			2018/11/13	2018/11/18		○				感染症	ウィルス性髄膜炎	1	0	外	11		110,000				頭痛、吐き気	
	4			2018/6/1	2018/7/13		○				腫瘍（新生物）	急性骨髄性白血病	1	2	外	102		1,020,000				38度以上の発熱が続いていた	
	1			2018/11/4	2018/11/5		○				泌尿器・生殖器系の疾患	左精巣摘出	1	0	外	3	1	80,000				左精巣摘出	
	1			2018/12/16	2018/12/17		○				呼吸器系の疾患	左自然気胸、急性膿胸	1	0	自宅	13	1	180,000	505,000	-325,000	×	背中痛で整形外科にてレントゲン→医師より下記病院にすぐに行くように紹介→札幌南三条病院に即入院	通常授業期間から冬休みにかけての時期に発症／神戸から札幌に進学し、札幌の病院に入院した為、基本的には本人が全て医師と話し、決めていた。都心の病院であったため親の往復も旅費や飛行機の欠航等を除けば問題なかった。ただ、こどもが持参した入院時の持ち物で着替え、割り箸等諸々のものが不足し困っていた。／共に助け合うという言葉通り、今回はみなさま
	1			2019/1/11	2019/1/11		○				神経・感覚器の障害 眼窩の障害	眼窩膿瘍	1	0	自宅	6		60,000	100,000	-40,000	×	学校に居る時、突然目が痛くなった。	学校に居る時、突然目が痛くなった。
	4			2018/10/20	2018/10/27				○		精神障害 躁うつ病	抑うつ状態、機能性超不良、うつ病	2	2	外	25		250,000				抑うつ状態から食事がとれなくなり腸の不調となった。	2回目請求。
	4			2018/10/20	2018/10/27				○		精神障害 躁うつ病	抑うつ状態、機能性超不良、うつ病	3	3	外	42		420,000				抑うつ状態から食事がとれなくなり腸の不調となった。	
	2			2018/11/2	2018/11/2		○				腸の血行不全	急性腸炎	1	0	外	5		50,000				体のだるさと腹痛を発症した。	
	3			2018/2/1	2018/8/22		○				皮膚・皮下組織の障害	粉瘤	1	5	外	1		50,000	16,500	33,500	×	皮膚にこぶのようなものができて、だんだん大きくなっていった。	おかげさまで健康的な大学生活を送れています。ありがとうございます。
	2	2	工	男	2018/5/17	2018/5/17		○			筋肉・骨格・関節の障害	右肩を脱臼	1	2	外	4	1	90,000	312,000	-222,000	◎	厚別競技場でアメフトの試合中に相手にタックルされて右肩を脱臼した。	

火災(2019年1月給付分)

学 年 時 給 付 時	学 生 時	学 部	性 別	発 生 日	事 由	盗 難	給 付 共 済 金	火災共済 給付金 (円)	学生賠償責任 保険 支払額 (円)	給 付 ・ 支 払 総 額 (円)	掲 載	発 生 場 所	内 容	全 国 の 皆 さ ん へ コ メ ン ト
	3			2018/10/23	駐輪自転車 自転車のみ	○	0	25,000		25,000		駐輪場	マンションに設置されているシャッターで区切られた屋内にある駐輪場に施錠し駐輪していた自転車が盗まれた。	部屋内で管理しておけば良かった。／精神の乱れ／ありがとうございます／
	3			2018/8/7	駐輪自転車 自転車のみ	○	0	21,800		21,800		駐輪場	旅行から帰宅すると施錠して駐輪していた自転車が盗まれていた。	ロックを二重にすべきだった。／移動が制限される。／自転車の盗難には気を付けた。／

扶養者死亡保障保険(2019年1月給付分)

学 年 時 給 付 時	性 別	死 亡 日	扶 養 者	事 由	傷 病 名	共 済 金 請 求 額	自 宅 ／ 外	生 命	火 災	学 賠	扶 保	給 付 額
		2018/11/25	父	病氣	直腸がん	0	外	A F	KW	1 6 H	1 6 W	200,000
		2018/3/26	父	病氣	乳がん	0	外	A F	KW	1 4 H	1 4 W	200,000
		2019/1/9	父	自殺		0	外	A F	KW	1 6 H		200,000

1101 北海道大学生生活協同組合

保有契約件数(短期共済)

卒業予定年	AF	A	NA	MF	M	NM	生命中計	KW	火災中計	合計
2018年	2309	3	8	0	0	19	2339	2447	2447	4786
2019年	2736	3	8	0	0	19	2766	2735	2735	5501
2020年	2140	1	2	0	0	5	2148	1903	1903	4051
2021年	1710	1	3	0	0	2	1716	1569	1569	3285
2022年	133	0	0	0	0	0	133	114	114	247
2023年	104	0	0	0	0	0	104	94	94	198
2024年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2025年以降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9132	8	21	0	0	45	9206	8862	8862	18068
前月差異	-6	1	0	0	0	0	-5	2	2	-3

保有契約件数(保険商品)

契約残年数	11H	14H	16H	学賠中計	12W	14W	16W	就保中計	合計
1	120	1671	1595	3386	46	671	628	1345	4731
2	0	143	3211	3354	0	60	1230	1290	4644
3	0	127	2015	2142	0	45	805	850	2992
4	0	0	1943	1943	0	0	785	785	2728
5	0	0	145	145	0	0	62	62	207
6	0	0	121	121	0	0	53	53	174
合計	120	1941	9030	11091	46	776	3563	4385	15476
前月差異	0	-2	26	24	0	-1	-1	-2	22

取扱項目	案件	起案者
報告事項 6	人事・総務・理事会報告	岸本

1. 人事関係

(1) 2019 年度賃金・夏季一時金・越冬手当および労働条件に関する要望書への対応

2 月 14 日（木）生協労組団交、妥結

2 月 18 日（月）パート労組団交、妥結

2. 総務関係

(1) 障害者雇用について

・2018 年度障がい者就業体験実習 障がい者対象インターンシップ「報告会」ご案内

2 月 18 日（月）14：00-15：40

会場：WEST19 講堂（大通西 19 丁目）

理事会室 本間が参加予定

障害者トライアル雇用事業について

障害者雇用の経験が少ない事業主は、障害者に関する知識や経験に乏しいことから、障害者雇用に取り組む意欲があっても雇い入れる事に躊躇する面もあります。

また、障害者の側でも「どのような職種が向いているかわからない」「仕事に耐えられるだろうか」といった不安を感じている場合もあります。

そこで、障害者を短期の試行雇用（トライアル雇用）の形で受け入れることにより、事業主の障害者雇用のきっかけをつくり、常用雇用への移行を促進することを目的とする制度です。

【期間】トライアル雇用の期間は、原則として 3 ヶ月間（精神障害者は 6 ヶ月間）で、ハローワークまたは民間の職業紹介事業者等の紹介により、事業主と対象障害者との間で有期雇用契約を締結します。

トライアル雇用期間中の労働条件は、労働基準法などの労働関係法に基づき定められなければなりません。

【助成金】トライアル雇用を実施した事業主に対して、トライアル雇用終了者 1 人につき、月額最大 4 万円（精神障害者は月給月額 8 万円または、4 万円）が支給されます。

【問い合わせ先】北海道労働局、ハローワーク

(2) 年次有給休暇の時季指定義務について

～資料別紙参照

年次有給取得の指定義務が義務付けられます。

現在北大生協ではリフレッシュ休暇、指定休日、有給などがあり、現状ではリフレッシュ&指定休の年間取得計画を 3 月に提出し年間取得をする取り組みをした上で、ご自身の有給を別途取得していただいておりますが、実際は部署にもよりますが指定休日の取得が困難なことから、有休の代わりに指定休日を半休や有休の代わりに取得し、本来の有給が取得しきれていないという実態があります。

今後の年次有給時季指定を進めるにあたり、取得の考え方などを経営メンバーで検討します。

3. 大学生協連・北海道ブロック・他団体関係

(1) 北海道生協連主催 学習会について

金子勝 講演会（道生協連・JA グループ北海道・労金 3 組合が主催）

2月4日 14：00～16：00 ホテル札幌ガーデンパレス

参加者：岸本専務、軸丸さん、本間さん、出野 Mg、稲積店長、川上店長

全体での参加者は 482 名（うち一般参加 200 名）

(2) 東京ブロック総武エリア 北大生協施設見学&講演

2月2日（土）10:00～13:00

参加者：東京ブロック総武エリア 専務理事 16 名

講演内容 大学と生協との関係、大学からの要求への対応

大学内にセイコーマートができたことによる影響、対策

キャンパス内における北大生協各店舗の役割と配置

新学期活動の概要

入生センターや自宅生入学準備説明会の成功のために工夫している点

取り組み内容や組み立て等

その他、北大らしい取り組み等

4. 総代会準備

(1) 第 1 回 S-pro 会議

別紙参照ください

2019 年 2 月 8 日

大学生協北海道統一労働組合
執行委員長 本間 寛

大学生協事業連合 北海道地区
常務理事 須田 正樹 (印略)
北海道大学生生活協同組合
専務理事 岸本 敬一 (印略)

2019 年度賃金・夏期一時金・越冬手当および労働条件に関する要求書への回答

貴労組の認識通り大学生協のとりまく事業環境はさらに厳しい状況になっています。国立大(北海道)でも自販機入札会員が1大学増え、小樽商大を除く国立大学の自販機が入札対象となりました。また入札更新の北大でも手数料率がアップするなど、以前から継続している国立大学の自己収入確保の動きは、大学生協の経営に今後も大きな影響を与えることになる事を改めて認識しておく必要があります。

昨年11月に6つの事業連合が合併し新たな事業連合組織が発足しました。今後ますます厳しくなる事業環境に備え連帯組織を再編することで、仕入機能の集中と効率化を目指し、一方で地域組織はこれまで以上に会員に向き合い支援機能を強化すること、を方針として掲げています。

広域本部での商品調達・商品造成・企画提案などは本年3月から本格稼働となっており、目に見える形での効果や成果についてはこれからとなります。一つ一つ課題や調整事項などを解決していきながら、早い段階で会員に貢献できる支援機能を確立することを目指しています。

「生活実感アンケート」には、皆さんの実感が見て取れます。展望があり働き続ける方の割合が引き続き増加しているのは一定評価できると思われます。しかし一方で、「展望がもてない」理由で、”理事会の政策“を選んだ職員が減少したとは言え、3割以上も占めていることを真摯に受け止める必要があると考えます。

「生活実感アンケート」の実施と分析、職場集会の開催、要求決定大会と、原則的な過程を踏んで要求を提出された貴労組の活動を評価し、下記回答といたします。

ご検討をどうぞ、よろしくお願いします。

記

【月例賃金について】

要求1：正規職員・シニア職員の年齢給を一律1万上げること

回答1：正規職員・シニア職員ともに1,000円のベースアップとします。

大学生協の経営構造は非常に厳しい状態になっています。特に北海道の大学生協をリードする役割を持っている北大生協が事業環境の変化（大学の増収対策による学内へのコンビニ出店、自販機入札、大学施設使用料増額など）の他、年々上がり続ける人件費や設備投資額などから安定して利益を生み出し、将来に向けての投資などを含め計画できる見通しさえ持てない厳しい状況になっており、経営構造の悪化に拍車をかけています。

賃金制度も昨年変更したばかりで検証が必要だと考えられますので、抜本的な構造の変更は行えません。

よって、年齢給の 1,000 円のベースアップを基本とし、チャレンジシートによる号俸改善を図りたいと考えます。

【一時金及び燃料手当について】

要求 1：正規・シニア職員の夏期一時金として、基準内賃金の 1.5 か月分を 6 月 10 日（月）に支給すること

要求 2：正規・シニア職員の越冬手当について、基準内賃金の 0.5 か月分を 9 月 10 日（火）に支給すること

回答 1：正規職員の夏期一時金は、基準内賃金の 1.5 か月分を 6 月 10 日（金）に支給します。

（正規 昨年：1.5 か月 一昨年：1.5 か月）

シニア職員の夏季一時金は、0.6 か月分を 6 月 10 日（月）に支給します。

（シニア 昨年：0.6 か月 一昨年：0.6 か月）

回答 2：正規職員の越冬手当について、基準内賃金の 0.5 か月分を 9 月 10 日（月）に支給します。

シニア職員の越冬手当について、基準内賃金の 0.4 か月分を 9 月 10 日（月）に支給します。

（正規 昨年 0.5 か月 一昨年 0.5 か月、シニア 昨年 0.4 か月 一昨年 0.4 か月）

【職場統一要求及び確認】○要求 ●回答

○ハラスメントについての学習会の開催について（継続）

●事業連合地区協議会、各部門会議（購買・食堂店長会議など）での学習会を 2019 年度計画します。そのうえで、各職場の部会などで正規・パート職員交えた学習会を提起します。

○震災など緊急時の対応について（継続）

●北大生協でのマニュアル

震災後、所属長を集め災害時対応についての学習会を開催し、その後、緊急時マニュアルの店舗別マニュアル作成、全店舗ヒアリングと対応を行い、所属長への職員不在時対応についてのマニュアル掲示等を進めてきておりますが、実際にその後の対応についてどのようになっているか、実際に起きた場合の全体への周知をどのようにするかなどまではできておりません。

早急にあらゆる潜在リスクに起因して発生する混乱（地震の場合の震度による出勤、自宅待機のルール、電気、ガス、上下水道の供給停止の混乱、通信の混乱、業務システムの停止による混

乱、取引先の物流混乱、公共交通機関の混乱による職員の混乱、組合員への情報提供対応等々、最悪の事態を想定し、事前対応による出来る限りの対応策含め危機管理マニュアル（計画書）なるものを作り上げます。

また、昨年9月の連合理事会においては「胆振東部地震への対応の経験から、今後、今回と同様それ以上の緊急災害の発生に備え、道内会員生協、北海道地区として具体的に強化する点や方向性について連合常務会で協議し、理事会に報告する」ことを確認しています。但し、このことを進めるためには、人的補強（専任担当の配置）が必須と考えます。2019年度人事において、専任担当（もしくは兼任）の配置を検討します。

○全道の正規職員の投下労働時間について（継続）

●19年度の予算作成においての大きな変更点などはありませんが、各会員において、新学期時期を中心に労働時間を見直すよう検討しています。年間の変形労働時間制のより高いレベルでの運用によって、実質的な労働時間の差異を縮めていく予定です。また労働基準法が改正され4月より年10日以上年の有給が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務化となります。北大生協においてはリフレッシュ休暇の他、土曜して休日等を含め年度スタート時に年間計画をたて取得推進を図っておりますが、今回の改正に伴いさらに働き方の見直し含め各休暇の取得促進の他、営業時間・日程の見直しも行うとともに、残業時間の削減も併せて進めてまいります。連合においても部門ごとでの労働時間の見直しを検討します。

○正規の配置適正や今後の人事についてどのように考えているか教えてください。

●2018年9月連合理事会において、①将来各分野に必要な店長数の提示 ②店長や専務理事のキャリアパスの提示 ③人事と運営の原則について の3点について2019年1月の地区協議会へ答申することを目的として「今後の人の育成と人事のあり方プロジェクト」の発足が確認されました。そして、計7回の議論を経て2019年2月地区協議会に答申が出されました。今後地区協議会としてこの答申の具体化に向けた提案を行っていく予定ですが、まずは地区協議会として受理した“答申”を共有します。特に新人育成については、同部門に3年勤続することについては、見直しを提案しています。店長となるスピードがこれまで以上に早まっています。

【職場要求及び確認 各会員別】 ○要求 ●回答

<北大生協>

○中央食堂事務室へ冷暖房エアコンを設置してください。

冬は無人、暖房なしの場合3度くらいまで温度が下がり、夏は30度以上となる環境です。職員が体調を崩しお休みする事例も発生いたしました。ご対応お願いいたします。

●昨年、パート労働組合より要求を受け中央食堂の休憩室（更衣室）の冷暖房設備の改善を行いました。同時に事務所も出来ないかとの所属長要望も聞いており衛生委員会でも点検をさせていただき、経営状況などからその時点での設備改善はできませんでしたが、2019年度の優先事項として改善するよう計画していきます。

<酪農学園大学生協>

- ルームガイドの常勤職員の配置について案をお聞かせください。
- 赤字の改善に向けて、具体的な解決案をお聞かせください。
- 会議の時間や内容について改善を希望いたします。

<札幌学院大学生協>

- 人手不足から、シフトがうまく組めなく、長時間労働が常態化しています。
各店長判断では、人員の採用をしたことにより採算が悪くなるのを気にして、結局今いる人数で残業をしています。専務の立場から、長時間労働が発生しない適正な人員配置・シフトについて、実現可能なモデルを示していただけませんか。

2019 年 2 月 8 日

大学生協北海道統一労働組合
執行委員長 本間 寛 殿

大学生協事業連合 北海道地区
常務理事 須田 正樹 (印略)
北海道大学生生活協同組合
専務理事 岸本 敬一 (印略)

2019 年度賃金・夏期一時金・越冬手当および労働条件に関する要求書への回答

貴労組の認識通り大学生協のとりまく事業環境はさらに厳しい状況になっています。国立大（北海道）でも自販機入札会員が 1 大学増え、小樽商大を除く国立大学の自販機が入札対象となりました。また入札更新の北大でも手数料率がアップするなど、以前から継続している国立大学の自己収入確保の動きは、大学生協の経営に今後も大きな影響を与えることになる事を改めて認識しておく必要があります。

昨年 11 月に 6 つの事業連合が合併し新たな事業連合組織が発足しました。今後ますます厳しくなる事業環境に備え連帯組織を再編することで、仕入機能の集中と効率化を目指し、一方で地域組織はこれまで以上に会員に向き合い支援機能を強化すること、を方針として掲げています。

広域本部での商品調達・商品造成・企画提案などは本年 3 月から本格稼働となっており、目に見える形での効果や成果についてはこれからとなります。一つ一つ課題や調整事項などを解決していきながら、早い段階で会員に貢献できる支援機能を確立することを目指しています。

「生活実感アンケート」には、皆さんの実感が見て取れます。展望があり働き続ける方の割合が引き続き増加しているのは一定評価できると思われます。しかし一方で、「展望がもてない」理由で、” 理事会の政策 “を選んだ職員が減少したとは言え、3 割以上も占めていることを真摯に受け止める必要があると考えます。

「生活実感アンケート」の実施と分析、職場集会の開催、要求決定大会と、原則的な過程を踏んで要求を提出された貴労組の活動を評価し、下記回答といたします。

ご検討をどうぞ、よろしくお願いします。

記

【月例賃金について】

要求 1：正規職員・シニア職員の年齢給を一律 1 万上げること

回答 1：正規職員・シニア職員ともに 1,000 円のベースアップとします。

大学生協の経営構造は非常に厳しい状態になっています。特に北海道の大学生協をリードする役割を持っている北大生協が事業環境の変化（大学の増収対策による学内へのコンビニ出店、自販機入札、大学施設使用料増額など）の他、年々上がり続ける人件費や設備投資額などから安定して利益を生み出し、将来に向けての投資などを含め計画できる見通しさえ持てない厳しい状況になっており、経営構造の悪化に拍車をかけています。

賃金制度も昨年変更したばかりで検証が必要だと考えられますので、抜本的な構造の変更は行えません。

よって、年齢給の 1,000 円のベースアップを基本とし、チャレンジシートによる号俸改善を図りたいと考えます。

【一時金及び燃料手当について】

要求 1：正規・シニア職員の夏期一時金として、基準内賃金の 1.5 か月分を 6 月 10 日（月）に支給すること

要求 2：正規・シニア職員の越冬手当について、基準内賃金の 0.5 か月分を 9 月 10 日（火）に支給すること

回答 1：正規職員の夏期一時金は、基準内賃金の 1.5 か月分を 6 月 10 日（金）に支給します。

シニア職員の夏季一時金は、0.6 ヶ月分を 6 月 10 日（月）に支給します。

（正規：昨年 1.5 か月　一昨年 1.5 か月、シニア：昨年 0.6 か月　一昨年 0.6 か月）

回答 2：正規職員の越冬手当について、基準内賃金の 0.5 ヶ月分を 9 月 10 日（月）に支給します。

シニア職員の越冬手当について、基準内賃金の 0.4 ヶ月分を 9 月 10 日（月）に支給します。

（正規：昨年 0.5 か月　一昨年 0.5 か月、シニア：昨年 0.4 か月　一昨年 0.4 か月）

【職場統一要求及び確認】○要求　●回答

○ハラスメントについての学習会の開催について（継続）

●事業連合地区協議会、各部門会議（購買・食堂店長会議など）での学習会を 2019 年度計画します。そのうえで、各職場の部会などで正規・パート職員交えた学習会を提起します。

○震災など緊急時の対応について（継続）

●震災後、所属長を集め災害時対応についての学習会を開催し、その後、緊急時マニュアルの店舗別マニュアル作成、全店舗ヒアリングと対応を行い、所属長への職員不在時対応についてのマニュアル掲示等を進めてきておりますが、実際にその後の対応についてどのようになっているか、実際に起きた場合の全体への周知をどのようにするかなどまではできておりません。早急にあらゆる潜在リスクに起因して発生する混乱（地震の場合の震度による出勤、自宅待機のルール、電気、ガス、上下水道の供給停止の混乱、通信の混乱、業務システムの停止による混乱、取引先の物流混乱、公共交通機関の混乱による職員の混乱、組合員への情報提供対応等々、最悪の事態を想定し、事前対応による出来る限りの対応策含め危機管理マニュアル（計画書）

なるものを作り上げます。

また、昨年 9 月の連合理事会においては「胆振東部地震への対応の経験から、今後、今回と同様それ以上の緊急災害の発生に備え、道内会員生協、北海道地区として具体的に強化する点や方向性について連合常務会で協議し、理事会に報告する」ことを確認しています。但し、このことを進めるためには、人的補強（専任担当の配置）が必須と考えます。2019 年度人事において、専任担当（もしくは兼任）の配置を検討します。

○全道の正規職員の投下労働時間について（継続）

- 19 年度の予算作成においての大きな変更点などはありませんが、各会員において、新学期時期を中心に労働時間を見直すよう検討しています。年間の変形労働時間制のより高いレベルでの運用によって、実質的な労働時間の差異を縮めていく予定です。また労働基準法が改正され 4 月より年 10 日以上の子次有給が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年 5 日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務化となります。北大生協においてはリフレッシュ休暇の他、土曜して休日等含め年度スタート時に年間計画をたて取得推進を図っておりますが、今回の改正に伴いさらに働き方の見直し含め各休暇の取得促進の他、営業時間・日程の見直しも行うとともに、残業時間の削減も併せて進めてまいります。連合においても部門ごとでの労働時間の見直しを検討します。

○正規の配置適正や今後の人事についてどのように考えているか教えてください。

- 2018 年 9 月連合理事会において、①将来各分野で必要な店長数の提示 ②店長や専務理事のキャリアパスの提示 ③人事と運営の原則について の 3 点について 2019 年 1 月の地区協議会へ答申することを目的として「今後の人の育成と人事のあり方プロジェクト」の発足が確認されました。そして、計 7 回の議論を経て 2019 年 2 月地区協議会に答申が出されました。今後地区協議会としてこの答申の具体化に向けた提案を行っていく予定ですが、まずは地区協議会として受理した“答申”を共有します。
特に新人育成については、同部門に 3 年勤続することについては、見直しを提案しています。店長となるスピードがこれまで以上に早まっています。

【職場要求及び確認 各会員別】 ○要求 ●回答

<北大生協>

○中央食堂事務室へ冷暖房エアコンを設置してください。

冬は無人、暖房なしの場合 3 度くらいまで温度が下がり、夏は 30 度以上となる環境です。職員が体調を崩しお休みする事例も発生いたしました。ご対応お願いいたします。

●昨年、パート労働組合より要求を受け中央食堂の休憩室（更衣室）の冷暖房設備の改善を行いました。同時に事務所も出来ないかとの所属長要望も聞いており衛生委員会でも点検をさせていただき、経営状況などからその時点での設備改善はできませんでしたが、2019 年度の優先事項として改善するよう計画していきます。

<酪農学園大学生協>

○ルームガイドの常勤職員の配置について案をお聞かせください。

●12 月に職員の退職があり、補充が出来ておりません。全体の人件費を抑えるために、新規採用をする前に他部署との調整をすすめているため時間がかかっておりました。2 月中には調整の結論を持ち、3 月中には補充するよういたします。

●一方で少し長期的には、現在の正規職員店長の後任をどうするか決めなければなりません、今年度中に方向性を決めて必要な要請または募集を行いたいと思います。

○赤字の改善に向けて、具体的な解決案をお聞かせください。

●予算作成の中で店長の皆様にもお話しした通りですが、方向性としては供給・客数アップです。一人の組合員にどうやって何度も利用してもらえるかを考え、アイデアをたくさん出して今年度はいろんなことをとにかくやってみる年度にします。学生委員会とのコラボや広報宣伝の強化も柱になります。いろんなことに取り組む中で「これは次年度も継続して伸ばしていける芽だ」というものを見つけていきたいと思います。またそのためにすべての職員が頑張っていけるように情報共有や環境を整えていきたいと思います。

○会議の時間や内容について改善を希望いたします。

●店長会議のことかと思いますが、時間はおおよそ 2 時間をメドに行いたいと思います。内容については、どんな会議の持ち方が良いのかを具体的に意見交流させていただいて、新学期明けをメドに会議のつくりを変えていければと思います。

<札幌学院大学生協>

○人手不足から、シフトがうまく組めなく、長時間労働が常態化しています。

各店長判断では、人員の採用をしたことにより採算が悪くなるのを気にして、結局今いる人数で残業をしています。専務の立場から、長時間労働が発生しない適正な人員配置・シフトについて、実現可能なモデルを示していただけませんか。

- 供給高 4 億の規模における適正な正規職員数を何名とするかについては総合的な判断を踏まえつつも凡そ 1.5～2 億で 1 名というのが現実的な適正数と考えます。その観点から見れば現在の正規職員数 3 という数は適正と考えます

そのうえで、札幌学院大学生協はいまだ 4500 万円もの累積赤字を抱え、連帯組織からの支援を受けながら運営を行っている組織です(具体的には正規職員 1 名の人件費 50%を連帯組織から、加えて共同運営費 50%減免という支援をいただいています)。要求の主旨は“正規職員増”ということですが、まずは累積赤字の解消が優先課題と考えます。

要求書をシンプルに読み解くと“人手不足”により“シフトが組めない”ため“長時間労働”になっていると読めます。もしそうであれば必要に応じてパート・アルバイトの増員について起案願います(次年度予算の中で早急に検討します)。その上で正規職員不在の店舗運営をどう実現させるかについて検討を開始しましょう。昨今“働き方”の多様化が進む中で、今回の要求を解決しうる勤務を望んでいる人がいるのかいないのか、まずはそこのリサーチが必要です。また、それが現在のスタッフで実現可能かどうかについても見極める必要があると思います。いずれにしても「実現可能なモデル」は 1 つとは限りません。どの道を選ぶかについては経営会議等の場で検討を重ねていきたいと考えます。

<付属資料>

- ① 今後の人の育成と人事のあり方プロジェクト答申
- ② 2018 年度事業連合決算見通し及び 2019 年度予算
- ③ 2019 年 1 月会員損益主要項目

札幌市委託事業「障がい者雇用推進のための啓発・体験事業」

2019年1月30日

2018年度障がい者就業体験実習

障がい者対象インターンシップ

ステップアップする人を
応援します！

「報告会」のご案内

障がい者問題委員会では、「障がい者就業体験事業」を実施しています。これは障がい者雇用に関心のある企業と、就業経験の少ない障がい者が、体験実習を行う事業です。今年度は現在8社、13名が実習し、就職への第一歩を踏み出しています。

「報告会」では、今年実習を経験された方々から気づきや学びをご報告いただきます。多くの皆さまに「障がい者の就労」について考えるきっかけになれば幸いです。ぜひともお誘い合わせの上ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

日 時：**2月18日** (月)**14:00~15:40**会 場：**WEST 19 講堂**

(札幌市中央区大通西19丁目)

<地下鉄東西線西18丁目駅1番出口の前>

☆お車でお越しの方は近隣のパーキングをご利用ください。

参加費：**無料**

<スケジュール>

14:00 開会挨拶

14:05 実施報告

14:15 **報告会**

本事業を体験された実習生の皆さん
や企業の担当者からのご報告を予定
しております！

15:40 閉会

<2月14日 申込締め切り>

【運営・お問い合わせ先】

一般社団法人 北海道中小企業家同友会 札幌支部 障がい者問題委員会

札幌市東区北6条東4丁目 TEL: 011-702-3000 FAX: 011-702-9573 (担当: 大宮)

障がい者就業体験事業「報告会」(2/18)参加申込書

返信先:FAX **011-702-9573**☐ 参加します(名)

会社(所属)名

TEL

FAX

役職	氏名	役職	氏名
役職	氏名	役職	氏名

	作業名	内容	身体的負担	理解判断	コミュニケーション	資格スキル	時間頻度	施設設備	適否	予定配属先	施設状況
1	ポスターPOP作成	ポスターPOP制作	負担小	必要	必要	イラストレータ操作	4H×5日	PC使用	適	北部購買2F	エレベータ無し
2	資料作成補助	会議資料作成補助	負担小	必要	必要	PC操作	4H×5日	PC使用	適	北部購買2F	エレベータ無し
3	清掃作業	清掃作業	普通	不要	不要	不要	4H×5日		適	北部購買2F	エレベータ無し
4	ルームガイド 重要事項説明	重要事項説明	負担小	必要	必要	宅建士	6H×5日		適	クラーク会館2F	スロープあり
5	配送	研究室へ商品届	普通	必要	必要	普通免許	6H×5日	軽自動車	適	購買外壳1F	
6	旅行受付	接客対応	普通	必要	必要	国内・海外旅行免許	6H×5日	PC使用	適	トラベル2F	エレベータ無し
7	総務	PC入力	普通	必要	必要		6H×5日	PC使用	適	総務会館店3F	エレベータ
8											

1,2の組み合わせあり

- 労働基準法では、労働者の心身のリフレッシュを図ることを目的として、一定の要件を満たす労働者に対し、毎年一定日数の年次有給休暇を与えることを規定しています。（※）

（※）年次有給休暇（労働基準法第39条）

雇入れの日から起算して6か月継続勤務し、全労働日の8割以上出勤した労働者（管理監督者を含む）には、年10日の有給休暇が付与されます。

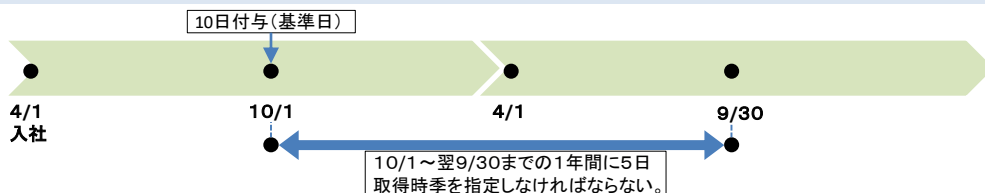
- 継続勤務6年6か月で年20日が限度となります。
- パートタイム労働者など所定労働日数が少ない労働者については、所定労働日数に応じた日数の有給休暇が比例付与されます。

- 年次有給休暇は、原則として、労働者が請求する時季に与えることとされていますが、職場への配慮やためらい等の理由から取得率が低調な現状にあり、年次有給休暇の取得促進が課題となっています。
- このため、今般、労働基準法が改正され、**2019（平成31）年4月から、全ての企業において、年10日以上年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが必要**となりました。

時季指定義務のポイント



〔例〕4/1入社の場合〕



- ◆対象者は、年次有給休暇が**10日以上付与される労働者（管理監督者を含む）**に限ります。
- ◆労働者ごとに、年次有給休暇を**付与した日（基準日）から1年以内に5日**について、使用者が取得時季を指定して与える必要があります。
- ◆年次有給休暇を5日以上取得済みの労働者に対しては、使用者による時季指定は不要です。

（※）労働者が自ら申し出て取得した日数や、労使協定で取得時季を定めて与えた日数（計画的付与）については、5日から控除することができます。

- | | | |
|-----|-------------------------|---------------|
| （例） | ➢ 労働者が自ら5日取得した場合 | ⇒ 使用者の時季指定は不要 |
| | ➢ 労働者が自ら3日取得＋計画的付与2日の場合 | ⇒ “ ” |
| | ➢ 労働者が自ら3日取得した場合 | ⇒ 使用者は2日を時季指定 |
| | ➢ 計画的付与で2日取得した場合 | ⇒ “ 3日 “ |



- ・使用者は、時季指定に当たっては、労働者の意見を聴取し、その意見を尊重するよう努めなければなりません。
- ・使用者は、労働者ごとに年次有給休暇管理簿を作成し、3年間保存しなければなりません。

法定の基準日（雇入れの日から半年後）**104**日前に年次有給休暇を付与する場合などの時季指定義務の取扱いについては、裏面を参照してください。

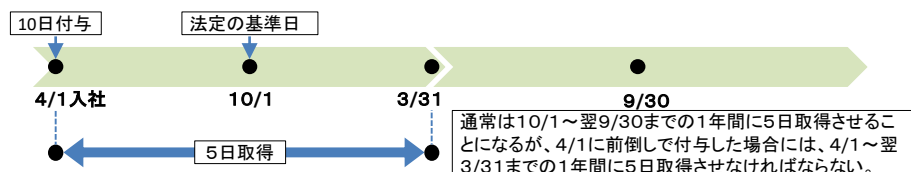
※法定の基準日と異なり

- 入社日から年次有給休暇を付与する場合や、
- 全社的に年次有給休暇の起算日を合わせるために2年目以降に付与日を変える場合などについては、以下のような取扱いとなります。

①法定の基準日（雇入れの日から半年後）より前に10日以上年次有給休暇を付与する場合

⇒使用者は付与した日から1年以内に5日指定して取得させなければなりません。

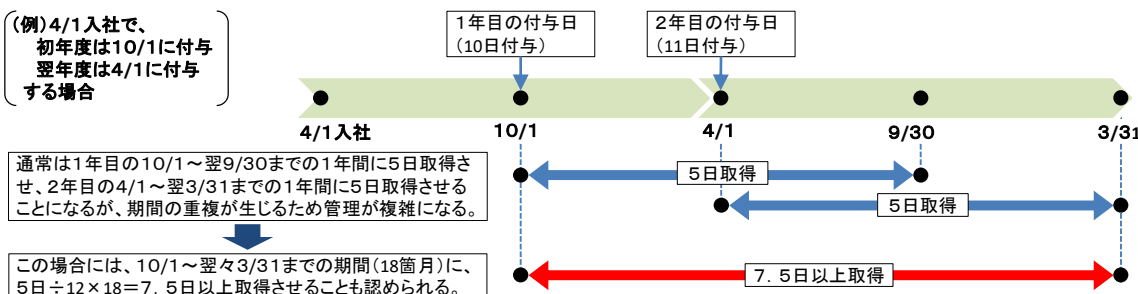
〔例〕4/1入社時に10日付与する場合



②入社した年と翌年で年次有給休暇の付与日が異なるため、5日の指定義務がかかる1年間の期間に重複が生じる場合（全社的に起算日を合わせるために入社2年目以降の社員への付与日を統一する場合など）

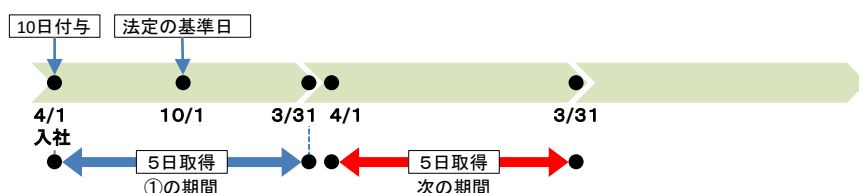
⇒重複が生じるそれぞれの期間を通じた期間（前の期間の始期から後の期間の終期までの期間）の長さに応じた日数（比例按分した日数）を、当該期間に取得させることも認められます。

〔例〕4/1入社で、初年度は10/1に付与翌年度は4/1に付与する場合

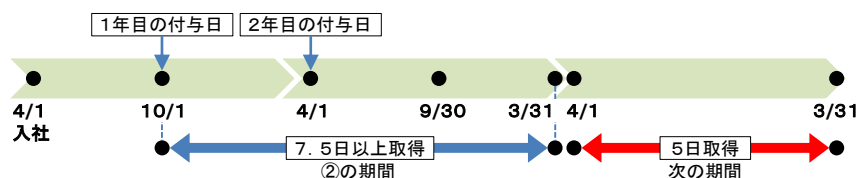


③上記①・②の期間経過後は当該期間の最終日の翌日からの1年間に5日の指定義務がかかります。

〔例〕上記①の場合



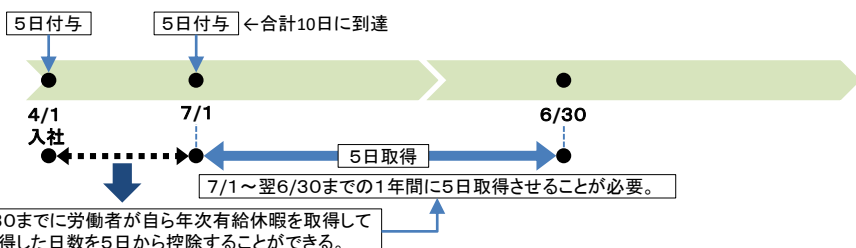
〔例〕上記②の場合



④10日のうち一部を法定の基準日より前倒しで付与し、労働者が自ら年次有給休暇を取得した場合

⇒分割して前倒しで付与した場合には、付与日数の合計が10日に達した日からの1年間に5日の指定義務がかかります。当該日以前に、分割して前倒しで付与した年次有給休暇について労働者が自ら取得していた場合には、取得した日数を5日の指定義務から控除することができます。

〔例〕4/1入社時に5日付与し、7/1に残り5日付与する場合



ご不明な点やご質問がございましたら、厚生労働省または事業場の所在地を管轄する都道府県労働局、労働基準監督署におたずねください。

- 問合せ先：厚生労働省 労働基準局 労働条件政策課 03-5253-1111（代表）
- 最寄りの都道府県労働局、労働基準監督署は以下の検索ワードまたはQRコードから参照できます。

検索ワード： 都道府県労働局 または 労働基準監督署
<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>



2019 年度定例総代会プロジェクト 第 1 回 振り返り

日時：2019年2月7日（木） 予定：15：30-16：30

場所：生協会館3階会議室

理事会室：鏡、岡田、志々見、本間

学生委員：安藤、原田、小林 院生：高橋 第2回 S-PRO 開催予定 3月4-5日（未定）

I. 昨年の振り返り

※2018年6月28日（木）S-PRO総括資料を共有した

※学生より総代会アンケートまとめ資料が提出された

・A)議案の説明～短い

・A)運営について～スムーズだった

・B)話しやすかった

・B) 試食会～概ね好評

<GIアンケート>

・A)議案の説明～ページを追って説明すると良い

・B)食べ物多すぎた、コップパン好評

II. プロジェクトの任務と役割の確認

1) 総代会の成立、成功に向けての準備

(1) 議案書の準備（理事会起草委員会で策定）および関連文書の作成（学生の意見も是非）

(2) 総代選出と議案書配布及び組合員討論用ダイジェストの作成など（学生の重点課題）

(3) 書面議決書回収（可能な限り実出席を要請します）

2) 総代会の運営が円滑かつ活発に行われるよう企画します

(1) 総代会当日の運営企画

(2) 総代会当日の役割分担

III. 選挙区確認（各委員会にて）

1) 2019年度総代選出区と2018年までの状況

(1) 選挙区について¹前年同数で変更なし（2015年度に一度見直し済み）

選挙区（人）	2019 目標値	2018	2017	2016
1 年生	50	52/52	52	52
上級生	70	71/90	65	73
院生	30	21/50	25	31
教職員他	70	67/82	66	68
合計	200-210	211/274 (77%)	208	224

●この間、院生の選出が困難になっている。(要対策)

(2) 総代選挙の公告と追加選挙の公告について

- ①総代選挙の公告：昨年同様前月2月20日（水）の理事会に選挙区提案したい。
3月27日理事会のため

※2月20日（水）の理事会に提案予定 総代選挙期間：2月21日（木）～4月16日（火）

②例年1年生・上級生総代選出が5月連休明けの総代会議開催後のため定員に満たない。

従って、追加選挙期間：4月17日（水）～5月10日（金）の案内をします。

※1 総代選挙規約には、選出期限の記載がないので10日（金）と案内します。

※2 実際には、5/7（火）-5/9（木）の総代会説明会開催時にその場で決定します。（学生）

IV.総代会までの日程（別紙ロードマップ簡易版あり）

2/21（木）総代選出公示（昨年より1ヶ月早めました；5月の10連休に備えて）

3/4or5（未定）15:00-16:30「第2回S-PRO」2019年度定例総代会の迎え方（第1回以降の進捗確認）

5/20（月）18:30-20:30総代会リハーサル（学生はグループリーダー決め）会場の確保

A パート：次回まで宿題 B パート：「職員と交流」次回以降

5/23（木）18:00定例総代会開催 予定の5/22（水）は、6限目があり参加できない可能性がある。

※カリキュラム決定後総代会日程を確定する

2019年度 総代会開催に向けて

●総代会プロジェクトメンバー

委員	鏡 秀隆 (専務補佐)	安藤亮博 (常務理事)
委員	岡田武宣 (理事会室)	原田佳子 (理事)
委員	志々見悦子 (理事会室)	小林 希 (学生、新2年)
委員	本間 博昭 (理事会室)	高橋 真太郎 (常務理事)

●総代選挙管理委員会 (3～5名)

委員長	坂爪 浩史	農学研究院 教員
委員		●●学部 新2年生
委員		●●研究科 新1年生
委員	志々見 悦子	生協職員

●役員選挙管理委員会 (3～5名、次期役員以外)

委員	山口 圭	遺伝子病制御研究所 職員
委員		●●学部 新2年生
委員	大内 由美子	生協職員

●資格審査委員会 (若干名)

委員	間宮 春大	北方生物圏フィールド 職員
委員	志々見 悦子	生協職員

●推薦役員候補選考委員会 (3～5名)

委員	柿澤 宏昭 (理事長)	農学研究院 教員
委員	吉見 宏 (副理事長)	経済学研究院 教員
委員	岸本 敬一 (専務理事)	生協職員
委員	笠原 敏史 (常務理事)	保健科学研究院 教員
委員	安藤 亮博 (常務理事)	農学部学生 新3年

●議案書起草委員会 (若干名)

委員	岸本 敬一 (専務理事)	生協職員
委員	安藤 亮博 (常務理事)	農学部学生 新3年
委員	小笠原 明信 (常務理事)	教育学部学生 新4年

2019年度 総代会に向けたロードマップ

日付			機関会議	S-PRO	日付			機関会議	S-PRO	日付			機関会議	S-PRO	日付			機関会議	S-PRO
2月1日	金				3月1日	金	監事現金実査			4月1日	月	役員選挙実施の公告/総代会開催の公告			5月1日	水			
2月2日	土				3月2日	土				4月2日	火				5月2日	木			
2月3日	日				3月3日	日				4月3日	水				5月3日	金			
2月4日	月				3月4日	月				4月4日	木				5月4日	土			
2月5日	火				3月5日	火			S-PRO②	4月5日	金				5月5日	日			
2月6日	水				3月6日	水				4月6日	土				5月6日	月			
2月7日	木			S-PRO①	3月7日	木				4月7日	日				5月7日	火	総代氏名公告(総代会16日前)		
2月8日	金				3月8日	金				4月8日	月	監事会	□事業報告書・決算関係監査 □監査報告作成 □総代会前に議案確認		5月8日	水		議案書出来	
2月9日	土				3月9日	土				4月9日	火				5月9日	木			
2月10日	日				3月10日	日				4月10日	水				5月10日	金	S-PRO⑥	総代選出	
2月11日	月				3月11日	月				4月11日	木				5月11日	土			
2月12日	火				3月12日	火				4月12日	金		S-PRO④		5月12日	日			
2月13日	水				3月13日	水				4月13日	土				5月13日	月	招集通知の発送;総代会前10日		
2月14日	木				3月14日	木				4月14日	日				5月14日	火	総代選挙管理委員会	総代会議	
2月15日	金				3月15日	金				4月15日	月				5月15日	水	□総代当選者決定の公告↓		
2月16日	土				3月16日	土				4月16日	火				5月16日	木		↓	
2月17日	日				3月17日	日				4月17日	水				5月17日	金	S-PRO⑦		
2月18日	月				3月18日	月				4月18日	木				5月18日	土			
2月19日	火				3月19日	火				4月19日	金				5月19日	日			
2月20日	水	理事会			3月20日	水	会場申請			4月20日	土				5月20日	月	リハーサル		
2月21日	木	総代選挙管理委員会・総代選挙公告			3月21日	木				4月21日	日				5月21日	火			
2月22日	金	理事会: □総代選挙区・定数 □総代選挙管理委員任命 □役員選挙区・定数			3月22日	金	S-PRO③			4月22日	月	監事会予備			5月22日	水			
2月23日	土				3月23日	土				4月23日	火	役員選挙管理委員会			5月23日	木	総代会		
2月24日	日				3月24日	日				4月24日	水	理事会 4/25院生総代会議			5月24日	金	開催日:水か木 カリキュラムによる		
2月25日	月				3月25日	月				4月25日	木	役員選挙候補者の公告 議案書入稿			5月25日	土			
2月26日	火				3月26日	火				4月26日	金		S-PRO⑤		5月26日	日			
2月27日	水	□出資口数変更登記			3月27日	水	理事会	□監事に決算諸資料渡し		4月27日	土	理事会: □総代会招集通知の内容 □事業報告書・決算関係書類承認			5月27日	月	役員選挙結果の公	総代会後の監事会 □監査計画 □監事の報酬 □監事会議長互選	
2月28日	木	監事棚実査			3月28日	木				4月28日	日				5月28日	火			
					3月29日	金	役員選挙管理委員会			4月29日	月				5月29日	水			
					3月30日	土				4月30日	火				5月30日	木	□役員変更登記(2週間以内)		
					3月31日	日									5月31日	金	□行政庁に書類提出5/31まで		

2019 年 2 月 4 日

監事 各位

2018 年度下期棚卸実査現金実査開催のご案内

前略

大寒も過ぎ一段と寒さが厳しく恒例の雪祭りが開催される時期となりました。年度末の試験準備でお忙しくなってきたかと思います。

さて年間計画に従って、2018 年度下期棚卸実査および現金実査を下記にて開催します。万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。

記

<棚卸実査>

日時：2019 年 2 月 28 日（木）15：00～15：40（予定）

場所：保健学科店（北 13 条門から 50m 程西に直進、左手奥の建物の一階）

内容：棚卸表、棚卸作業のチェック。在庫保管状況、管理状況のチェック。

職員への聞き取り

<現金実査>

日時：2019 年 3 月 1 日（金）16：30～17：30（予定）

場所：北大生協会館 3 階 会議室

内容：2 月末時点での現金状況および保管状況チェック。

職員への聞き取り

出欠のご連絡をこのメールへの返信で結構ですので 2/18（月）までにいただけますでしょうか。お忙しい中恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。

連絡等につきましては、理事会室 志々見／本間までお願いします。

（電話 011-746-6218）

以上